

HUAWEI P20 lite

取扱説明書



目次

便利な機能

Huawei share の紹介	1
スマートライフ	2
カメラのヒント	2
仕事に役立つ機能	4
その他の機能	5

初めてお使いになる方へ

新しい端末の設定	8
充電と注意事項	8
ヘルプの参照	9

ジェスチャーと操作

スクリーンショットとスクリーン録画	12
モーションコントロール	15

ホーム画面

ナビゲーションバー	17
素早い切り替え	18
通知とステータスバー	19
画面ロックとロック解除	21
簡易モード	23
ホーム画面の管理	23

連絡先

名刺の管理	28
連絡先の管理	30
サードパーティ製アプリの連絡先を統合	32

発信

基本的な通話機能	34
迷惑フィルタ	37
VoLTE	37
VoWi-Fi	38

UQ モバイルポータルアプリ

はじめに	39
起動	39
初期設定	39

あんしんフィルター for UQ mobile

はじめに	41
起動	41

初期設定	41
カメラ	
基本的なカメラ機能	44
ワイドアパーチャ	50
パノラマ	52
プロモード	53
ビューティー加工	58
ライトペインティングモード	59
HDR モード	64
コマ抜き録画	65
夜間撮影モード	66
ウォーターマーク	67
カスタム撮影モード	67
ギャラリー	
写真の管理	69
端末管理	
ワンタップ最適化	73
データトラフィック管理	73
省電力	74
ウイルススキャン	75
メッセージと E メール	
CosmoSia	76
メッセージアプリ	79
メールアプリ	81
カレンダー	
世界の休日の表示	83
To-Do をインポートしてタスクを整理する	83
カレンダーの操作	83
時計	
時計の使用	85
メモ帳	
メモを管理してレコードを整理する	87
マルチユーザー	
マルチユーザー: 端末別のユーザーアカウントを作成	88
複数のユーザーを端末に追加	88
デバイス接続	
Bluetooth	90
マルチスクリーン表示	92

セキュリティとプライバシー

指紋	95
位置情報の保護	97
アプリロック	98
セキュアキー	98
その他のセキュリティ設定	100

バックアップと復元

バックアップと復元	102
-----------	-----

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi	104
モバイルネットワーク	106
モバイルネットワークの共有	107

アプリと通知

ツインアプリ	110
--------	-----

サウンドと表示

通知の鳴動制限	111
サウンド設定	112
視力保護モード	114
その他の表示設定	114

ストレージ

ストレージクリーナー	117
------------	-----

スマートアシスタント

ユーザー補助	118
--------	-----

システム

言語と入力方法	120
ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー	120
一般設定	120

電池と充電

電池と充電	125
-------	-----

その他の情報

その他の情報	126
--------	-----

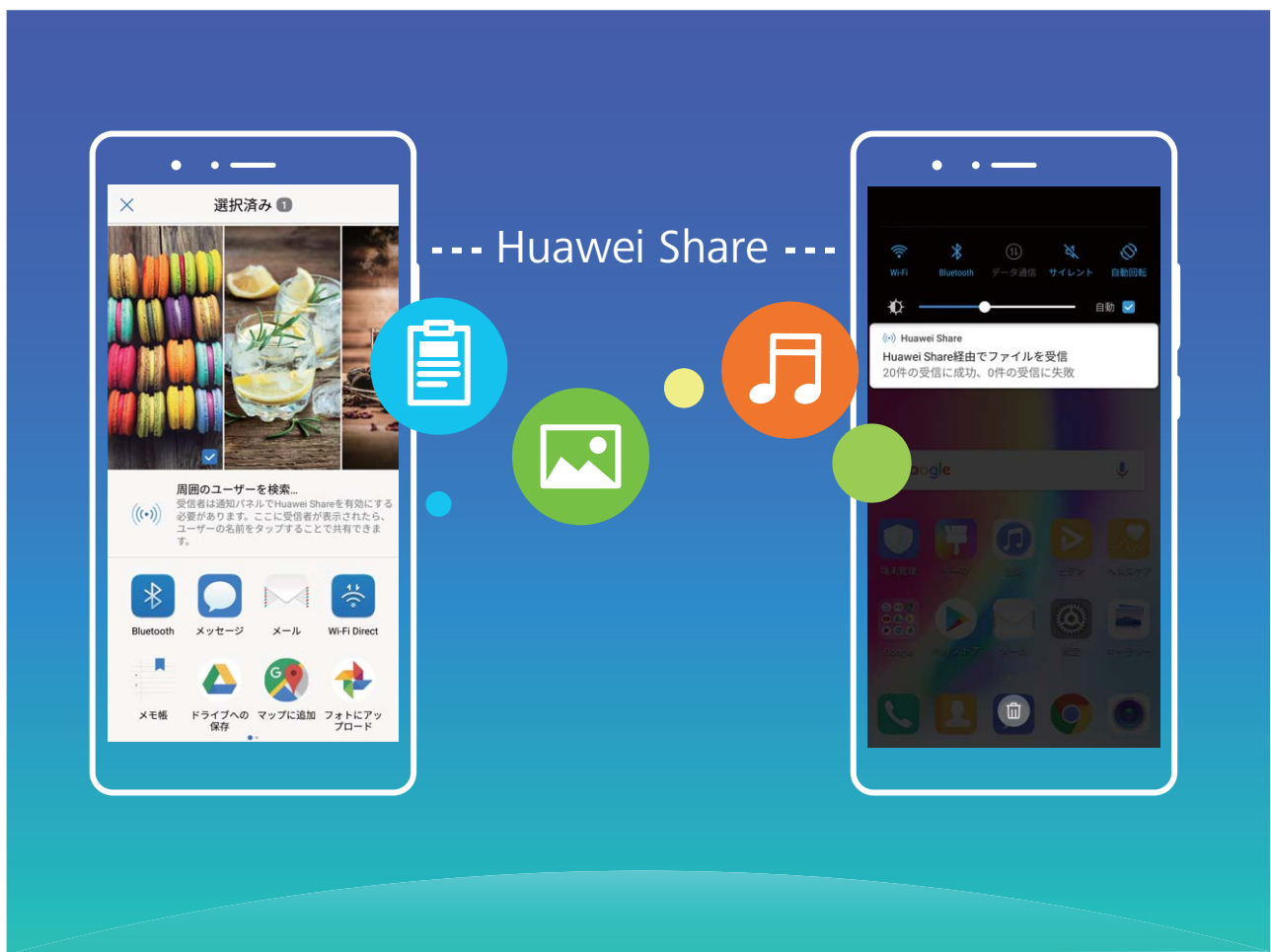
便利な機能

Huawei share の紹介

Huawei Share でのファイル転送

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真、ビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- i Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが自動的に有効になります。



Huawei Shareを使用したファイルの送信: 共有するファイルを選択して、共有 をタップします。近くにある端末のリストから受信側端末を選択し、ファイルを送信します。

Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、(i) をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、承諾をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは ファイル の Huawei Share フォルダに保存されます。

スマートライフ

マルチユーザー: 端末別のユーザーアカウントを作成

端末を別のユーザーに貸すときに、自分のプライベートファイルや情報にはアクセスされたくないものです。複数のユーザーを追加すると、ご利用の端末を他のユーザーに貸した場合でも情報のプライバシーを保護できます。自分の設定やファイルに影響はありません。端末へのログインに、仕事用とプライベート用など2つのユーザーアカウントを使用して、ワンタップで簡単に切り替えることもできます。

次の3つのユーザータイプを作成できます。

- **所有者**: 端末の所有者。自分の端末を使用する場合、所有者としてログインします。所有者は、ユーザーやゲストの追加や削除、ユーザーに対する通話権限やSMS送信権限の付与など、すべての処理を実行できます。
- **ユーザー**: 家族や友人はユーザーとして追加します。ユーザーはほとんどの処理を実行できますが、端末の初期化や通知の鳴動制限モードの有効化など、所有者に影響を与える処理は実行できません。
- **ゲスト**: 知り合いはゲストとして追加します。ゲストは限定的な処理しか実行できません。

ツインアプリ: 1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

端末でLINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。 **アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることでツインアプリ機能を無効にできます。

カメラのヒント

ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

ポートレートモードでは、さまざまなビューティー設定を行い、カスタムビューティー設定を保存する情報データベースを作成できます。

i 夜間や暗所でセルフィーを撮影する場合、端末は周囲の光が暗いことを検出し、自動的に夜間撮影モードが有効になるので、セルフィーの画質が向上します。このモードのスイッチはありません。周囲の光が暗いことを検出すると、このモードが自動的に有効になります。このモードが有効になると、端末に通知が表示されます。

- **ポートレートモード**: ポートレートモードを有効にすると、フレーム内のすべての人物にビューティー効果が自動的に適用されます。
- **パーフェクトセルフィー**: パーフェクトセルフィーを有効にすると、カスタムビューティープランが作成されます。ビューティーレベルが高いほど、効果が大きくなります。

フードモード: 食欲をそそる写真を撮る

友達とシェアするために美味しい料理の写真を撮っても、いつも見映えがよくないと感じていませんか？カメラのフードモードを使用すると、料理がおいしそうな感じまで伝えることができます。

カメラを開き、画面を右側にスワイプして  をタップします。**ナイスフード**のダウンロードが完了すると、いつでも**ナイスフード**を使用して、お気に入りの料理の写真を、食欲をそそる仕上がりにすることができます。

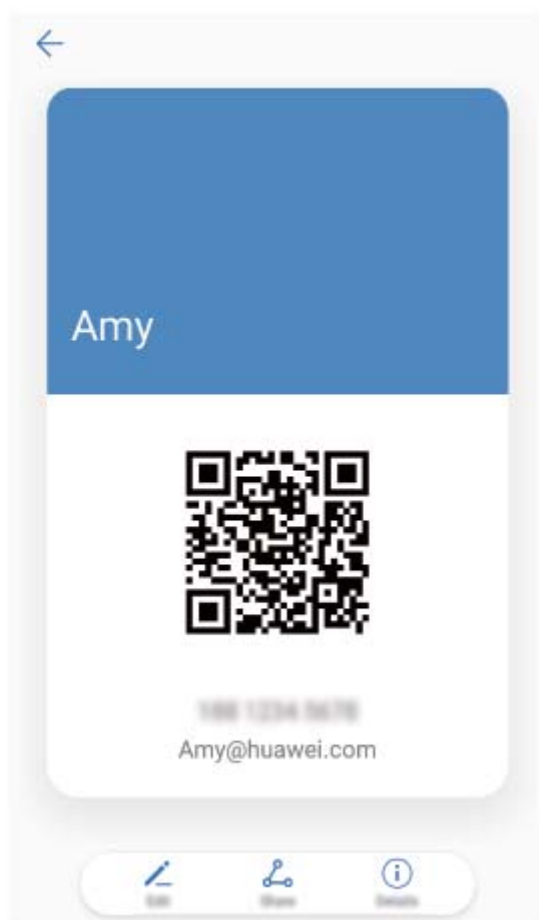


仕事に役立つ機能

電子名刺の共有

まだ紙の名刺を友人との連絡や仕事関連のイベントで使用していますか？名刺を共有する便利な方法がありました。

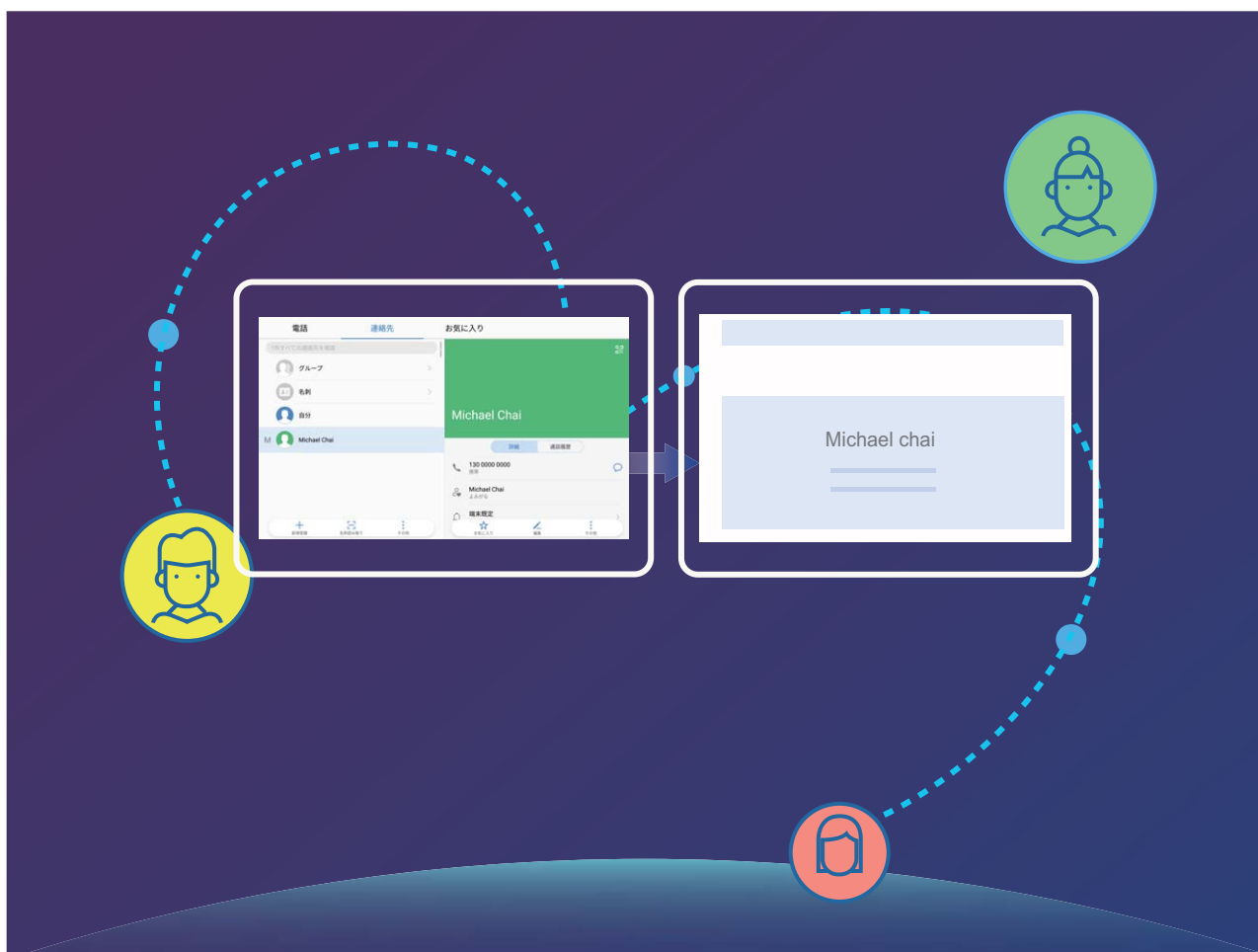
- **自分の電子名刺の共有**: **連絡先** で自分の名刺を作成し、QRコードを使用してこれを簡単に共有することができます。



- **連絡先の共有**: **連絡先** の連絡先詳細画面の右上隅にあるQRコードをタップして、QRコードを使用している連絡先を簡単に共有できます。

連絡先の職歴の表示

連絡先の具体的な職歴を確認したいと思うことはありませんか？サードパーティのアプリ(LinkedInなど)から情報にアクセスして、連絡先の職歴を簡単に確認できます。



その他の機能

Wi-Fi+: スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する**: 現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータネットワークから自動的に選択して接続します。
- **Wi-Fiの自動オン／オフ**: 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークによっては、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン／オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価**: 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

メモリのクリーンアップによるパフォーマンス向上

メモリのクリーンアップを使用すると、キャッシュ、大容量ファイルや不要なファイル、未使用のアプリファイルをすばやく削除して、システムパフォーマンスを向上させ、端末を最高の状態に保つことができます。

システムのパフォーマンスが低下したり、ストレージの空き容量が少なくなると、端末管理アプリからクリーンアップの通知が表示されます。画面の指示に従って、端末のメモリをクリーンアップし、ストレージの空き容量を確保することができます。

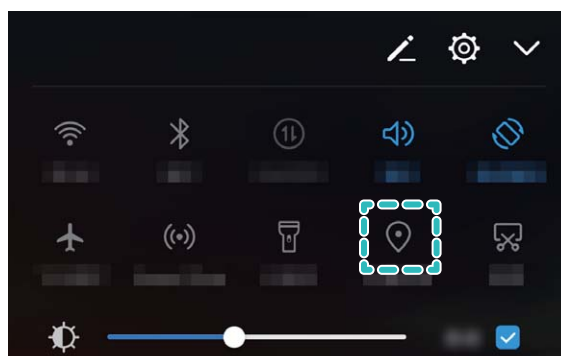
クリーンアップ: 端末の使用に影響を与えずに、不要なファイルとシステムキャッシュをスキャンしてメモリと内部ストレージの空き容量をすばやく確保できます。

ディープクリーンアップ: 大容量のファイル、ビデオ、画像、アプリの残存ファイル、音楽ファイル、不要なインストールパッケージ、未使用ファイル、サイズが大きいファイルなどをスキャンし、そのスキャン結果

に基づいてクリーンアップが推奨されます。これにより、重要なファイルを誤って削除することなく、ストレージの空き容量を確保できます。

シングルタップによる位置情報の無効化

位置情報サービスを完全に無効にしてプライバシーを保護したいと思いませんか？ステータスバーを下にスワイプするとショートカットパネルが開くので、📍 をタップします。これを実行すると、GPS測位、モバイルネットワークによる測位、Wi-Fi測位が同時に無効になり、端末の位置情報が取得されなくなります。



初めてお使いになる方へ

新しい端末の設定

インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続

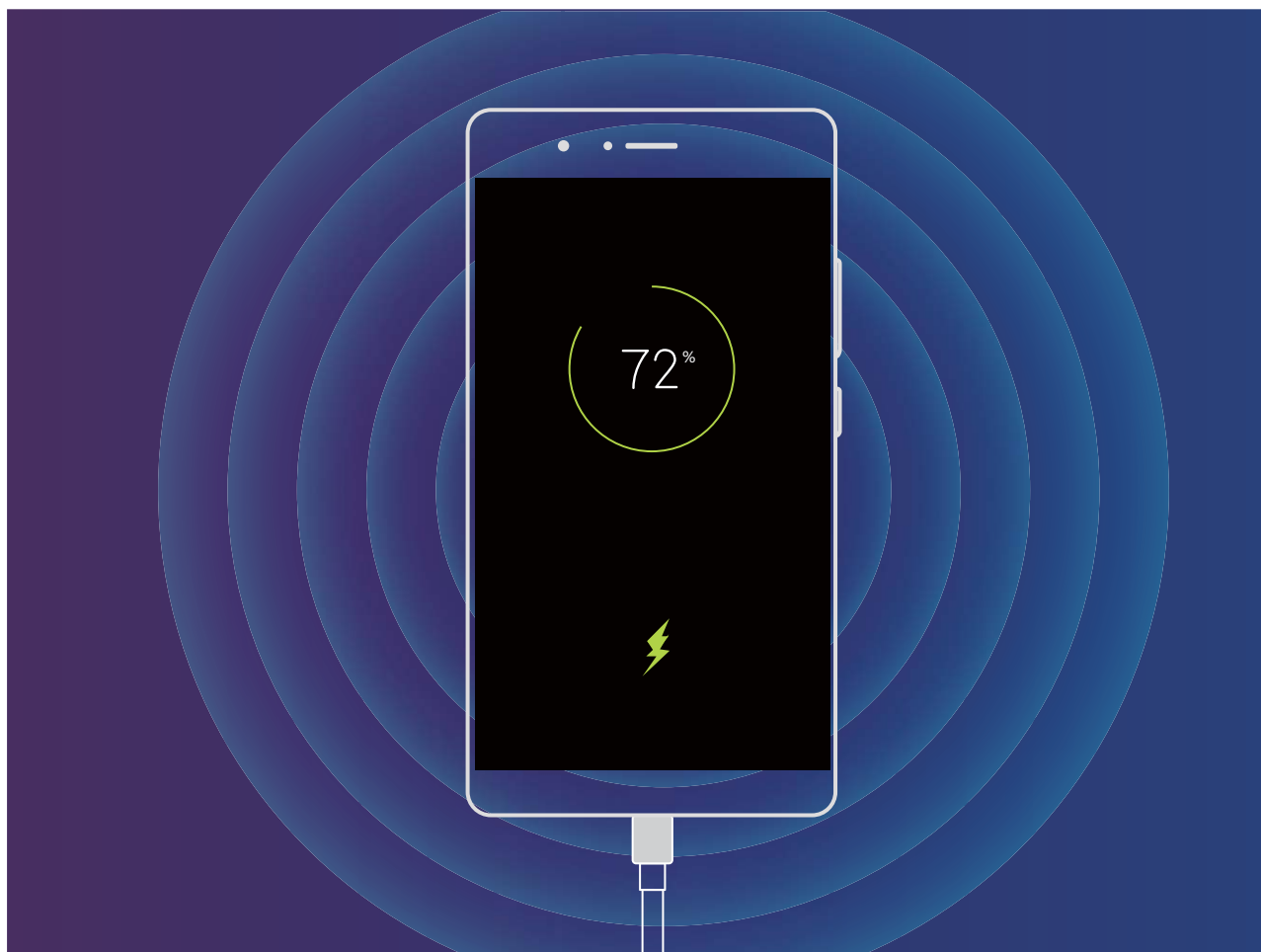
-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
 -  インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。

充電と注意事項

SmartCharge: 急速充電

SmartChargeは充電電圧と充電電流をインテリジェントに調整することで、よりスマートで急速充電を実現します。

-  端末を充電する際は、必ず製品付属の充電器とUSBケーブルまたは、後述するUQ指定の充電器を使用してください。サードパーティ製の充電器やUSBケーブルを使用すると、再起動が繰り返し発生したり、充電時間が長くなったり、端末の温度が上昇したり、場合によっては、端末のバッテリーが損傷、または焼損することもあります。



i 同梱品以外でご利用が可能な充電器は以下の通りです。但し、急速充電には対応していません。

- ①TypeC共通ACアダプタ01U (商品コード:0601PQV)
- ②共通ACアダプタ05 (商品コード:0501PWV) と MicroB-TypeC変換アダプタU (商品コード:0601PHV) の組み合わせ

ヘルプの参照

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018.All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI と  はHuawei Technologies Co., Ltdの商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltdによるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™  および Qualcomm® aptX™ HD  はQualcomm Inc.(NASDAQ: QCOM)の登録商標です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果(ソフトウェアと本製品の非互換性など)に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む(ただしこれらに限定されない)明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲(この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない)は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<http://consumer.huawei.com/jp/>を参照してください。

ジェスチャーと操作

スクリーンショットとスクリーン録画

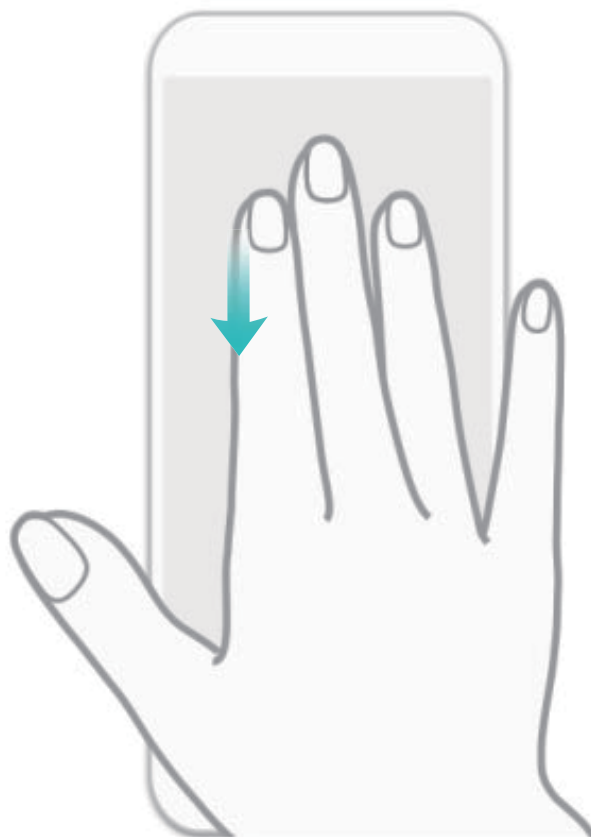
スクリーンショットの取得

ボタン操作による取得方法:電源ボタンと音量(下)ボタンを同時に押すことで、スクリーンショットを取得できます。

ショートカットアイコンから取得する方法:ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。

スクリーンショットを取得するには、 をタップします。

指操作による取得方法:3本の指で画面の中心から下に向かってスワイプすることでスクリーンショットを取得できます。設定 > スマートアシスト > モーションコントロール > 3本指でスクリーンショットを取得 > ⇒ON



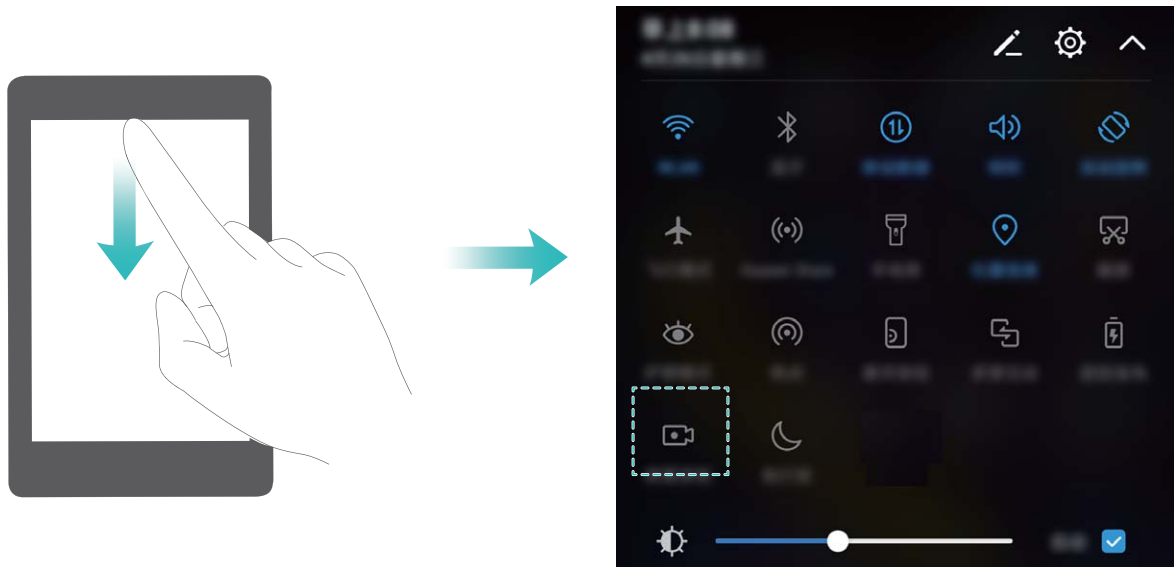
スクリーンショットの取得後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。

画面上のシーンの録画

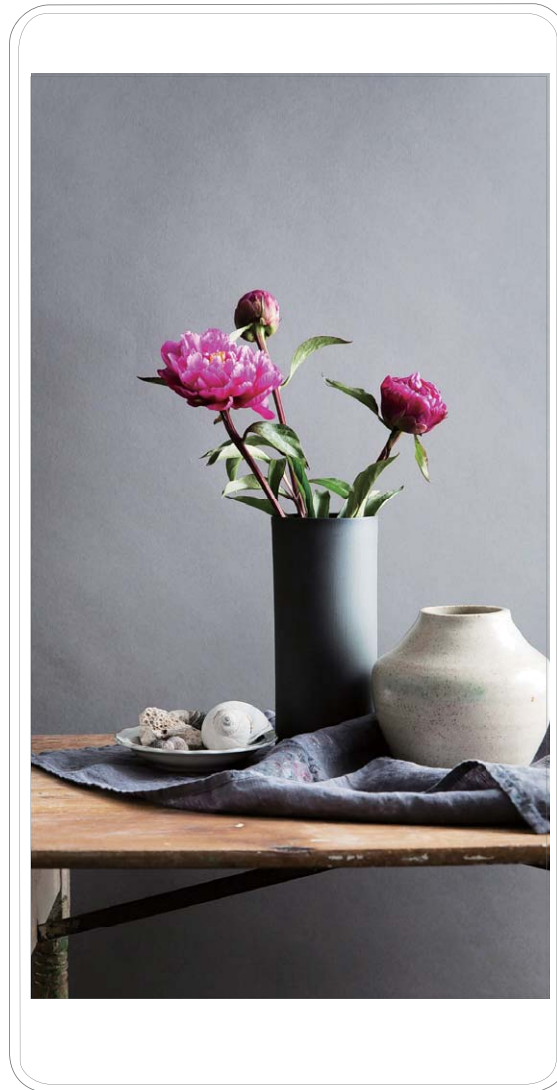
端末でチュートリアル動画を作成したり、白熱のゲームシーンを録画したいときには、画面録画が便利です。

i 発着信により、画面録画は終了します。

ショートカットによる録画の開始: ステータスバーを下にスワイプして、編集用のペンのマークをタップして、ショートカットパネルを開き、 をタップして画面の録画を開始します。録画を終了するには、画面の左上の  をタップします。



コンボキーによる録画の開始: 電源ボタンと音量アップボタンを同時に押すと、録画が始まります。録画を終了するには、再度電源ボタンと音量アップボタンを同時に押します。



録画した画面は **ギャラリー** で確認できます。

スクロールスクリーンショットによるページ全体のキャプチャ取得

長い記事やチャット履歴をキャプチャするのに何度もスクリーンショットを撮影するのは面倒なものです。端末のスクロールスクリーンショット機能を使用すると、ページの下までスクロールしたスクリーンショットを撮影できるため、1回のスクリーンショットで複数ページのすべての情報をキャプチャできます。

ショートカットを使用したスクロールスクリーンショットの撮影:ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いてから  をタップし、スクロールスクリーンショットを撮影します。スクリーンショットの撮影から3秒以内に  をタップすると、画面が自動的に下までスクロールし、スクリーンショットの撮影を続けます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。



スクリーンショットの撮影後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。

モーションコントロール

ワンハンド UI を有効にする

片手しか空いていないときに端末を操作することは簡単ではありません。ワンハンドUIを有効にすると、画面が縮小され、キーボードが移動するため、端末 を片手で簡単に操作できます。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ワンハンドUI** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **ミニ画面表示** を有効にして画面を縮小する: **ミニ画面表示** を有効にし、画面の指示に従ってミニ画面表示を有効にします。ミニ画面表示では、テキストやアイコンなどの画面要素が縮小され、片手で操作しやすくなります。



- **キーボードの移動 を有効にして簡単に片手で入力できるようにする:** キーボードの移動 を有効にすると、キーボード、キーパッド、通話メニュー、ロック画面メニューが縮小／移動し、片手での入力が楽になります。

ホーム画面

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーレイアウトの設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前のページに戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

ナビゲーションバーレイアウトを設定するには、 **設定** に移動してから **システム > システムナビゲーション > ナビゲーションバー > 設定** に移動し、ナビゲーションキーの組み合わせを選択した後に使用頻度に応じて **ナビゲーションバー** を有効／無効にします。



-  **戻るキー**: タップすると前のページに戻るか、アプリを終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
-  **ホームキー**: タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、Googleアシスタント機能が起動します。
-  **履歴キー**: タップすると最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
-  **下方スワイプキー**をタップするとショートカットパネルが開きます。

履歴キーを使用したバックグラウンドアプリの簡単な管理

多数のバックグラウンドアプリを実行していると、電力消費量が増えてしまいます。最近使用したアプリに簡単に切り替えたい場合、履歴キーを使用してみてください。履歴キーを使用すると、最近使用したアプリにすぐに切り替えることができます。このキーを使ってバックグラウンドアプリを閉じ、端末の処理速度を上げることもできます。

-  をタップします。最近使用したバックグラウンドアプリの表示、切り替え、終了、ロックができます。

- **最近使用したアプリの表示**: 最近使用したアプリが画面に表示され、上下にスワイプすると確認できます。
- **最近使用したアプリへの切り替え**: 画面を上下にスワイプして使用したいアプリを見つけ、アプリタブをタップします。
- **アプリの終了**: アプリタブを左右にスワイプするか、アプリタブの右上の ✕ をタップすると、該当するアプリを終了できます。
- **すべてのアプリの終了**:  をタップするとすべてのアプリを終了できます。
- **アプリのロック**: アプリを終了せずにバックグラウンドで実行させておきたい場合、アプリをロックすることができます。アプリをロックすると、終了できなくなります。アプリタブの右上の  をタップすると、アプリが終了できなくなります。アプリのロックを解除したい場合、アプリタブの右上の  をタップします。

素早い切り替え

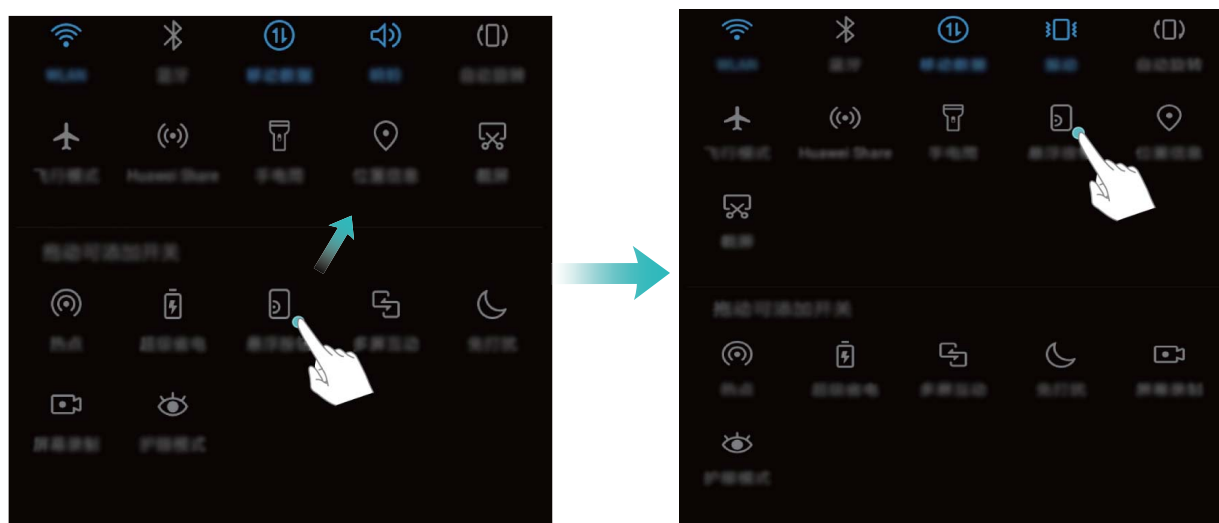
ショートカットスイッチの位置を好みに合わせて調整

ショートカットスイッチの位置を調整して、よく使用するものを上のほうに置くことができます。

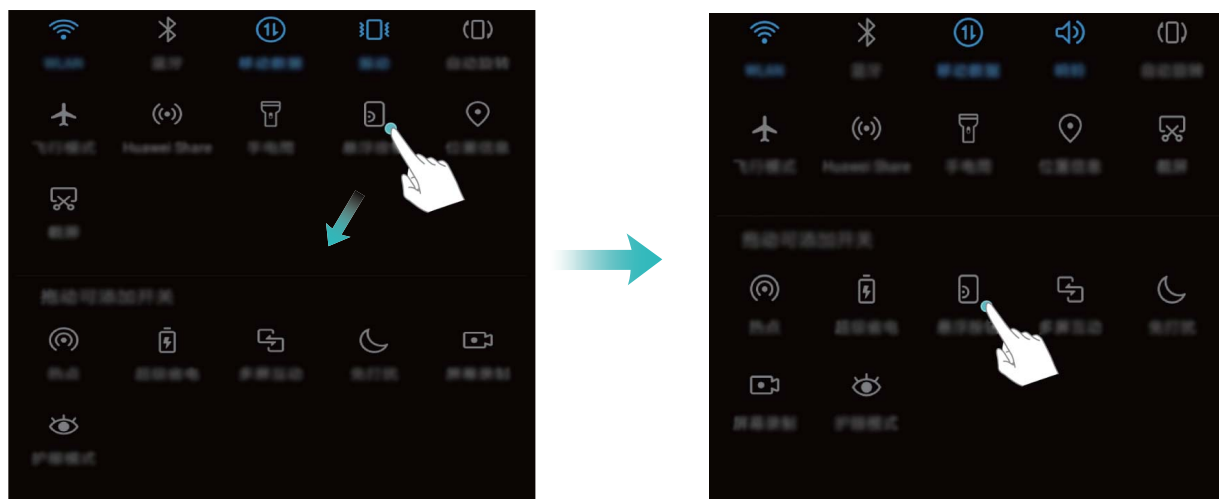
ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。ショートカットパネルから以下の操作を行うことができます。

ショートカットスイッチの並べ替え: ショートカットスイッチを長押ししてからアイコンを好みの位置にドラッグします。

ショートカットスイッチの追加: パネルの非表示領域から表示されている領域にショートカットスイッチをドラッグして、戻る をタップします。

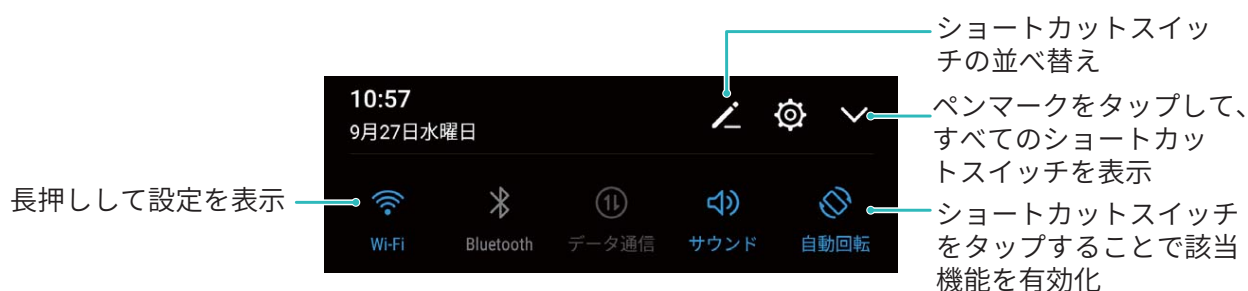


ショートカットスイッチの削除: パネルの表示されている領域から非表示領域にショートカットスイッチをドラッグして、戻る をタップします。



ショートカットスイッチを使用してよく使う機能を素早く有効化

モバイルデータ通信またはWi-Fiを素早く有効／無効にしたい場合があります。ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、該当のショートカットスイッチをタップすると、該当する機能を有効／無効にできます。スイッチアイコンを長押しすると、該当する機能の設定ページに移動できます。



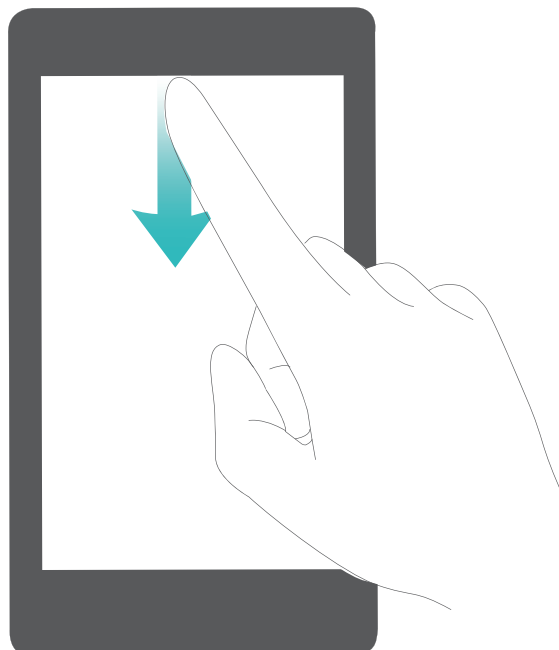
通知とステータスバー

通知パネルを開いて重要な情報を確認

重要な通知は見落とさず確認したいものです。端末のステータスバーから、リアルタイムの通知情報と端末の動作状態を表示できます。

通知リマインダーがある場合、画面を点灯してステータスバーを下にスワイプすると、通知を表示できます。通知とステータスバーの設定には次のようにしてアクセスします。

- 画面がロックされている場合の通知とステータスバーの設定へのアクセス: 画面を点灯してステータスバーを下にスワイプします。⚙️ **設定** をタップし、パスワードを入力して **アプリと通知** > **通知とステータスバー** > **通知方法** に移動します。



- 画面がロック解除されている場合の通知とステータスバーの設定へのアクセス:  **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知とステータスバー** > **通知方法** に移動します。

好みに応じた通知のカスタマイズ

通知リマインダーを自分の好みに合わせてカスタマイズできます。

 **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知とステータスバー** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- **通知による画面点灯の有効化**:通知で画面を点灯 を有効にします。端末画面が消灯状態の場合、通知を受け取ると画面が点灯します。
- **通知ランプの点滅の設定**:LED通知 を有効にすると、新しい通知を受け取ったときに通知ランプが点滅します。
- **ステータスバーでの詳細情報の表示**:好みに応じて、**通信事業者名を表示** と **通信速度を表示** を有効にできます。**通知方法** を設定して **電池残量表示位置** の表示方法を選択することもできます。

わずらわしいアプリ通知の無効化

受け取るアプリ通知が多すぎると、わずらわしく感じる場合があります。アプリ通知を無効にすると快適になります。

 **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知管理** に移動します。ここから、すべてのアプリ通知を無効にできます。アプリの設定で、特定のアプリの通知を無効にすることもできます。



画面ロックとロック解除

ロック画面パスワードによるプライバシー保護

プライベートな写真、連絡先情報、バンキングアプリなど、端末には保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定すると、端末をロック解除するために常にパスワードが必要になります。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を保護できます。

ロック画面パスワードの設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **画面ロックとパスワード** に移動し、画面ロックのタイプを設定します。

- **PINの設定:** PIN番号は、一連の数字です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単でシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。**画面のロック** > **PIN** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定し、OK をタップします。
- **パターンの設定:** 事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。**画面のロック** > **パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定:** 数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れて端末のロックを解除できないことがないように、パスワードを覚えておいてください。**画面のロック** > **パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定し、OK をタップします。

- **指紋による端末のロック解除**: 指紋によるロック解除では、端末を安全かつ簡単にロック解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- **顔認証による端末のロック解除**: 画面のロック解除は、顔認証でもできます。詳しくは顔認証で他のユーザーへの通知内容の表示を回避を参照してください。
- **セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないでください**: ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **なし** は選択しないでください。
- 画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、端末のロックを解除するためにパスワードを入力する必要があります。

画面をロックして端末をすぐに保護する端末

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

- **ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます**。端末をロックする方法を次に示します。

電源ボタンで画面を瞬時にロックする: いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

ワンタップ画面ロックで画面をロックする: ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。ウィジェット > **画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

また、各自の好みに合わせてロック画面スタイルをカスタマイズできます。

ロック画面スタイルの変更: 端末では、デフォルトでマガジンロック画面が使用されます。ⓘ **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > **画面ロックとパスワード** > **ロック画面スタイル** に移動して、適切なロック画面スタイルを選択します。

- **ロック画面の署名としてカスタムメッセージを設定する**: ロック画面に署名を表示 をタップすると、画面が点灯するたびに、ロック画面にカスタムメッセージが表示されます。

マガジンロック画面の設定

マガジンロック画面では、端末のロック画面を解除するたびにロック画面に新しい画像が表示されるので、いつも同じ背景が表示されて飽きることがありません。

マガジンロック画面のショートカットパネルを表示するには、ロック画面の下から上にスワイプします。

独自の画像をカバーとして追加:  をタップします。+ をタップして、追加する画像を選択し、✓ をタップします。

簡易モード

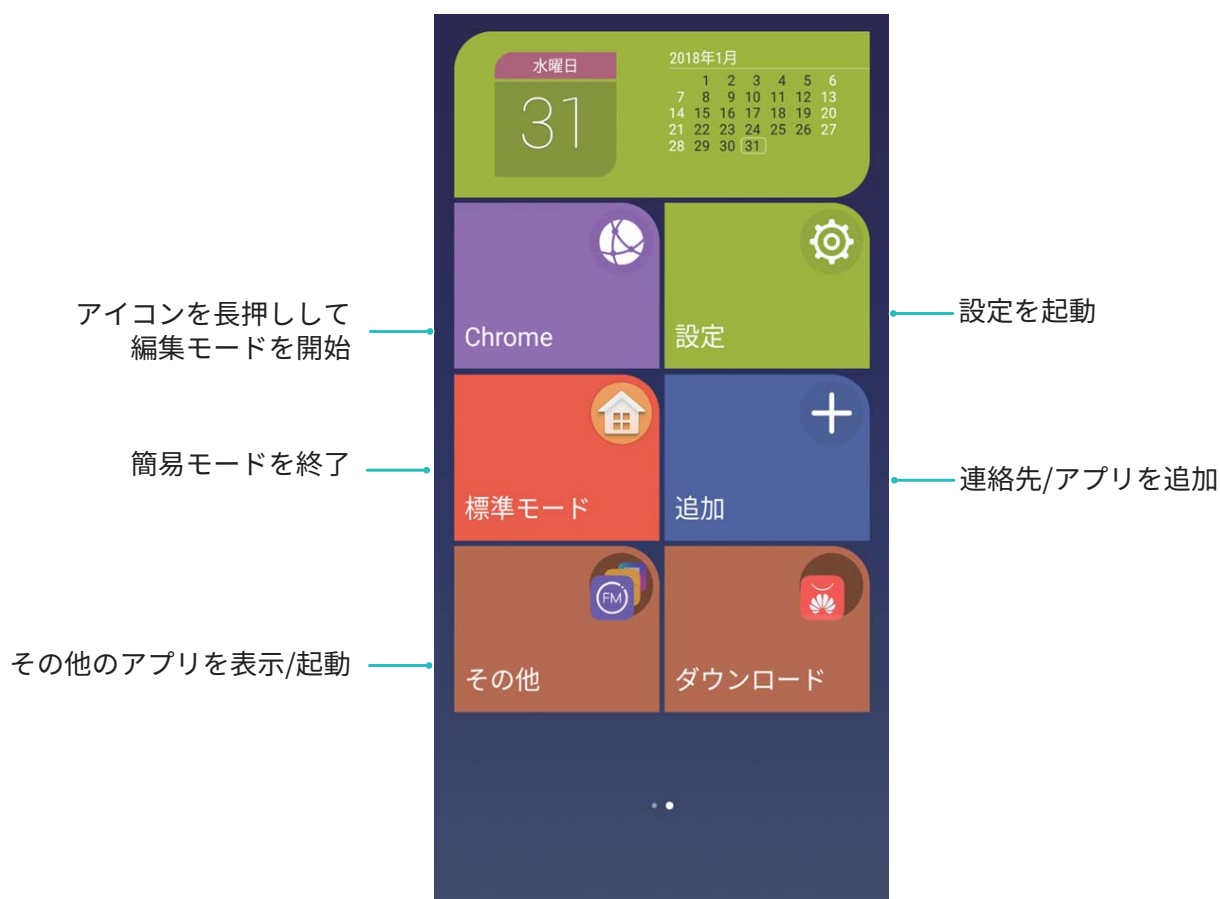
簡易モード

ホーム画面にアプリのアイコンや小さな文字が詰まっていると、見づらく感じることもあります。アイコンや文字が大きく表示され、レイアウトがわかりやすいシンプルモードを使えば、操作が簡単になります。

 **設定** を開いて **システム** > **簡易モード** に移動し、適用をタップします。

簡易モードでは、以下の操作を行うことができます。

- **ホーム画面のアイコンの編集**: アイコンのいずれかを長押ししてホーム画面編集モードにしてから、必要に応じてアプリのアイコンを追加または削除します。
- **簡易モードの終了**: 簡易モードを終了するには、**標準モード** をタップします。



ホーム画面の管理

ホーム画面のウィジェットの管理

ワンタッチのロック画面、メモブラウザ、スケジュール帳などのウィジェットを、素早くホーム画面に追加することができます。ホーム画面を使いやすく整理するために、追加したウィジェットをホーム画面上で移動したり、削除したりすることもできます。

ウィジェットの追加: ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。
ウィジェット をタップし、ウィジェットを選択してホーム画面上の何もない領域までドラッグします。



- i** ホーム画面上にウィジェットを配置するのに十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、新しいホーム画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面から削除するウィジェットを長押しすると、端末が振動します。ウィジェットを画面上部にある **削除** までドラッグします。

ウィジェットの移動: メイン画面上で移動するウィジェットを長押しし、端末が振動したら、ウィジェットをメイン画面の任意の位置までドラッグします。

ホーム画面の壁紙の設定

お気に入りの画像をホーム画面の壁紙として設定しませんか？壁紙をカスタマイズして、ホーム画面を際立たせることができます。

設定 に移動してから **画面 > 壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- **画像をホーム画面の壁紙として設定する:** 壁紙に **設定** をタップします。詳細 または **ギャラリー** でお気に入りの画像を選択してから、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、または **両方** を選択します。
- **壁紙をランダムに切り替える:** ホーム画面の壁紙をランダムに変更 を有効にして、**間隔** および **表示するアルバム** を設定します。

ギャラリーの画像を壁紙として設定する:  ギャラリー を開き、お気に入りの画像を開いてから、
 > 登録 > 壁紙 に移動して、その写真をホーム画面の壁紙として設定します。

ホーム画面の管理

ホーム画面にアイコンが溢れていませんか？ホーム画面に新しいページを追加して、そのページを好きなようにカスタマイズすることができます。

ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。以下の操作が可能です。

- **新しいホーム画面ページの追加**: 新しいホーム画面ページを追加するには、画面の左右どちらかにある  をタップします。
- **空のホーム画面ページの削除**: 空白画面にある  をタップして、そのページを削除します。
 ホーム画面ページ上にアプリのアイコンまたはウィジェットがある場合、そのページを削除することはできません。
- **ホーム画面ページの並べ替え**: 並べ替えるホーム画面ページを長押ししてから、任意の位置までドラッグします。
- **デフォルトのホーム画面ページの設定**: ホーム画面の上部にある  をタップすると、そのホーム画面ページがデフォルトのホーム画面ページとして設定されます。

アプリドローワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納すると、すっきりとしたホーム画面になります。ホーム画面でアプリドローワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

 **設定** を開いて **画面 > ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドローワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

- **アプリドローワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する**: アプリドローワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリのリストを表示します。アプリのリストで、追加するアプリアイコンを長押しして、ホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

ホーム画面のアイコンの管理

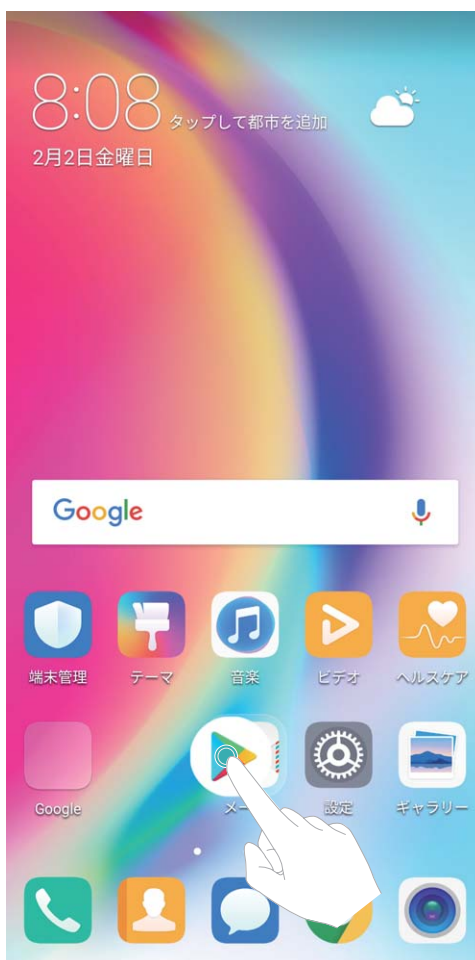
アプリのアイコンが散在してホーム画面が雑然としていませんか？ホーム画面のアイコンを移動または削除することができます。あるいは、アクセスしやすいようにアイコンをフォルダに整理することもできます。

ホーム画面のアイコンの移動: ホーム画面でアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを画面上の任意の位置までドラッグします。

アプリの削除: ホーム画面で、アンインストールするアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを  までドラッグします。画面の指示に従ってアプリを削除します。

- **システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。**

アプリのアイコンを格納するフォルダの作成:ホーム画面でアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを別のアプリの上までドラッグします。2つのアプリが新しいフォルダ内に格納されます。



フォルダの削除:フォルダを開いて **+** をタップし、すべてのアプリを選択解除してから **OK** をタップします。フォルダが自動的に削除されて、フォルダ内にあったすべてのアプリがホーム画面に移動します。

フォルダ名の変更:フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

フォルダ内のアプリのアイコンの追加または削除:フォルダを開いて **+** をタップし、必要に応じてアプリを選択または選択解除してから **OK** をタップします。選択したアプリは自動的にフォルダに追加され、選択解除したアプリはフォルダから削除されます。

i アプリをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアプリを長押しし、端末が振動したらアプリをホーム画面までドラッグすることもできます。

アイコンのバッジの非表示: バッジによる通知の無効化

アイコンのバッジを無効にして、バッジによる通知に煩わされないようにすることができます。

ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。**設定 > バッジアプリアイコン** に移動し、必要に応じて個々のアプリの横にあるオン/オフのスイッチを切り替えます。



連絡先

名刺の管理

名刺の管理: 簡単な名刺の追加と共有

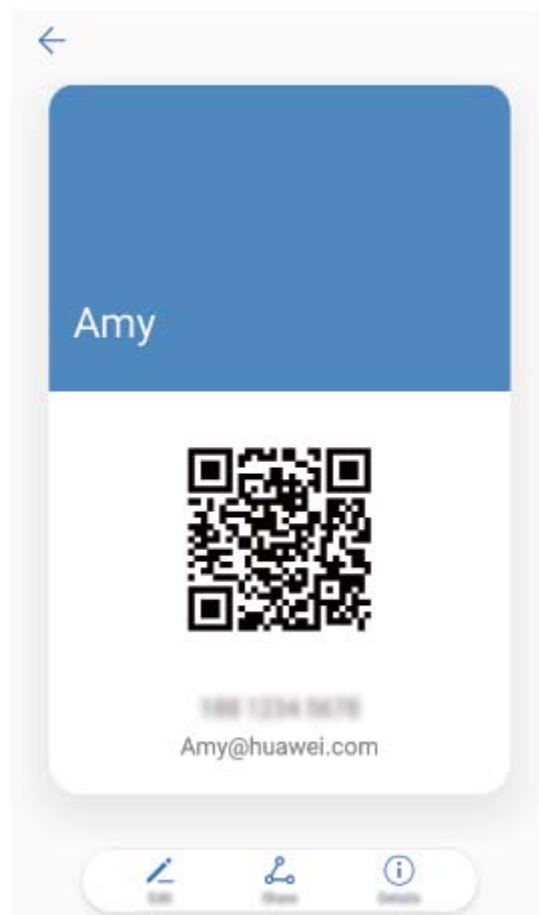
名刺マネージャーを使用すると、簡単に名刺を追加および共有することができます。

名刺マネージャーでは次の機能をサポートしています。

- **QRコードを読み取って連絡先を追加:** 名刺のQRコードを読み取って情報を連絡先に簡単かつすばやく保存できます。
- **自分の名刺を作成して共有:** 連絡先に自分の名刺を作成すると、自動的にQRコードが生成され、他のユーザーと簡単に共有できるようになります。
- **連絡先の共有:** 共有したい連絡先を選択して、連絡先詳細画面の上部でQRコードをタップして、簡単かつ素早く共有できます。

電子名刺を使用して連絡先を共有する

自分の名刺の共有:  **連絡先** を開き、**自分** をタップして自分のプロフィール写真を設定し、名前、勤務先住所、電話番号などを入力してから  をタップします。端末でQRコードの名刺が自動的に作成されます。これにより、自分の名刺をQRコード経由で直接共有することが可能になります。また、 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有することもできます。



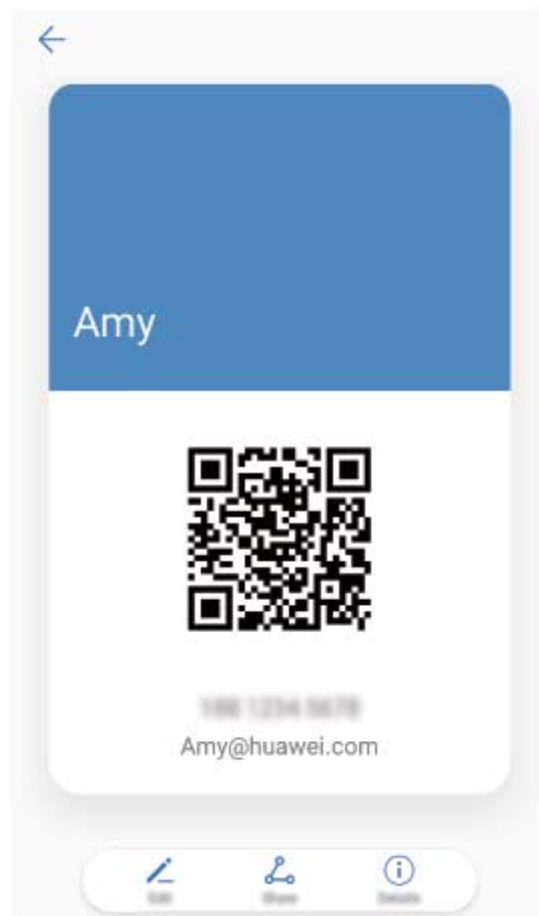
連絡先の共有:  **連絡先** を開いて、共有したい連絡先を選択してから右上隅のQRコードをタップし、QRコードを使用している連絡先を共有します。**共有** をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有処理を完了できます。

 相手の端末がQRコード分析をサポートしている場合、直接、QRコードを撮影したり、読み取ったりして連絡先を追加できます。

電子名刺の共有

まだ紙の名刺を友人や仕事関連のイベントで使用していますか？モバイルの連絡先を友人との連絡と共有するのが面倒ですか？名刺を共有する便利な方法ができました。

- **自分の電子名刺の共有:** **連絡先** で自分の名刺を作成し、QRコードを使用してこれを簡単に共有することができます。



- **連絡先の共有**: 連絡先 の連絡先詳細画面の右上隅にあるQRコードをタップして、QRコードを使用している連絡先を簡単に共有できます。

連絡先の管理

連絡先のインポートとエクスポート

機種変更した場合、既存の連絡先を新しい端末に移行する必要があります。

- **連絡先** を開いて $\vdots$ > **インポート／エクスポート** に移動し、以下のいずれかの操作を行います。
- **連絡先のインポート**: ストレージからインポート、SIMからインポート、別の端末からインポート を選択して、画面の指示に従います。
- **連絡先のエクスポート**: ストレージにエクスポート または SIMにエクスポート、**連絡先の共有** を選択して、画面の指示に従います。デフォルトでは、**ストレージにエクスポート** を選択してエクスポートされた .vcf ファイルは、端末内部ストレージのルートディレクトリに保存されます。**ファイル** を開いて、エクスポートされたファイルを表示できます。

また、**バックアップ** 機能を使用して連絡先をインポートまたはエクスポートすることもできます。バックアップデータは、デフォルトで **ファイル > 本体 > 内部ストレージ** に保存されます。

連絡先の管理

連絡先アプリでは、さまざまな機能を使って連絡先を管理することができます。連絡先リストをシンプルにしたり、端末別またはSIMカード別の連絡先を表示したり、よく使う連絡先を簡単に見つけられるようにすることができます。

重複する連絡先の統合: 連絡先リストに重複する連絡先がある場合、**重複した連絡先の統合** 機能を使用することで、重複する連絡先を統合できます。連絡先リストで  > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動し、統合する連絡先を選択してから  をタップします。

アカウント別の連絡先を表示する: 端末またはSIMカードにある連絡先だけを表示するには、 > **表示設定** に移動して、連絡先を表示するアカウントを選択します。また、以下の操作を行うことができます。

- **簡易レイアウトの有効化:** 連絡先リストでプロフィールの写真、会社、役職を非表示にするには、連絡先リストの画面から  > **表示設定** に移動して、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認:** 連絡先のストレージ容量を確認するには、連絡先リストから  > **表示設定** に移動します。**アカウント** セクションに、端末またはSIMカードで使用可能なストレージの合計容量が表示されます。

連絡先グループの管理

数名の同僚にまとめてメッセージを送信したり、連絡先のグループを作ったりする必要がありますか？スマートグループを使用すると、会社、都市、最近連絡した時間に基づいて連絡先が自動的にグループ化されるため、メールやメッセージを一斉送信できるようになります。

連絡先グループの作成: グループリストで  をタップして、グループ名（「家族」や「友人」など）を入力してから **OK** をタップします。画面の指示に従って連絡先を追加し、 をタップします。

スマートグループ連絡先にメッセージを送信する: グループリストの **スマートグループ** セクションでグループを開き、 をタップしてメッセージを送信するか、 をタップしてメールを送信します。

グループの編集: グループリストで、編集するグループを選択してから  をタップして連絡先を追加するか、 をタップして **メンバーを削除**、**グループ着信音**、**グループの削除**、または **名前を変更** を選択します。

グループの削除: グループリストで、削除するグループを長押ししてから **削除** をタップします。

ブラックリストへの連絡先の追加

連絡先の番号をブラックリストに追加して、それらの連絡先から迷惑電話がかかってこないようにすることができます。

 **連絡先** を開いて、ブラックリストに追加する連絡先を長押ししてから **ブラックリストに追加** をタップします。端末により、ブラックリストに登録されている連絡先からの着信とメッセージが自動的にブロックされます。

ブラックリストの連絡先の表示:  **端末管理** を開いて **ブロック** >  に移動し、**電話番号のブラックリスト** をタップしてブラックリストを表示します。

ブラックリストから連絡先を削除する:  **連絡先** を開いて、ブラックリストから削除する連絡先を長押ししてから **ブラックリストから削除** をタップします。

通話／メッセージ履歴の消去

プライバシーを保護するために、消去機能を使用して連絡先ごとに通話／メッセージ履歴を消去できます。

 **連絡先** を開き、連絡先を選択して  > **履歴を消去** > **消去** に移動します。該当する連絡先のすべての通話／メッセージ履歴が消去されます。

サードパーティ製アプリの連絡先を統合

SNS の統合: たくさんの人とつながる

人脈を広げたいと思いませんか？ SNSアカウントの情報をお手元の連絡先に同期させたいと思いませんか？ SNSアカウント(LinkedInなど)にログインして、連絡先の情報(会社名、役職、メールアドレスなど)をローカル端末の連絡先に同期させることで、人脈が拡大します。

送信者の職歴の表示

新しい職場で仕事を始めたときには、新しい同僚の仕事について早く知る必要があります。LinkedInなどのSNSアカウントを自分のメールアカウントに関連付けることができます。その後、メール送信者の仕事情報がメールの詳細画面に表示されるようになります。

 **メール** 受信トレイから、受信したメールを1つ開きます。メールの詳細に移動し、送信者のプロフィール画像をタップして **LinkedInのプロフィールを表示** を選択します。

連絡先情報を自分の SNS アカウントに関連付ける

端末上の連絡先の職業、メールアドレス、役職を知りたい場合、サードパーティのSNSアプリ(LinkedInなど)を使用すると、連絡先に関する詳しい情報を見つけることができます。

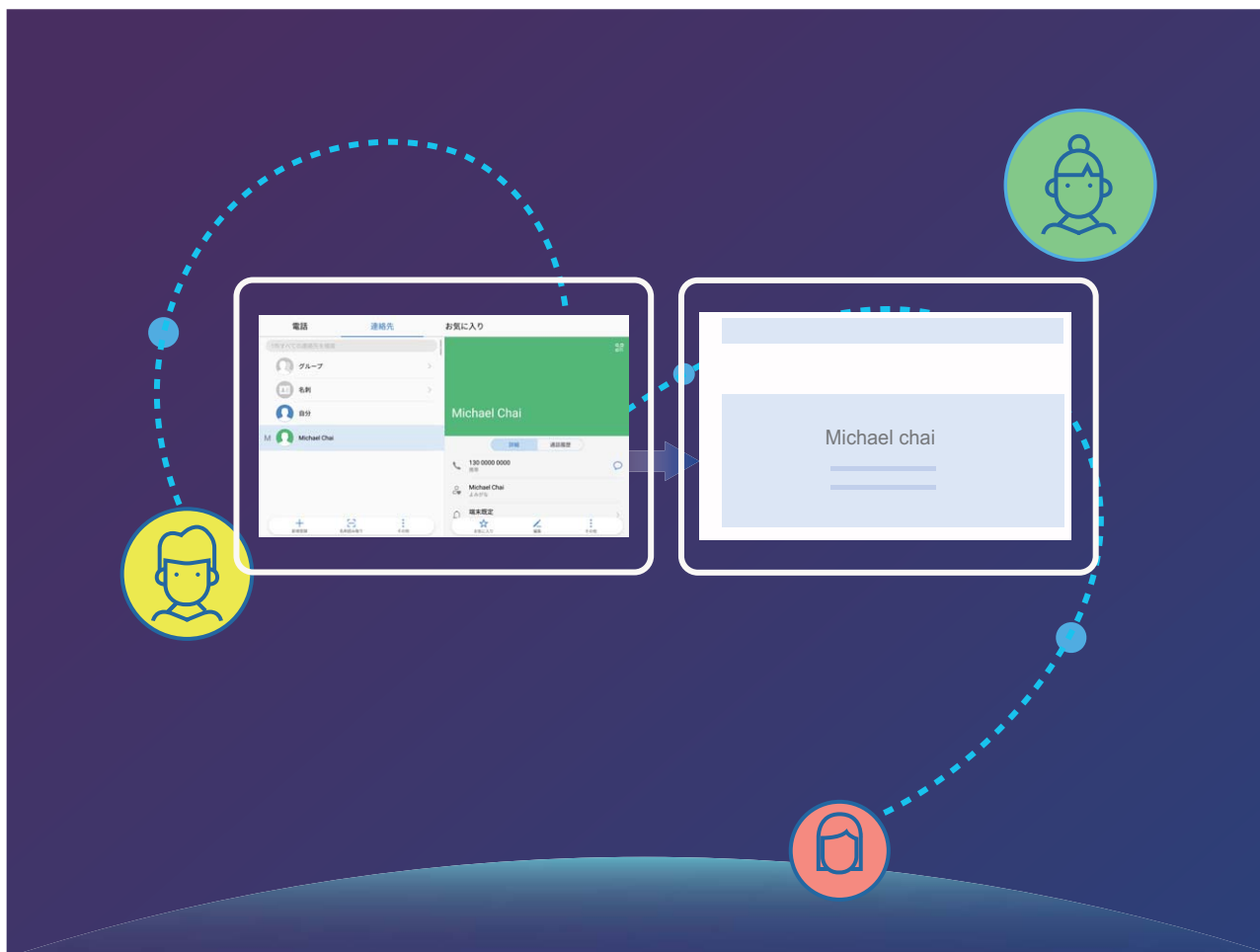
LinkedInアカウントとの関連付け:  **連絡先** を開いて  > **設定** > **LinkedInアカウントを関連付け** に移動し、画面の指示に従ってLinkedInアカウントにログインします。ログイン後、ご利用の端末の連絡先情報が自動的に更新されます。すべてのLinkedIn連絡先情報を同期させるには、**連絡先** のLinkedIn設定画面から **LinkedIn連絡先の同期** > **すべてのLinkedInの連絡先** に移動して、**同期** を選択します。

LinkedInの連絡先情報を表示する: LinkedInの連絡先を1つ開いて、**オンラインでLinkedInのプロフィールを表示します** をタップします。

LinkedIn連絡先の関連付けを解除する:  > **設定** > **LinkedIn** に移動して、**関連付け解除** を選択します。

連絡先の職歴の表示

連絡先の具体的な職歴を確認したいと思うことはありませんか？ サードパーティのアプリ(LinkedInなど)から情報にアクセスして、連絡先の職歴を簡単に確認できます。



発信

基本的な通話機能

発信

入力画面で、電話番号の一部を入力するか、連絡先の名前の最初の文字を入力します。端末が該当する連絡先を自動的に検索します。

 **電話** を開きます。ダイヤル画面において、電話番号を入力するか、連絡先の名前の頭文字を入力することで、連絡先と通話履歴が自動的に検索されます。検索結果リスト内で、電話をかける連絡先をタップします。端末がデュアルSIMに対応している場合は、 または  をタップして発信します。連絡先のステータス(呼び出し中、転送が有効など)を、画面上で確認できます。電話を切るには、 をタップします。

電源ボタンを押して通話を終了する: 間違った電話番号にかけて、発信画面を閉じてしまったときに、素早く通話を取り消したいと思うことはありませんか? こうした場合のために、**電源ボタンで通話を終了** を設定することができます。電話 画面で  > **設定** に移動し、**電源ボタンで通話を終了** を有効にすると、電源ボタンを押すだけで素早く通話を終了できるようになります。

緊急通報

緊急時には、画面がロックされている場合や、端末の電源が入っていて圏内にいれば、緊急通報を行うことができます。

 緊急通報が利用できるかどうかは、現地の法規制やインターネットサービスプロバイダによって異なります。ネットワークの問題や、通信環境で障害が発生したりすると、緊急通報できない場合があります。緊急時の重要な通信は、端末だけに頼らないようにしてください。

 日本国内では、音声通話(IP 電話を除く)対応の SIM カードを取り付けていない場合や、PIN コードの入力画面、PIN コードロック・PUK ロック中には、緊急通報 110 番、119番、118 番に発信できません。

 **電話** を開くか、ロック画面で **緊急通報** をタップして、自分の所在地の緊急番号を入力画面で入力し、 をタップします。電波状況が良好な場所で、端末がインターネットに接続されている場合は、端末側で自動的に現在地を取得して画面に表示します。

通話保留を有効にして重要な着信を受ける

通話中でも他の電話を受けられるようにしたいと思いませんか? 通話保留機能を使用すると、新しい着信に応答した後、2つの通話を切り替えることができます。

 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **その他の設定** に移動し、**割込通話** を有効にします。通話中に別の着信があったら、 をタップして応答し、最初の通話を保留中にします。通話を切り替えるには、 をタップするか、通話リストで保留中の通話をタップします。



着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **着信転送** に移動します。端末がデュアルSIMに対応している場合、SIM 1 または SIM 2 セクションで **着信転送** をタップし、転送方法を選択します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

通話履歴の削除

不要になった通話履歴は削除することができます。

 **電話** を開き、 をタップしてダイヤルパッドを非表示にします。次のいずれかの操作を行うことができます。

- **1つの履歴の削除**: 該当するエントリを長押ししてから、**エントリの削除** をタップします。
- **複数の履歴の削除**:  をタップし、削除するエントリをすべて選択するか **すべて選択** をタップした後、 をタップします。

ボイスメールの有効化

端末の電源が切れているときに重要な電話を取れないことが心配になりませんか？ボイスメールは発信者からのリアルタイムのメッセージを記録できるため、重要な電話を取り損ねることを心配する必要がなくなります。

- ❶ ボイスメールは、通信事業者側で対応している必要があります。ボイスメールサービスが有効になっていることを確認してください。ご利用の通信事業者に連絡して、ボイスメール番号、サービスの詳細、料金に関する情報を入手してください。
- 2018年6月現在、UQはサービス提供していません。

ボイスメールの有効化:  **電話** を開いて  > **設定** に移動し、**その他の設定** をタップします(デュアルSIM対応の端末の場合は、**SIM 1** または **SIM 2** セクションで **その他の設定** をタップします)。続いて **ボイスメール** > **ボイスメールの番号** に移動して、通信事業者から提供されたボイスメール番号を入力します。

ボイスメールメッセージの確認: 入力画面で 1 を長押ししてボイスメールを呼び出し、メッセージを聞きます。

国際ローミングを有効にして国際通話を行う

出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

- ❶ この機能の利用には、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。SIMカードに対してローミングまたは国際ローミングが有効になっていることを確認してください。詳細については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

 **電話** または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

ポケットモード:不在着信の回避

端末がポケットやバッグの中にあるときに、着信を見逃さないか不安ではないですか？ポケットモードが有効になっていると、着信音の音量が次第に大きくなるので、周りが騒がしくても着信音が耳に入ります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **ポケットモード** に移動し、**ポケットモード** を有効にします。**ポケットモード** を有効にすると、端末がポケットやバッグに入っているにもかかわらず着信に気づくことができるように、着信音量が次第に大きくなります。



不在着信に素早くコールバックする

不在着信に素早くコールバックしたいと思ったことはありませんか？

ロック画面に、不在着信通知が表示されます。通知をタップすることで、該当する番号に素早くコールバックできます。

迷惑フィルタ

迷惑電話のブロック: 煩わしい電話を安全にブロック

迷惑電話や電話詐欺にうんざりしていませんか？**ブロック**を使用してみてください。

ブロックルールの設定:  **電話** を開いて **⋮** > **ブロック** に移動し、 をタップします。自分の必要に合わせてブロックルールを設定し、ブラックリストまたはホワイトリストを設定します。

番号プレフィックスによる迷惑電話のブロック

同じプレフィックス(9521など)の番号から頻繁に迷惑電話がかかってくる場合、これらをすべてブロックするルールを作成できます。

 **電話** を開きます。 **⋮** > **ブロック** >  > **電話番号のブラックリスト** > **追加** > **部分一致(先頭)** に移動してから、**9521**と入力し、**OK** をタップします。

VoLTE

VoLTE を有効にして HD 通話を楽しむ

 デュアルSIM対応端末のみが両方のSIMカードスロットでの4G、VoLTEの有効化をサポートしています。

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **モバイルネットワーク** に移動します。SIM1またはSIM2(ご利用の通信事業者のネットワークでサポートされている場合)の設定エリアで、以下の操作を実行できます。

- **VoLTE通話の有効化:** VoLTE通話 を有効にします。

VoWi-Fi

VoWi-Fiを使用した新しい通話体験

モバイル端末ネットワークの電波が届かない場所であっても、Wi-Fiネットワークがあれば、どこでもVoWi-Fiを使用して音声通話やビデオ通話を行うことができます。

-  • この機能を利用するには、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。ご利用の通信事業者に連絡して、料金などの詳しい情報を入手してください。
- 2018年6月現在、UQは本サービス提供していません。

 **電話** を開いて  > **設定** > **Wi-Fi通話** に移動し、**Wi-Fi通話** を有効にします。**モード** をタップし、画面の指示に従って優先するネットワークを設定します。

UQ モバイルポータルアプリ

はじめに

UQ mobileのデータ通信の利用状況の表示、データチャージおよび各サービスの利用等を行うことができます。

i ご利用には、my UQ mobile IDとパスワードが必要です。初期値は次のとおりです。

my UQ mobile ID: UQ mobileお申し込み受け付け時に発行された「受付番号」。

パスワード: お申し込み手続き時に入力した「暗証番号」。

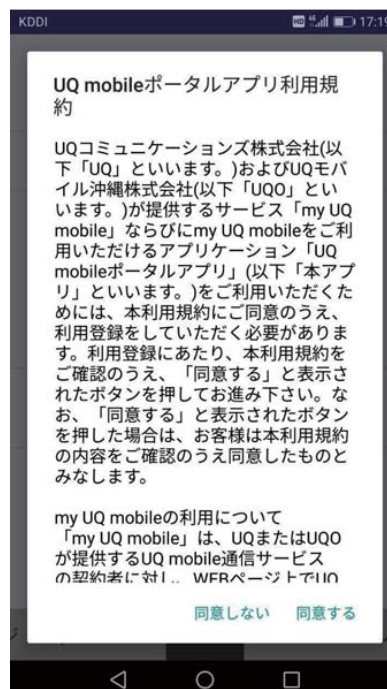
起動

ホーム画面をスワイプし、「あんしんフィルター for UQ mobile」をタップする。

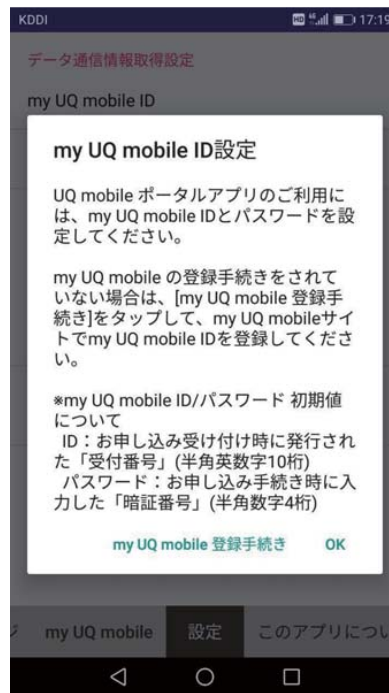
初期設定

i 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

1 「同意する」をタップします。



2 「OK」をタップします。



3 my UQ mobile ID とパスワードを入力する。



あんしんフィルター for UQ mobile

はじめに

お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリのご利用を制限するUQ mobileのフィルタリングアプリです。

起動

ホーム画面をスワイプし、「あんしんフィルター for UQ mobile」をタップする。

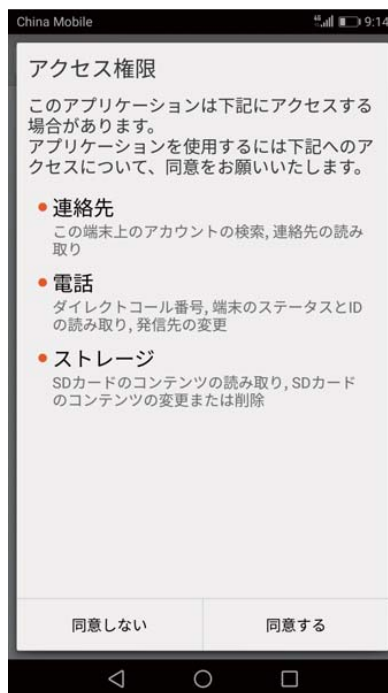
初期設定

 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

1 「OK」をタップします。



2 「同意する」をタップします。



3 「許可」をタップします。



4 利用開始の手続きを開始します。

China Mobile 9:14

https://anshin-access.netstar-in...

あんしんフィルター

利用開始のお手続きを開始します

携帯電話番号とパスワードを入力してください。

携帯電話番号：
11桁の数字

パスワード：
8桁の英数字

ログイン

au
powered by
NetSTAR

カメラ

基本的なカメラ機能

カメラでのビデオ録画

写真撮影の他に、カメラを使用して音声付きHDビデオを撮影できます。



ビデオの録画: カメラ を開いて をタップし、ビデオモードに切り替えます。 をタップしてビデオ録画を開始します。

ビデオ録画中の写真撮影:ビデオの録画中に写真を撮影するには、 をタップします。

ズームイン/ズームアウト:ビューファインダーで、2本の指で画面に触れてピンチインするとズームイン、ピンチアウトするとズームアウトできます。カメラのデジタルズーム制限を超えてズームインすると、画質が低下します。2本の指で画面に触れてズームインまたはズームアウトすると、画面にズームバーが表示されます。このズームバーでズームイン/ズームアウトすることもできます。

フラッシュをオンにする:暗所でビデオを録画するときにフラッシュをオンにするには、 をタップして を選択します。

カメラ設定の調整

カメラの設定ページでは、必要に応じてさまざまなカメラ設定を調整できます。

ビューファインダーをタップして撮影する:  **カメラ** を開いて左にスワイプし、**設定** を開いて **タップして撮影** をオンにします。これにより、ビューファインダー内の被写体をタップすると、自動的にピントを合わせて写真が撮影されます。

自動的に笑顔を撮影する: **設定** で **スマイルキャプチャ** をオンにします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。

焦点距離のロック: **設定** で **シャッターボタンを長押し** をタップし、**焦点距離を固定** を選択します。これにより、シャッターボタンを長押ししてもオートフォーカスが適用されなくなります。

音量ボタンを使用した撮影、ピント合わせ、ズームイン／ズームアウト: **設定** で **音量ボタンの機能** をタップし、必要に応じて **シャッター**、**ズーム**、**フォーカス** のいずれかのモードを選択します。

構図を決めるのに役立つ補助グリッドを使用する

写真で被写体をどこに配置すべきかわからない場合は、補助グリッド機能を使用すると構図が改善されることがあります。

補助グリッドを選択するには、 **カメラ** を開き、ビューファインダーで左にスワイプして **設定** 画面を開きます。**カメラグリッド** をタップしてグリッドタイプを選択します。

三分割法: **グリッド** または **ファイグリッド** を選択します。4本のグリッド線が交差する点が写真の焦点です。いずれかの焦点に被写体を合わせると、魅力的な構図になります。

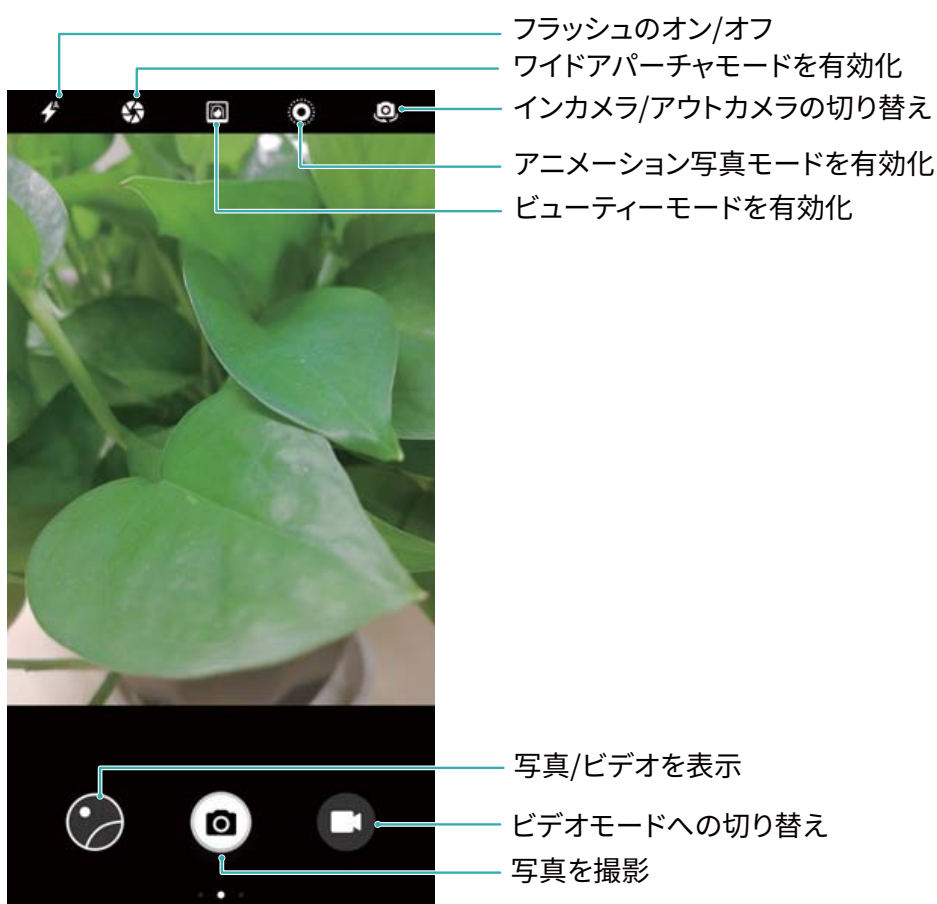


黄金スパイラル: **フィボナッチスパイラル(左)** または **フィボナッチスパイラル(右)** を選択します。らせんの中心が写真の焦点になります。被写体をこの焦点に配置すると、写真が自然な流れに沿っているように見えます。



基本的なカメラ機能の使用

カメラの基本的な機能を学習することで、より美しい写真を撮影できます。



基本的な写真撮影:  **カメラ** を開きます。ビューファインダー画面で、 をタップすることで写真を撮影できます。また、音量キーをシャッターボタンとして設定しておくことで、音量ダウンキーを押して写真を撮影できます。

撮影モードの選択: カメラ画面で画面を右にスワイプすると、撮影モード画面が起動します。必要に応じて別のモードを選択することができます。

焦点の長さの調整: 撮影画面で、2本の指で画面をタップします。ピンチアウトするとズームイン、ピンチインするとズームアウトできます。被写体へのズームイン距離がデジタル焦点距離の値より大きい場合、写真の画質も低下します。2本指でピンチイン/アウトすると、撮影画面の横に焦点距離の調整エリアが表示されます。スライダーをドラッグすることで焦点距離を調整できます。

露出の調整: 周囲が明るすぎたり、暗すぎたりする場合、カメラ側で自動的に露出が調整されて、画質が向上します。露出を大きくすることで、写真が明るくなり、露出を小さくすることで写真が暗くなります。

撮影画面において、画面をタップし、フォーカスの隣にある  をドラッグすることで露出を素早く調整できます。

フラッシュのオン/オフ: 暗い場所で写真を撮影する場合、フラッシュをオンにすることで、周囲を明るくすることができます。撮影画面で、 をタップすると、以下のモードを切り替えることができます。

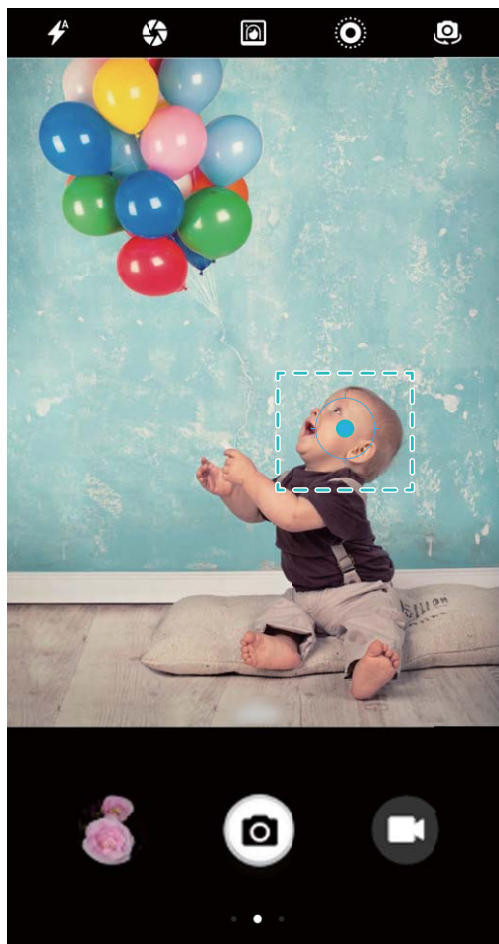
-  **オート:** 周囲の明るさに応じてフラッシュのオン/オフが自動で決定されます。
-  **OFF:** 撮影時にフラッシュがオンになりません。
-  **ON:** 撮影時にフラッシュがオンになります。
-  **常時ON:** 撮影画面でフラッシュが常時オンになります。

位置情報の有効化: 撮影時に位置情報が記録されます。撮影場所ごとにアルバム内の写真を閲覧できます。撮影画面で、左にスワイプしてカメラ設定画面を起動し、**GPSタグ** スイッチをオンにします。

オブジェクトトラッキング: 遊んでいる子供を撮影する

お子様の写真を撮るといつも焦点がぼやけてしまう場合、オブジェクトトラッキングを使ってみましょう。オブジェクトトラッキングは、動く被写体に自動的にピントを合わせるため、シャープで活動的な写真を撮影できます。

 **カメラ** を開きます。画面を左にスワイプして **オブジェクトトラッキング** を有効にします。ビューファインダー内で被写体をタップします。ピントが合った状態で被写体を自動的に追跡し、ぼやけが防止できます。



連写撮影: 忘れられない瞬間をワンタッチで撮影

連写モードを使用することで、複数の写真を連続して撮影し、その中から最高の1枚を選ぶことができます。

🔵 **カメラ** を開き、左にスワイプして **シャッターボタン** を長押し > **連写** に移動します。📷 を長押しすると、連写が開始します。連写が完了したら、**ギャラリー** を開き、📁 タグが付いた写真を見つけます。📁 をタップし、連続写真の中から1枚選択します。

📘 連続写真は標準 **写真** モードと **モノクロ** モードでのみ撮影できます。

音声シャッター: 音声を使って撮影する

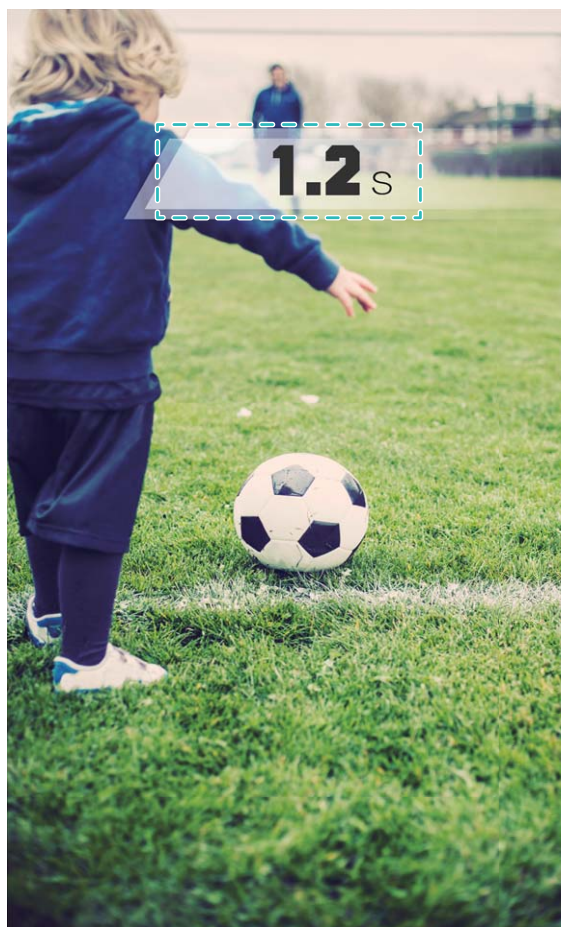
シャッターボタンをタップせずに写真を撮りたいと思いませんか？ 音声シャッターを使用することで、音声を使って写真を撮影できます。

🔵 **カメラ** を開き、左にスワイプして **音声シャッター** に移動します。**音声シャッター** を有効にし、写真撮影に使用する音声操作を選択します。これにより、音声を発すると写真を撮影できます。

ウルTRASナップショット: 大切な瞬間を見逃さない

端末のロック解除が間に合わずに、撮影チャンスを逃してしまったことはありませんか？ そんなときは、ウルTRASナップショットを使ってみましょう。ウルTRASナップショットを使うと、予期しない瞬間を写真に収めることができます。画面消灯時に、音量ダウンボタンを素早く連続して2回押すだけで、写真を撮影できます。

● **カメラ** を開きます。画面を左にスワイプして **ウルTRASナップショット** > **カメラを開いてクイック撮影** をタップします。画面消灯時でも、カメラを被写体に向け、音量ダウンボタンを素早く連続して2回押すと、写真を撮影できます。



タイマー撮影: 全員そろったグループ写真を撮影する

見ず知らずの人に頼まずに、グループ写真を撮影したいと思いませんか？タイマー機能を使ってみましょう。まず、全員並んで撮影準備を整え、シャッターボタンをタップします。操作する人が画面に入ることができるよう、撮影まで一定の時間がとられます。見ず知らずの人に頼まずに、全員そろったグループ写真を撮影しましょう。

● **カメラ** を開いて画面を左にスワイプし、**タイマー** をタップして適切な時間を選択します。



スローモーション動画：ほんの一瞬を細部まで記録

スローモーション録画を使用すると、大事な瞬間の動きを遅くして、細かいところまで見ることができます。録画した画像の一部分をスローモーションで再生することで、目的の瞬間だけを切り取ります。

📷 **カメラ** を開いて画面を右にスワイプし、**スロー** をタップしてから 📹 をタップして動画の録画を開始します。

録画した動画は **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラビデオ** に保存されます。再生中に編集スライダーをドラッグすると、スローモーションで再生したい部分を選択できます。

📌 十分な明るさを確保した環境でスローモーション動画を撮影すると、仕上がりがよくなります。

ワイドアパーチャ

ワイドアパーチャモード：被写体の強調

たくさんの花の中でシャクヤクの花だけを目立たせたい、群衆の中で被写体だけを強調したい、暗い場所で明るさを上げたい。そんなときにはワイドアパーチャモードを有効にすれば、背景をぼかしたり、被写体を強調したり、暗所でも鮮明な写真を撮影したりできます。

- **ほんの一瞬を切り取るクイックフォーカス**：ワイドアパーチャモードを使用すると、ピント合わせの遅れや手ぶれによるぼけを防ぎながら、移動中でも一瞬の出来事を素早くとらえることができます。

- **背景をぼかして被写体を強調**: 群衆の中で被写体を引き立たせるのは難しいものです。ワイドアパーチャモードを有効にして背景をぼかすと、人ごみの中でも容易に被写体を際立たせることができます。
- **夜でも簡単に瞬間を撮影**: 夜や暗い場所では写真がぼけがちです。ワイドアパーチャモードを有効にして、レンズから取り込む光の量を増やし、写真の明るさをカスタマイズすると、暗い中でも鮮明な瞬間を撮影できます。



ワイドアパーチャモード: 被写体の強調

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。

ワイドアパーチャ写真の撮影:  カメラを開きます。画面上部の  アイコンをタップしてワイドアパーチャモードを有効にします。再度  アイコンをタップするとワイドアパーチャモードが終了します。アイコンが表示されない場合、画面を右にスワイプして **写真** を選択します。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから  をタップして撮影します。

-  ● 仕上がりをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
-  をタップし、スライダーを左右にスワイプして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のボケ味が強くなります。

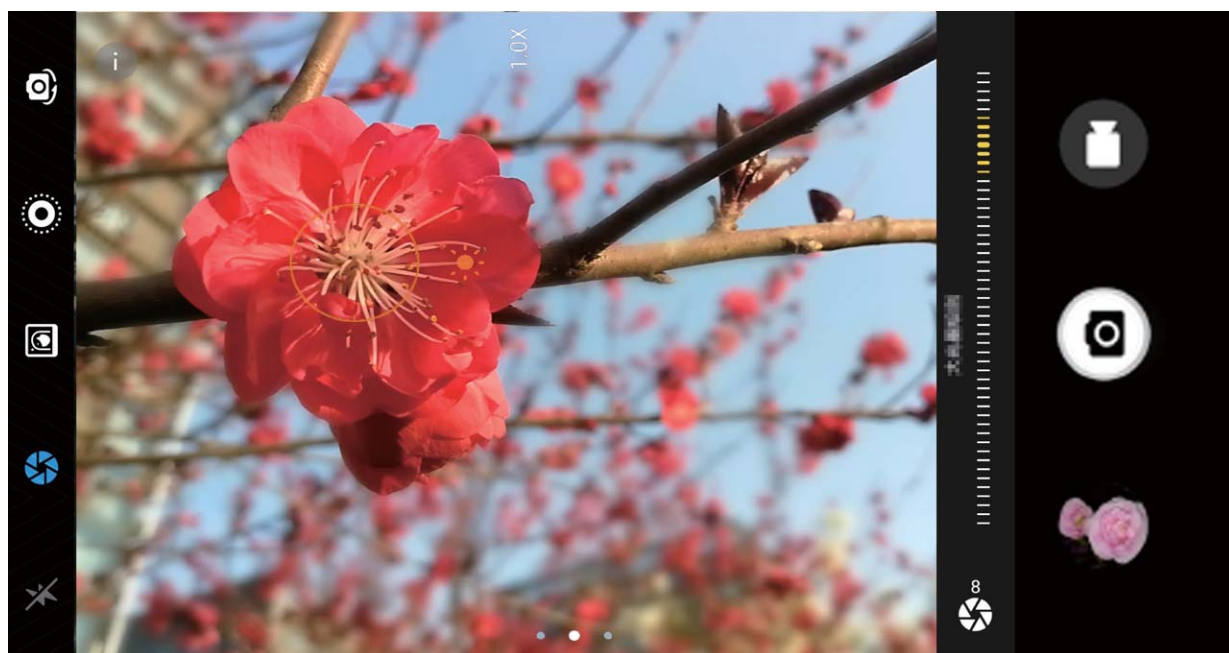
ワイドアパーチャ写真の編集: ギャラリーを開いて  アイコンの付いた写真をタップします。  をタップして焦点とアパーチャの値を変更します。  をタップして写真を保存します。

ワイドアパーチャモード: 被写体を際立たせる

ワイドアパーチャモードでは、前景にピントを合わせ、背景をぼかすことで被写体を際立たせます。

 カメラを開き、アウトカメラを選択します。画面の上部にある  アイコンをタップして、ワイドアパーチャモードを有効にします。撮影するには、画面をタップして焦点を選択してから、 をタップして撮影します。

-   をタップし、スライダーを左右にスワイプして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のボケ味が強くなります。
- 中心の被写体がカメラから2 m以内にある状態が最適です。



パノラマ

パノラマ: ワイドアングルで風景を撮影する

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

i パノラマ写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

カメラ を開きます。画面を右にスワイプして **パノラマ** をタップします。パノラマモードで、画面上部にある  をタップし、撮影方向を設定します。

端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。終了したら、 をタップします。写真が自動的につながぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



パノラマを使用したパノラマセルフィーの撮影

パノラマを使用すると、広い画角でセルフィーを撮影できます。

- 1 パノラマセルフィーを撮影するには、**カメラ** を開いて  をタップし、インカメラに切り替えます。
- 2 画面を右にスワイプして **パノラマ** をタップします。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして1枚目の写真を撮影します。
- 4 画面の指示に従って端末を一方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。もう1枚の写真が自動的に撮影されます。
- 5 画面の指示に従って端末を逆方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。最後の写真が自動的に撮影されます。
- 6 操作が完了すると、3枚の写真が自動的につながぎ合わされ、1枚のワイドアングルセルフィーになります。

プロモード

プロカメラモード:カメラで自分を表現

プロカメラモードでは、露出やシャッター速度などのさまざまな設定を調整でき、カメラを自分で操作できます。

プロカメラモードは、端末にプリインストールされているカメラモードです。プロカメラモードでは、カメラのさまざまなパラメータを調節して、プロが使うカメラのような写真やビデオを撮影できます。



プロカメラモードで風景写真を撮る

プロカメラモードでは、カメラ設定をカスタマイズし、素敵な風景写真を撮影できます。

- 🔵 **カメラ** を開き、右にスワイプし、**プロ写真** をタップすることで、プロカメラモードを有効にします。

測光モード: プロカメラモードで  をタップします。シーンに合わせて適切な測光モードを選択します。

測光モード	シーン
マトリックス	広大な風景(海岸、山)
中央	中央の被写体が背景から離れている写真
スポット	際立たせたい被写体(花や木など)が写っている写真

明るさの設定

- **ISO**: プロカメラモードで **ISO** をタップし、ISOスライダーを横にスライドして値を変更します。
 - 📘 過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。日中の撮影ではISOを100～200に設定し、夜間撮影では約400に設定します。
- **シャッター速度**: プロカメラモードで **S** をタップし、スライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

i 動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80～1/125をお勧めします。動きのあるシーン(波など)では、三脚に端末を取り付け、遅いシャッター速度(1秒未満)を設定することをお勧めします。

- **露出補正**:プロカメラモードで **EV** をタップし、使用する値がハイライト表示されるまでEVスライダーをドラッグします。

ホワイトバランス:プロカメラモードで **AWB** をタップし、使用する値がハイライト表示されるまでAWBスライダーをドラッグします。

- i** ● 直射日光が当たる場所で撮影する場合は  を選択し、暗所や曇りの場合は  を選択します。
- 色温度を変更するには、 を選択します。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒色の光や静寂な雰囲気にするには、K値を小さく設定します。

フォーカス:プロカメラモードで **AF** をタップし、使用する値がハイライト表示されるまでAFスライダーをドラッグします。

フォーカスモード	シーン
AF-S	動きのないシーン(山など)
AF-C	動きのあるシーン(波など)
MF	際立たせる被写体(花など)

端末を水平に保つ:プロカメラモードで、ビューファインダーを左にスワイプして **水準器** を有効にします。この機能では、ビューファインダーに水準器が表示されます。点線が実線と揃っていることを確認します。揃っている場合は、端末が水平になっています。

RAWファイルの保存:プロカメラモードで、ビューファインダーを左にスワイプして **RAW形式** を有効にします。写真がRAW形式とJPEG形式の両方で保存されます。

- i** ● プロカメラモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整してください。



プロカメラモードでポートレートを撮影

もっと個性のあるポートレート写真を撮影したいと思ったことはありませんか？プロカメラモードでは、カメラ設定をカスタマイズし、自分独自のお洒落なポートレートを撮影できます。

 **カメラ** を開き、ビューファインダーを右にスワイプし、プロカメラモードを有効にします。

測光モード: ポートレートを撮影する場合は、 または  を選択し、被写体を写真中央に配置します。

明るさの設定

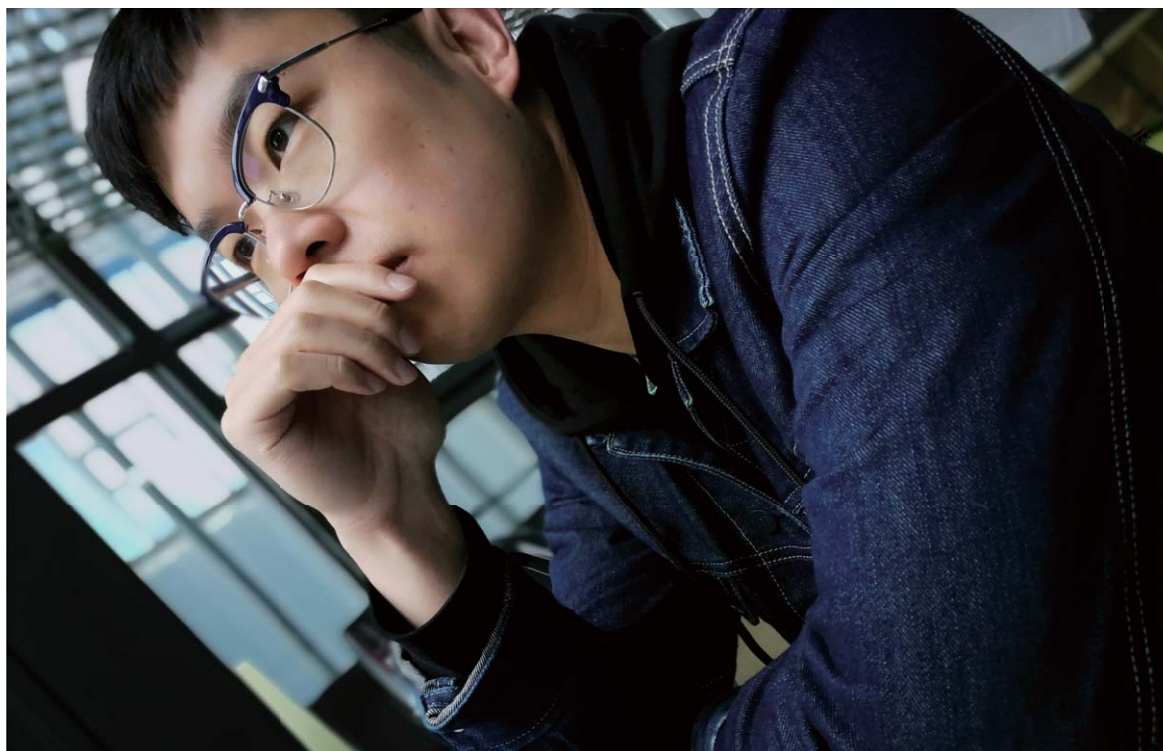
- **ISO**: ポートレートを撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを低く設定することをお勧めします。混合光の場合、設定を試しながら適切なISO設定を選択します。

シーン	推奨ISO値
屋外	100-200
屋内	400
夜間	400-800

- **シャッター速度**: 暗所ではシャッター速度を遅くし、十分な明るさのある場所ではシャッター速度を速くします。動きのない被写体の場合はシャッター速度として1/80～1/125を使用し、動きのある被写体の場合は1/125以上のシャッター速度を使用します。
- **露出補正**: 被写体と背景が暗すぎる場合はEV値を大きくし、明るすぎる場合はEV値を小さくします。

フォーカス:ポートレート撮影では、マニュアルフォーカス(MF)モードを選択することをお勧めします。写真の中でピントを合わせて際立たせる部分(顔など)をタップしてから、撮影します。

- **プロカメラモード**では、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整してください。



プロカメラ:細部まで調整可能

プロカメラモードでは、カメラ設定を自分の手ですべて制御できるため、写真のライティングや色のトーンを設定できます。

- **カメラ**を開き、右にスワイプし、**プロ写真**をタップすることで、**プロカメラモード**を有効にします。



ビューティー加工

ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

ポートレートモードでは、さまざまなビューティー設定を行い、カスタムビューティー設定を保存する情報データベースを作成できます。

- ① 夜間や暗所でセルフィーを撮影する場合、端末は周囲の光が暗いことを検出し、自動的に夜間撮影モードが有効になるので、セルフィーの画質が向上します。このモードのスイッチはありません。周囲の光が暗いことを検出すると、このモードが自動的に有効になります。このモードが有効になると、端末に通知が表示されます。

- **ポートレートモード**: ポートレートモードを有効にすると、フレーム内のすべての人物にビューティー効果が自動的に適用されます。
- **パーフェクトセルフィー**: パーフェクトセルフィーを有効にすると、カスタムビューティープランが作成されます。ビューティーレベルが高いほど、効果が大きくなります。

ビューティーモードで魅力的なポートレートを撮る

ビューティーモードには、写真をいつでも魅力的にするカスタムオプションが備わっています。

ビューティーモードをオンにして写真を撮る: カメラ を開き、 をオンにして、ファインダーの アイコンをタップします。スライダーを左右にドラッグして、ビューティー設定を調整します。ビューティーレベルを高くすると、ビューティー効果がより明瞭になります。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

パーフェクトセルフィーモードをオンにした、ビューティー設定のカスタマイズ:  カメラを開き、 をオンにして左にスワイプすると、カメラ設定画面になります。パーフェクトセルフィーをタップしてパーフェクトセルフィーをオンにし、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真を撮り、次にビューティー設定パラメータを設定します。パラメータの値を大きくするほど、よりスリムで明瞭なビューティー効果になります。設定を確認した後、 をタップすると、カスタマイズしたビューティー設定が保存されます。

- **カスタム情報の再入力:** カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **個人情報編集** に移動し、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真をもう一度撮ります。これにより、ビューティー設定パラメータが再設定されます。
- **ビューティー設定パラメータの調整:** カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **ビューティーエフェクトを設定** に移動して、肌の瑞々しさや色合いなどのパラメータを調整します。

ライトペインティングモード

ライトペインティング: 光の軌跡を撮影する

ライトペインティングモードでは、遅いシャッター速度に自動的に設定し、露出時間を長くして光の軌跡を撮影します。このモードでは、幻想的な雰囲気の良い写真を撮影できます。

ライトペインティングモードには、さまざまな被写体と光の状態に対応した4種類のクリエイティブな撮影モードがあります。

- **テールライトトレイル:** 夜間に車のライトの軌跡を撮影します。
- **ライトグラフィティ:** 暗所で移動する光源の軌跡を撮影します。
- **シルキーウォーター:** 流れる水の様子をシルクのように滑らかに撮影します。
- **スタートラック:** 夜空の星の軌跡を捉えた美しい写真を撮影します。



シルキーウォーター: 滝や小川をシルクのように滑らかに撮影

シルキーウォーターでは、滝や川をシルクのように滑らかに撮影できます。

- 水量の多い小川や滝を選んでください。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- カメラ を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング > シルキーウォーター** に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



スタートラック: 星をキレイに撮影する

スタートラックでは、夜空の星の動きを撮影できます。

- 障害物や人工の光がない場所で、空が澄み切った夜に撮影するとよいでしょう。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- カメラ を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング > スタートラック** に移動します。端末をしっかりと持ち、📷 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、🛑 をタップします。



テールライトトレイル: 街の光を撮影する

テールライトトレイルでは、夜間の車のテールライトを芸術的に撮影できます。

- **i** ある程度距離を置いた位置で、被写体のやや上から撮影するとよいでしょう。画像が露出過多にならないよう、車のヘッドライトがカメラに直接向かないようにしてください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

● **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング** > **テールライトトレイル** に移動します。端末をしっかりと持ち、**📷** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、**⏹** をタップします。



ライトグラフィティ:写真を光で彩る

ライトグラフィティでは、カメラの前で光源を動かして文字や図形を描くことができます。

- **i** 他光が入らない場所で、被写体の影が見えないことを確認してください。ペンライトやサイリウムなど、適切な色の明るい光源を選択してください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング** > **ライトグラフィティ** に移動します。端末をしっかりと持ち、**カメラ** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、**完了** をタップします。



HDR モード

HDR モード: 写真をシャープにする

背景の明るい写真や、光のコントラストの強い風景・建築物を撮影するときには、HDRモードを使用すると写真の光と影の効果を調整して、細部までシャープに撮影できます。HDRを有効にすると、カメラは露出設定を使って数枚の写真を瞬時に撮り、写真を合成します。その結果、明るい部分と中間部分の細部までシャープな写真になります。

 **カメラ** を開き、画面を右側にスワイプして、HDR をタップします。端末を動かさずに  をタップすると、写真が撮影できます。

 撮影時にカメラの動きを最小限に抑えるには、三脚を使って端末を固定することをお勧めします。



コマ抜き録画

コマ抜きを使用して長時間の撮影を圧縮する

コマ抜き撮影を使用すると、長時間、多くの画像を撮った後、画像を凝縮して短いビデオにすることができます。これにより、開花や引き潮の様子、街の交通の流れ、1日の雲の動きや夜空の星の動きを映像として見ることができます。

- **コマ抜きの録画時間を長くしすぎないようにしてください。** 電池残量やストレージ容量が不足するおそれがあります。
- コマ抜き撮影中に端末が動くのを最小限に抑えるため、三脚を使用してください。

コマ抜き撮影を開始する前に、被写体の光が十分であること、カメラの焦点が合っていることを確認します。背景にある関係のないものを撮影しないよう、カメラの位置を慎重に決めます。

 **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして、**コマ抜き** をタップします。 をタップすると録画が開始します。 をタップすると録画が終了します。

ギャラリー に移動して、コマ抜きビデオを再生します。

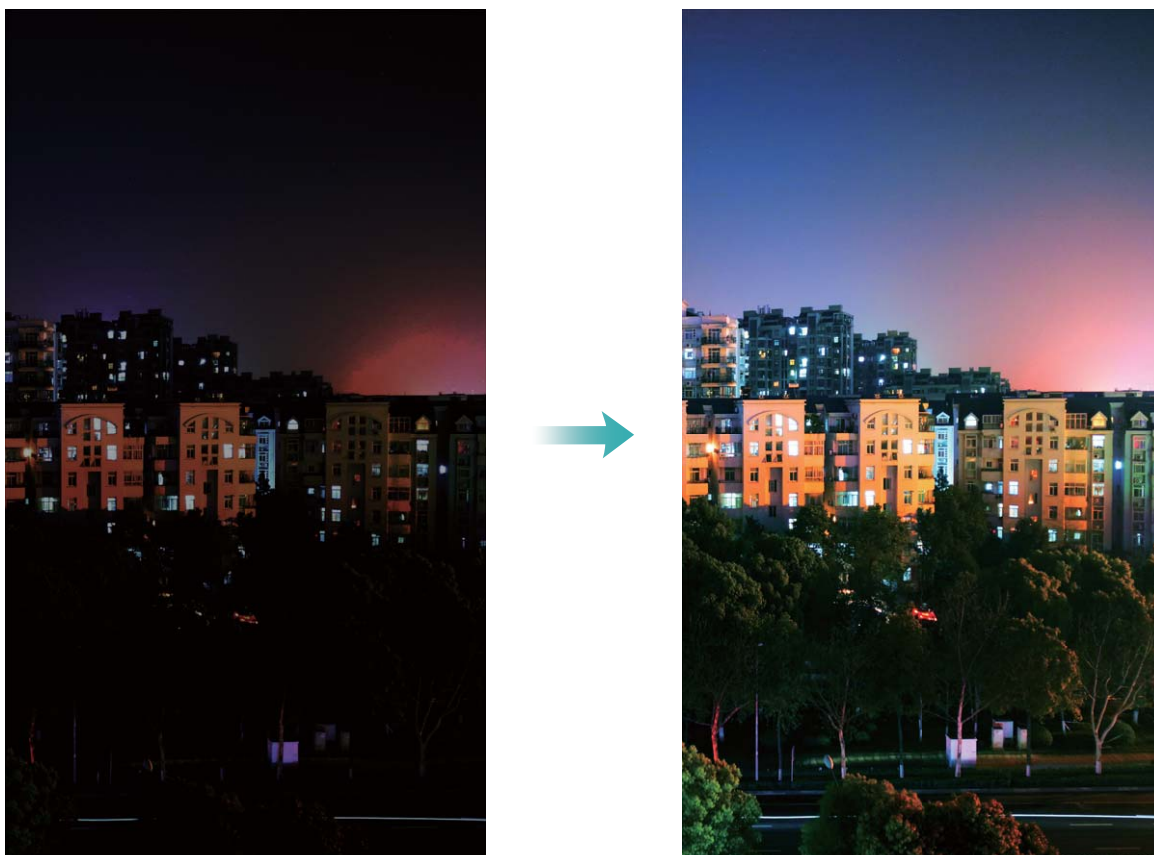
夜間撮影モード

夜間撮影: 夜間にキレイに撮影する

標準撮影モードに比べ、夜間撮影モードでは、暗所や夜間での撮影における制約が解消され、明るさ色味が向上したシャープな写真を撮影できます。

📷 カメラを開いて画面を右にスワイプし、**夜間撮影**をタップします。📷 をタップすると、自動的に複数の写真を撮影して合成します。カウントダウンが終わるまでは撮影を停止しないでください。停止すると、ぼやけた写真になることがあります。

- 📌 夜間撮影モードでは、撮影中に複数の露出を使用します。このため、端末が安定している必要があります。カメラのぶれを最小限に抑えるため、三脚で端末を固定することをお勧めします。
- ISOとシャッター速度を手動で調整する場合、ISOを200以下に、シャッター速度を5秒以下に設定するのが最適です。



ウォーターマーク

ウォーターマークのカスタマイズ: 写真をカスタマイズ

写真に短い言葉を追加して、今の考えや気持ちを記録に残しましょう。ウォーターマーク(透かし)機能を有効にすると、個性的なウォーターマークを写真に追加できます。豊富な書式の中から選択して、写真をカスタマイズできます。

時刻、場所、天気、雰囲気、食べ物、運動などのウォーターマークを写真に追加できます。📷 **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして、**ウォーターマーク** をタップします。



カスタム撮影モード

カスタマイズされた撮影モードで新たな可能性を発見

プリセット機能のほかに新しいカメラの使い方を発見したい場合、必要に応じて撮影モードをダウンロードしたり、削除できます。

その他の撮影モードのダウンロード: 📷 **カメラ** を開き、右にスワイプして **モード** ページに移動し、↓ をタップしてダウンロードを表示できます。該当する撮影モードを選択し、**追加** をタップします。ダウンロード後、ダウンロードした撮影モードは **モード** で確認できます。

撮影モードの更新: 撮影モードを更新するには、モード ページに移動し、 をタップします。利用可能な更新のある撮影モードの隣には、赤い点が表示されます。画面上の説明に従って更新できます。

撮影モードの削除: モード ページでは、画面上部の近くにある  をタップすることで **編集 モード** にした後、 をタップすると、不要な撮影モードが削除されます。

 カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。

ギャラリー

写真の管理

アルバムの整理

新しいアルバムに写真／ビデオを追加する: アルバム タブで  をタップし、アルバム名を入力して、OK をタップします。新しいアルバムに追加する画像またはビデオを選択します。

写真／ビデオの移動: 表示しやすいように、別々のアルバムの写真やビデオをまとめることができます。アルバムを開き、写真またはビデオを長押しして、 が表示されたら、移動する写真またはビデオを選択します。 をタップし、移動先のアルバムを選択します。移動された写真またはビデオは、元のアルバムから削除されます。

アルバムの整理: アルバムリストに多数のアルバムがある場合には、一部のアルバムを **その他** に移動できます。アルバムを長押しし、 が表示されたら、移動するアルバムを選択します。次に  をタップすると、アルバムが **その他** に移動します。アルバムを元の場所に復元するには、**その他** を開き、復元するアルバムを長押しして  をタップします。

-  **カメラ、カメラビデオ、スクリーンショット** の各アルバムは **その他** に移動できません。
- サードパーティアプリで作成したアルバムを **その他** に移動しても、アプリには影響しません。

アルバムの順序変更: よく使用するアルバムをリスト上部に移動することで、簡単に表示できるようになります。アルバムを長押しして  を表示させます。 を長押しし、指でアルバムをリストの上下に移動します。操作が終わったら、 をタップして変更を保存します。

-  **カメラ、スクリーンショット** の各アルバムは並べ替えできません。

アルバムを非表示にする: プライベートなアルバムを非表示にして、自分以外のユーザーがアルバムを閲覧できないようにします。アルバム タブで  > **アルバムを非表示** に移動し、非表示にするアルバムのスイッチをオンに切り替えます。

-  **カメラ、スクリーンショット** の各アルバムは非表示にできません。

写真またはビデオの削除: 写真／ビデオを長押しし、 が表示されたら、削除する写真／ビデオを選択して  > **削除** をタップします。削除された写真やビデオは **最近削除したファイル** アルバムに保存され、完全に削除されるまでの残り日数を示すアイコンと一緒に表示されます。写真やビデオを完全に削除するには、**最近削除したファイル** に移動して、削除する写真／ビデオを選択し、 > **削除** をタップします。

削除した写真やビデオの復元: **最近削除したファイル** アルバムを開き、写真／ビデオを長押しして  を表示させます。復元する写真／ビデオを選択し、 をタップすると、選択した写真／ビデオが元のアルバムに復元されます。元のアルバムが存在していない場合は、再作成されます。

ビデオの編集

ビデオのトリミング:  ギャラリーを開き、編集するビデオを選択して  をタップすると、ビデオ編集画面になります。トリミング領域のスライダーをドラッグすると、残したい部分を選択できます。✓ をタップすると、ビデオのトリミングが終了します。

ビデオ解像度の調整: スライダーをドラッグして残したい部分を選択するときに、 をタップするとトリミング後のビデオがプレビュー表示されます。さらに、編集画面上のビデオ解像度オプション(フルHD、HD、標準 など)をタップして、ビデオ解像度を調整することもできます。

 解像度が高いほどビデオが鮮明になりますが、より多くのストレージ容量が必要になります。状況に応じて適切に選択してください。

写真の編集

撮影した写真の見映えをよくするために画像を編集できます。ギャラリーの編集機能を使用すると、トリミングや回転、さまざまな効果(落書き描画、ウォーターマークのカスタマイズ、フィルタなど)を適用して写真をさらに印象的にすることができます。

 ギャラリーに移動し、編集する写真を選択して  をタップすると、写真の編集画面になります。次の機能を使用して、写真を編集することができます。

- **写真の回転:**  をタップし、角度つまみをスライドさせて、写真の回転角度を自由に調整します。また、回転 または 鏡 をタップすると、写真を90° 回転させたり、上下を逆にしたりできます。
- **写真のトリミング:**  をタップし、グリッドツールボックスまたはその端をドラッグして選択します。また、固定トリミング率を選択し、グリッドツールの端をドラッグして写真をトリミングすることもできます。
- **フィルタ効果の追加:**  をタップして、フィルタ効果を選択します。
- **色の保持:**  をタップし、画面の指示に従って、保持する色を選択します。色を保持するよう選択した領域がハイライト表示されます。
- **写真をぼかす:**  をタップし、適切なぼかしモードを選択し、スライダーをドラッグすると、ぼかしのレベルを調整できます。
- **写真効果の調整:**  をタップして、写真の明るさ、コントラスト、彩度、その他のパラメータを好みに応じて調整できます。
- **ポートレート写真のビューティー効果:** ポートレート写真が自動検出されると、ビューティー機能が自動的に表示されます。写真の編集画面で  をタップすると、スムージング、コンシーラー、細面、目を洗練などの機能を適用して、さらに魅力的なポートレート写真にすることができます。
- **写真モザイクの作成:**  をタップし、適切なモザイク効果とサイズを選択して、写真モザイクを作成できます。
- **写真に手書きで落書きする:**  をタップし、適切なブラシと色を選択して写真に落書きできます。
- **ウォーターマークの追加:**  をタップし、適切なウォーターマーク(時刻、場所、天気、ムード など)を選択して、写真をカスタマイズできます。

- **タグの追加:**  をタップし、注釈スタイルとフォント書式を選択して、写真に情報を付け加えることができます。

写真やビデオの閲覧と共有

時間のあるときに古い写真やビデオを眺めると、大切な思い出がよみがえります。写真やビデオはギャラリーに保存されています。写真を撮影時刻や撮影場所別に表示したり、アルバムを選択して写真を表示したりできます。

写真を全画面で表示する:  ギャラリー を開いて写真をタップすると、写真を全画面モードで表示します。画面をもう一度タップすると、メニューが非表示になります。写真を全画面モードで表示しているときには、次の操作を実行できます。

- **写真のズームインとズームアウト:** 画面に2本の指を置いてピンチアウトすると写真にズームインし、ピンチインするとズームアウトします。
- **撮影パラメータの表示:** 写真の撮影パラメータを表示するには、 をタップし、詳細情報ウィンドウを上下にスワイプします。ISO(感度)、EV(露出補正)、解像度、その他の写真のパラメータが表示されます。
- **写真の名前の変更:**  > **名前を変更** に移動し、写真の新しい名前を入力します。
- **写真を連絡先の写真またはデスクトップの壁紙として設定する:**  > **登録** に移動し、写真を **壁紙** または **連絡先の写真** として設定します。

写真やビデオの共有:  ギャラリー を開き、いずれかのファイルを長押しして選択画面を表示します。次に、共有するファイルを選択して  をタップします。共有方法を選択し、画面の指示に従って共有を完了します。

写真の自動回転の設定: 写真やビデオを画面の向きに合わせて回転できます。ギャラリー 画面で  > **設定** > **写真の方向** に移動し、**常に回転** を選択します。

撮影時刻別に表示: 写真やビデオの撮影時刻は **写真** タブで確認できます。  > **設定** に移動して **日付の表示** を有効にすると、写真を全画面モードで表示しているときに撮影日が表示されます。**写真** タブでは、2本の指でピンチアウトすると画面がズームインし、ピンチインすると画面がズームアウトします。また写真やビデオの月別での表示と日付単位での表示を切り替えることができます。

撮影場所別に表示: カメラ 設定メニューで **GPSタグ** を有効にした状態で写真やビデオを撮影すると、写真やビデオを地図モードで表示できます。**写真** タブで  をタップすると、位置情報付きの写真やビデオが、地図上の対応する撮影場所に表示されます。2本の指でピンチアウトすると地図がズームインし、写真の詳細が表示されます。写真のサムネイルをタップすると、その場所で撮影されたすべての写真やビデオが表示されます。

アルバム別に表示: **アルバム** タブでは写真やビデオをアルバム別に表示できます。一部の写真やビデオは、システムで指定されているデフォルトのアルバムに保存されます。たとえば、カメラで録画したビデオは **カメラビデオ** アルバムに保存されています。スクリーンショットとスクリーン録画は **スクリーンショット** アルバムに保存されます。

スライドショーの再生: 写真 タブで  > スライドショー に移動すると、写真のスライドショーが自動的に再生されます。再生を停止するには、画面をタップします。

端末管理

ワンタップ最適化

ワンタップ最適化の使用

端末の動作が遅くなってきたと感ずることがあります。マルウェアや他のセキュリティの脅威に対する脆弱性が心配になることもあります。ワンタップ最適化を使用すると、端末の動作がよりスムーズになり、セキュリティの脅威からも保護されます。

■ **端末管理** を開いて、**最適化** をタップします。端末の動作が速くなり、セキュリティリスクの確認が行われ、消費電力が最適化され、不明な電話番号からの電話や迷惑電話が監視および撃退されます。

データトラフィック管理

モバイルデータ通信量の管理

その月のデータ量を使い切り、追加料金を支払うという事態は避けたいものです。データ通信量の管理機能を利用すれば、データトラフィックを監視してデータの過度な利用を防ぐことができます。

■ **端末管理** に移動して **モバイルデータ通信** をタップし、データ使用状況の詳細を表示するか、**データセーバー** を有効にします。

- **通信量ランキング**: 各アプリのデータ使用状況を確認します。
- **ネットワーク通信を行うアプリ**: アプリごとにインターネットアクセス権限を設定します。
- **データセーバー**: データセーバー(アプリによるバックグラウンドでのモバイルデータ通信を防ぐ)を有効にし、データ通信量の制限を適用しないアプリを選択します。



省電力

消費電力の最適化

省電力機能により、端末の待受時間を延長し、ゲームやその他の機能を長時間利用できるようになります。

■ **端末管理** のアイコンをタップして、**電池残量** をタップすることで以下を実行できます。

- **消費電力の詳細表示**: 消費電力の詳細を確認するには、**電池消費量** をタップします。電池消費量の詳細画面では、**充電中** の下の青いマークが端末が充電されたタイミングを示しています。マークの間のギャップは、端末が充電されなかった期間を示しています。この機能では、消費電力が発生しません。最も消費電力の高いアプリやハードウェアを確認するには、**電池消費量** をタップします。
- **全体的な消費電力の確認と最適化**: **最適化** をタップすると、消費電力の問題がチェックされ、パフォーマンスが自動的に最適化されます。

- **省電力モードまたはウルトラ省電力モードの有効化**: 省電力モード または ウルトラ省電力モード を有効にします。待受時間を延長する際は、ご利用の端末の電池残量に応じて適切な省電力モードを選択してください。
- **画面解像度の調整による省電力化**: 画面の解像度 をタップして、スマート解像度 を有効にします。ご利用の端末では、自動的に画面の解像度を下げて消費電力が節約されます。また、高い解像度が不要ない場合には、画面の解像度を手動で設定して消費電力を節約できます。
- **ステータスバーに電池残量(%)を表示**: 電池残量表示位置 を有効にすると、ステータスバーに電池残量(%)が表示されます。
- **アプリの起動管理による省電力化**: 起動 をタップすることで、アプリの自動起動、連動、バックグラウンドでの動作を手動または自動で管理できます。システムによって、自動的に消費電力が管理され、消費電力が節約されます。
 ⓘ バックグラウンドで消費電力が高いアプリが実行されている場合に通知されます。画面の指示に従ってアプリの設定を最適化してください。

ウイルススキャン

ウイルススキャンによる端末の保護

不正な広告を開くと、トロイの木馬ウイルスやマルウェアが知らないうちに端末にインストールされて実行され、連絡先情報やその他の個人データが盗まれる可能性があります。ウイルススキャンを実行すると、想定される脅威を特定して取り除き、ご利用の端末を保護することができます。

■ **端末管理** を開いて **ウイルススキャン** をタップすると、ご利用の端末が自動的にスキャンされ、セキュリティの脅威が取り除かれます。同時に、 をタップすると、以下のオプションを実行できます。

- **クラウドウイルススキャン**: クラウドスキャン を有効にすると、ご利用の端末でクラウドベースの動的なスキャンが標準スキャンに追加され、端末が新しい脅威から保護されます。
- **ウイルススキャンの通知**: スキャン通知 を有効にすると、30日を超えてウイルス対策スキャンを実行していない場合に、通知を受け取ります。
- **クイックスキャン**: クイックスキャン を選択します。定期保守時に、端末上の重要な位置情報やアプリケーションがすばやくスキャンされます。
- **フルスキャン**: フルスキャン を選択します。ご利用の端末では、定期的に端末全体のスキャンが実行され、悪意のあるファイルが存在するかどうかチェックされます。この処理は時間がかかりますが、より広範なスキャンが実行されるため、端末を脅威から確実に保護できます。
- **ウィルスライブラリの更新**: 自動更新 と Wi-Fi上でのみ更新 を有効にします。自動的にウィルスデータベースがWi-Fi経由で更新され、脅威の除去機能が最新に保たれます。

メッセージとEメール

CosmoSia

はじめに

CosmoSiaは複数のアカウントに対応したメールアプリケーションです。

UQ mobileは、EメールアプリならびにSMSアプリとして、CosmoSiaの利用を推奨しています。

- ① UQのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQお客さまセンターまたはUQホームページをご確認ください。

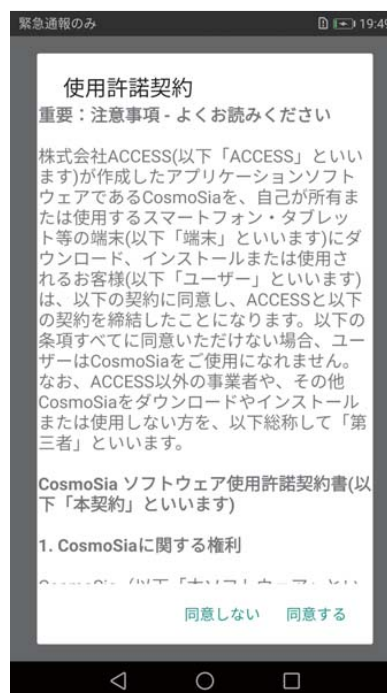
起動

ホーム画面をスワイプし、「CosmoSia」をタップする。

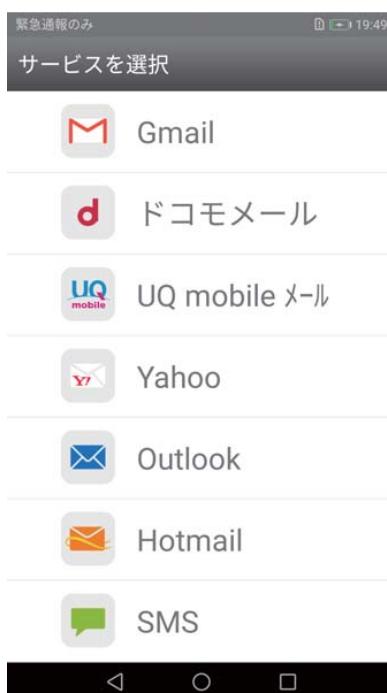
初期設定

- ① ● Wi-Fi通信をOFFにし、モバイル通信をご利用ください。
- 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

1 「同意する」をタップします。



2 UQのEメールサービスにお申し込み済みの方は、「UQ mobile メール」を、お申し込みされていない方は「SMS」をタップします。



3 「許可」をタップします。



4 「許可」をタップします。



5 通信が完了すると、お客様情報が表示されます。ここからメールアドレスを変更できます。



6 「変更」をタップします。CosmoSiaをSMSのデフォルトアプリに設定します。



- 7 これでMMSがご利用可能になりました。また、SMSのアカウントも自動で生成されました。メールアドレスを変更した際には、右上の  から「メール設定画面」をタップし、メールアドレスが正しいかご確認ください。これで、CosmoSiaの準備ができました。Eメールおよびメッセージは、CosmoSiaから実施してください。

 メール設定画面を選択する際には、Wi-Fi通信をOFFにし、モバイル通信をご利用ください。



メッセージがありません。



メッセージアプリ

メッセージアプリ

メッセージアプリを使用すると、簡単にメッセージを確認・管理できます。

 **メッセージ** を開きます。メッセージリストで、連絡先または電話番号をタップすると、交換したメッセージが表示されます。未読のメッセージを開くと、システムによって電話番号、Webサイトのアドレス、Eメールアドレス、時刻、その他の情報が自動的に識別され、メッセージ内でハイライト表示されます。該当する情報をタップして、操作を開始します。

メッセージへの返信: テキストボックスにメッセージの内容を入力してから、 をタップします。

メッセージをお気に入りに追加する: 重要なメッセージを誤って削除してしまうのが心配な場合、メッセージを長押しし、画面の指示に従ってメッセージをお気に入りに追加するか、ロックすることができます。

メッセージの転送: メッセージを友人と共有したい場合、メッセージを長押しし、画面の指示に従ってメッセージを転送または共有できます。

メッセージの削除: あまりにも多くのメッセージで雑然としたリストにうんざりしていませんか？ 不要になったスレッドやメッセージを削除することで、メッセージリストをすっきりと整理できます。それには、削除するメッセージまたはスレッドを左にスワイプして  をタップします。通知メッセージを削除するには、メッセージまたはスレッドを長押しして編集画面を表示し、削除するメッセージまたはスレッドを選択してから、 > **削除** に移動します。削除したメッセージを復元することはできません。

メッセージの検索: メッセージを素早く見つけるには、メッセージリストの検索バーにキーワードを入力すると、該当するメッセージが検索バーの下に表示されます。

先頭に固定する: 重要なメッセージをリストの先頭に固定するには、メッセージリストで該当するメッセージを長押しして選択してから、 をタップします。固定したメッセージは、通知メッセージの下に表示されます。未読のメッセージを先頭に固定するには、 > **設定** > **未読メッセージをピン留め** に移動します。

スパムメッセージのブロック

メッセージブロックを有効にすることで、スパムメッセージに煩わされることがなくなります。

 **メッセージ** を開きます。メッセージリストで  > **ブロック** に移動し、 をタップして、ブロックルール、ホワイトリスト、ブラックリストを設定します。

メッセージの送信

SMSは、友達、家族、同僚と素早く簡単に連絡をとる手段です。文字だけでなく、絵文字を追加したり、写真や音声ファイルを挿入したりして、表現豊かなメッセージにすることもできます。

 **メッセージ** を開きます。メッセージのリストから  >  に移動し、連絡先またはグループを選択します。メッセージの内容を入力し、 をタップしてメッセージを送信します。

メッセージの下書きの保存: メッセージを下書きとして保存するには、 をタップします。

メールアプリ

メールアカウントの管理

1つまたは複数のメールアカウントを追加できます。

 **メール** を開きます。以下の操作を行うことができます。

メールの確認: 受信トレイ 画面で  をタップしてメールアカウントを選択すると、メールの一覧が表示されます。下にスワイプすると、メール一覧の表示が更新されます。各メールを開いて確認、返信、転送、削除などの操作が可能です。画面を左右にスワイプすると、前のメールまたは以下のメールが表示されます。複数のメールを削除するには、プロフィール画像をタップするか、1つのメールを長押しして、メールの管理画面に移動し、該当するメールを選択し、 をタップします。

メールの同期: 受信トレイ 画面を下にスワイプすると、メール一覧の表示が更新されます。  > **設定** に移動し、アカウントをタップして、**メールを同期する** を有効にします。自動的に同期するには、**同期スケジュール** をタップし、同期時間を選択して設定を完了します。

メールの検索: メール一覧画面の検索バーをタップして、メールの件名や内容などのキーワードを入力します。

複数のメールアカウントの追加:  > **設定** >  に移動し、メールサービスプロバイダを選択して、ユーザー情報を入力します。

メールアカウントの切り替え: アカウント画面で  をタップし、アカウントのプロフィール画像をタップして切り替えます。

メールアカウントの設定: アカウント画面で  > **設定** に移動し、アカウントを選択して **アカウント名**、**優先アカウントにする**、または **アカウントを削除** を設定します。

メールアカウントの追加

端末に自分のメールアカウントを追加すると、いつでもメールを送受信でき便利です。メール設定時に特定の設定項目についてご不明な点がある場合は、メールアカウントの提供元にお問い合わせください。

個人用メールアカウントの追加:  を開き、メールサービスプロバイダを選択するか **その他** をタップして、メールアドレスとパスワードを入力した後、**サインイン** をタップして画面の指示に従ってアカウントを設定します。サーバーに自動的に接続され、サーバー設定の確認が行われます。

Exchangeアカウントの追加: Exchangeは、Microsoftが開発した企業向けの社内メールシステムです。会社のメールがExchangeサーバーを使用している場合、端末から自分の業務用メールアカウントにログインできます。  > **Exchange** に移動し、メールアドレス、ユーザー名、パスワードを入力して **サインイン** をタップした後、画面の指示に従ってアカウントを設定します。サーバーに自動的に接続され、サーバー設定の確認が行われます。

設定が完了すると、デフォルトでは **受信トレイ** 画面が自動的に開きます。

Exchange メール の自動返信の設定

自動返信を有効にすると、メールに自動的に返信できます。

 **メール** を開いて  > **設定** に移動し、Exchangeアカウントを選択します。**自動返信** をタップして**自動返信** を有効にし、自動返信の時間とコンテンツを設定して、**完了** をタップします。

VIP メール連絡先の管理

たくさんのメールの中に埋もれている重要な連絡先からのメールを見逃さないようにする方法があります。重要な連絡先をVIPリストに追加することができます。VIP連絡先からのメールは、自動的に端末のVIPメールボックスに入ります。

 **メール** を開き、 > **設定** > **VIP連絡先** に移動します。**VIPリスト** 画面から、**追加** > **作成** または**連絡先から追加** に移動します。

VIP連絡先の追加または削除: **VIPリスト** 画面で  または  をタップして、VIP連絡先を管理します。

VIP連絡先のメール通知の変更: メールホーム画面から、 > **設定** > **VIP通知** に移動します。

カレンダー

世界の休日の表示

渡航先の国の休日情報を前もってダウンロードしておく、仕事などのスケジュールを立てやすくなります。

31 カレンダーを開いて  > 設定 > 世界の休日 に移動し、渡航先の国に対応するスイッチをオンにします。その国の休日情報が自動的に端末にダウンロードされます。

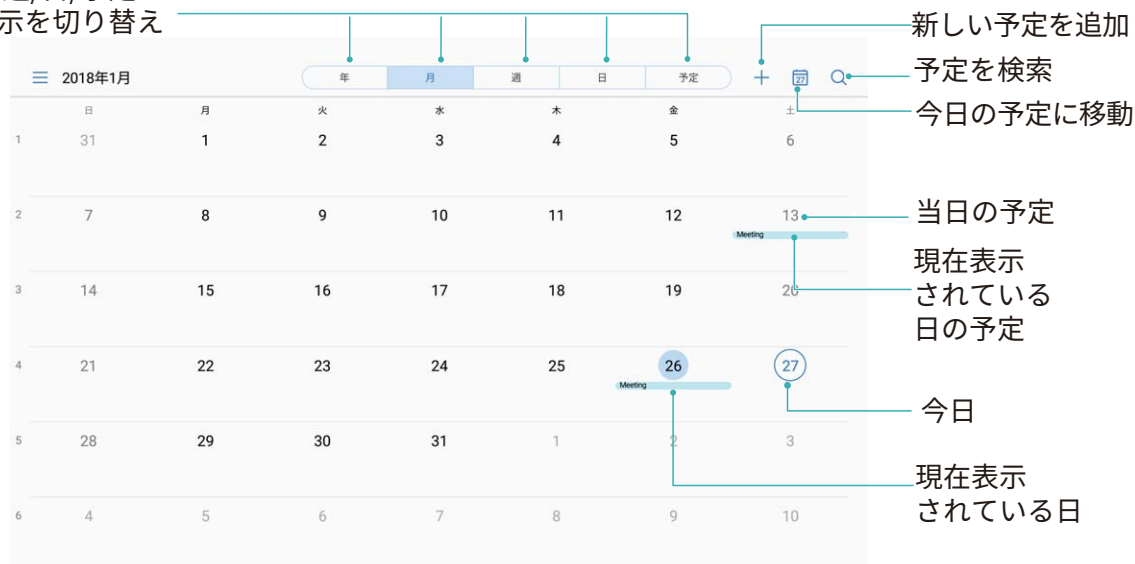
To-Do をインポートしてタスクを整理する

会議の通知のインポート: **31** カレンダーを開いて  > アカウントの追加 に移動し、画面の指示に従って仕事用のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加し、会議の通知を確認します。

予定の共有: カレンダーの予定やスケジュールの予定をタップしてから、 をタップして画面の指示に従い、複数の方法のいずれかを使用して予定を共有します。

カレンダーの操作

月/週/日/予定の
表示を切り替え



新しい予定を追加

予定を検索

今日の予定に移動

当日の予定

現在表示されている日の予定

今日

現在表示されている日

	年	月	週	日	予定			
1	2018年1月	日	月	火	水	木	金	土
2	31	1	2	3	4	5	6	
3	7	8	9	10	11	12	13	Meeting
4	14	15	16	17	18	19	20	
5	21	22	23	24	25	26	27	Meeting
6	28	29	30	31	1	2	3	
7	4	5	6	7	8	9	10	

予定の作成:  カレンダーを開き、 をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。詳細 > 通知 に移動し、予定の通知を追加してから、 をタップします。

予定を検索: カレンダー ページで  をタップして、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

カレンダーの設定: カレンダー ページで  > 設定 に移動してカレンダーの表示と通知をカスタマイズします。

時計

時計の使用

時計には多数の便利な機能や情報があります。時計はアラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーとして使用できます。



世界各地の時間の表示: 🕒 時計 に移動して **世界の時刻** タブにある **+** をタップし、都市の名前を入力するか、都市一覧から都市を選択します。⚙️ をタップして日時を設定します。

2つの地域の時間の表示: 🕒 時計 に移動してから **世界の時刻** タブの ⚙️ > **日付と時刻** に移動します。**デュアルクロック** を有効にし、**ホーム都市** をタップして都市一覧から住んでいる都市を選択します。



- i** 現在いる地域の時間がホーム都市と同じ場合、ロック画面には時間が1つだけ表示されます。

メモ帳

メモを管理してレコードを整理する

メモを管理して、レコードを整理します。

メモの共有: メモ帳 の一覧ページで、共有したいメモを開いてから、 をタップし、共有方法を選択して画面の指示に従います。

メモのお気に入りへの追加: メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプして  をタップします。または、お気に入りに追加したいメモを開いて、 をタップします。

メモの削除: メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプしてから  をタップします。または、メモをタップし、長押ししてオプションを表示し、削除したいメモを選択して、 をタップします。

メモの検索: メモ帳 の一覧ページにある検索バーをタップして、検索キーワードを入力します。または、ホーム画面で下にスワイプして検索バーにアクセスし、検索キーワードを入力します。

To-Doリストの生成: メモ帳 の編集ページで  をタップして、項目を入力してから、 をタップします。複数の項目を追加してTo-Doリストを生成します。

 項目をすべて入力した後、メモ帳 の編集ページに移動して、完了した項目の左側で  を選択します。

メモへのタグの追加: メモ帳 の編集ページで  をタップし、さまざまな色の付いたタグを使用して、メモをよりわかりやすく表示できるように内容を分類します。

マルチユーザー

マルチユーザー: 端末別のユーザーアカウントを作成

端末を別のユーザーに貸すときに、自分のプライベートファイルや情報にはアクセスされたくないものです。複数のユーザーを追加すると、ご利用の端末を他のユーザーに貸した場合でも情報のプライバシーを保護できます。自分の設定やファイルに影響はありません。端末へのログインに、仕事用とプライベート用など2つのユーザーアカウントを使用して、ワンタップで簡単に切り替えることもできます。

次の3つのユーザータイプを作成できます。

- **所有者**: 端末の所有者。自分の端末を使用する場合、所有者としてログインします。所有者は、ユーザーやゲストの追加や削除、ユーザーに対する通話権限やSMS送信権限の付与など、すべての処理を実行できます。
- **ユーザー**: 家族や友人はユーザーとして追加します。ユーザーはほとんどの処理を実行できますが、端末の初期化や通知の鳴動制限モードの有効化など、所有者に影響を与える処理は実行できません。
- **ゲスト**: 知り合いはゲストとして追加します。ゲストは限定的な処理しか実行できません。

複数のユーザーを端末に追加

仕事用とプライベート用に使い分けるために、端末に複数のユーザーアカウントがあると便利です。ご利用の端末に複数のユーザーを追加して、ワンタップで切り替えることができます。

 **設定** を開いて **ユーザーとアカウント > ユーザー** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **ユーザーの追加**: **ユーザーを追加** をタップしてユーザーの名前を入力し、**追加** をタップします。追加後、新しいユーザーに切り替えて、画面の指示に従いアカウント設定を行います。
 -  最大3人のユーザーを追加できます。
- **ユーザーの削除**: 所有者アカウントでログインし、**ユーザー** 画面を開きます。削除したいユーザーを選択し、**ユーザーを削除 > 削除** をタップして削除します。
 -  または、ステータスバーを下にスワイプし、 > **詳細設定** をタップします。削除したいユーザーを選択して **ユーザーを削除 > 削除** をタップします。
- **ゲストの追加または削除**: **ユーザー** 画面から **ゲストを追加 > 追加** をタップして新しいゲストユーザーを追加します。ゲストユーザーを削除するには、同じ画面から **ゲスト > ゲストを削除 > 削除** に移動します。
- **別のユーザーへの切り替え**: **ユーザー** 画面で切り替え先となるユーザーのプロフィール画像をタップしてから、**ユーザーの切替** をタップします。または、ステータスバーを下にスワイプし、 をタップしてから切り替え先となるユーザーのプロフィール画像をタップします。所有者がロック画面のパスワードを設定している場合、別のユーザーから所有者に切り替える際にパスワードの入力を求められます。

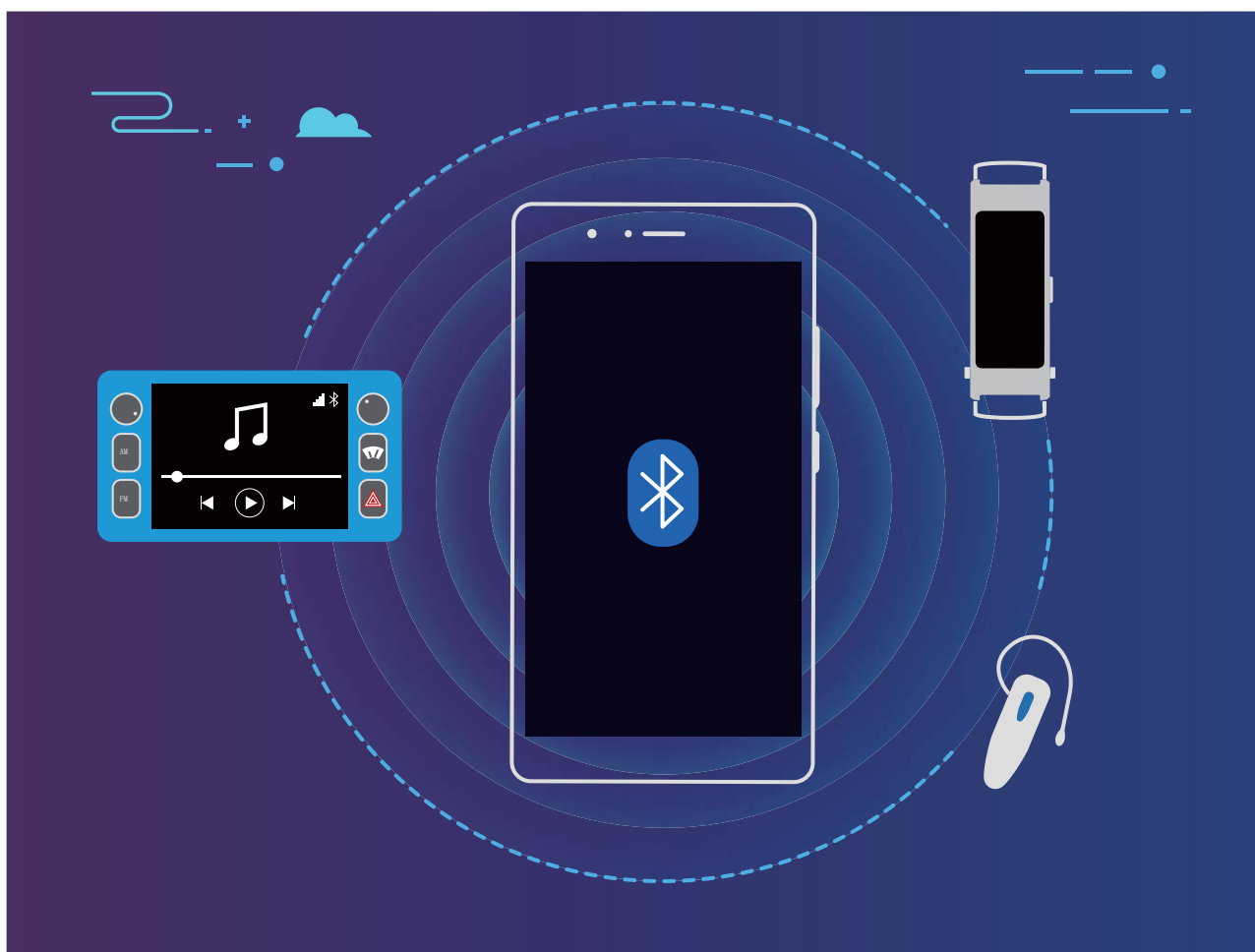
- **ユーザーアカウント名またはプロフィール画像の変更:** ユーザー 画面で該当するユーザーに切り替えて  をタップします。画面の指示に従ってユーザー名またはプロフィール画像を変更します。
- **通話と通話履歴共有の許可:** 所有者アカウントでログインします。ユーザー 画面からユーザーを選択してから **通話、メッセージ、通信履歴の共有を許可** を選択します。

デバイス接続

Bluetooth

端末を Bluetooth 機器に接続する

Bluetoothを使用することで、端末をBluetoothヘッドセットや車内Bluetooth機器に接続して、運転中にナビを利用したり、音楽を聴いたりできます。また、端末をBluetoothウェアラブル端末に接続して、活動量データを記録/管理することもできます。Bluetooth機器を端末に接続しても、消費電力が大幅に増加することはありません。



Huaweiの端末が使用するBluetoothプロトコルとその機能:

HFP、HSP	発信
A2DP	音楽の再生
AVRCP	音楽再生のコントロール
OPP	ファイル転送
PBAP	連絡先の同期
MAP	テキストメッセージ(SMS)の同期

HID	Bluetoothキーボードとマウスの操作
PAN	テザリング
BLE	BLE (Bluetooth Low Energy) 機器への接続

Bluetoothを有効または無効にする: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効または無効にします。 を長押しすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

Bluetooth機器のペアリング: Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。Bluetooth機器が他の端末から検出可能な設定になっていることを確認します。**使用可能なデバイス** で、ペアリングする機器をタップし、画面の指示に従ってペアリングを完了します。

Bluetooth機器のペアリング解除: Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。ペアリングされている機器の名前の横にある  をタップし、**ペアリング解除** をタップします。

Bluetooth機器の名前の変更: Bluetooth設定画面で **Bluetooth** を有効にします。**端末名** をタップして機器の新しい名前を入力し、**保存** をタップします。

Bluetoothヘルプの表示: Bluetooth設定画面で  をタップすると、車載システム、ヘッドフォン、スピーカー、ウェアラブル端末、端末、タブレット、コンピュータとのBluetooth接続の方法が表示されます。

Bluetooth によるデータの共有

Bluetooth経由で端末を別の端末に接続することで、データの共有、連絡先のインポートとエクスポート、インターネットテザリングの設定が可能になります。

Bluetoothによるファイルの送信: 端末が別の端末のBluetooth有効範囲内(10m)にあることを確認します。Bluetooth接続を確立して、2台の端末間でマルチメディアファイル、Webページ、連絡先、ドキュメント、アプリを共有できます。 **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** >

Bluetooth に移動します。画面の指示に従ってBluetoothを有効にします。該当する端末が検出されたら (Bluetoothが有効で、その端末が他の端末から検出可能である必要があります)、端末の名前をタップすると接続が確立され、ファイルの送信が開始します。

Bluetooth経由でのファイルの受信: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効にします。ファイル転送通知で **受信** をタップすると、ファイルの受信が開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **bluetooth** フォルダに保存されます。

Bluetooth経由での連絡先のインポート/エクスポート:  **連絡先** を開き、 > **インポート/エクスポート** に移動して以下の操作を実行します。

- **連絡先のインポート:** 別の端末から**インポート**をタップして、**Bluetooth対応**を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。該当する端末の連絡先がこの端末に自動的にインポートされます。
- **連絡先のエクスポート:** **連絡先の共有**をタップし、共有する連絡先を選択して  をタップし、**Bluetooth**を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。選択した連絡先が、この端末から該当する端末に自動的にエクスポートされます。

マルチスクリーン表示

マルチスクリーン: 端末のコンテンツを大画面で共有

端末とテレビ/ストリーミングボックスを同じWi-Fiネットワークに接続することで、マルチスクリーン共有を使用できます。写真をテレビに映し出して、友人や家族と楽しい思い出を共有できます。



プロトコルタイプ	接続手順	接続方法	画像共有方法
Miracast プロトコル	端末の画面に表示されている内容を、Miracast対応の別の機器(テレビ、プロジェクターなどの表示機器)にミラーリングします。	Wi-Fi経由で直接接続し、外部機器で画面共有機能(Miracastなど)をオンにします。	端末に表示される内容はすべて、外部機器の画面に共有されます。曲やビデオを再生すると、端末では画像だけが表示され、音声は再生されません。

マルチスクリーン: 画面をミラーリング

ディスプレイ機器の選択: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。  をタップしてマルチスクリーンを開きます。ディスプレイ機器が検出されたら、アイコン()で示されてい

る対応する接続方式のいずれかを選択します。ディスプレイ機器がこれらの接続方式に対応していない場合は、Androidセットトップボックスを購入して、ディスプレイ機器に接続できます。

 : Miracastに対応しています。ディスプレイ機器に画面をミラーリングできます。

ディスプレイ機器に画面をミラーリングする: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップしてマルチスクリーンを開きます。使用するディスプレイ機器をリストから選択します。必要に応じて、ディスプレイ機器でMiracast機能を有効にします。手順については、ディスプレイ機器のマニュアルを参照してください。

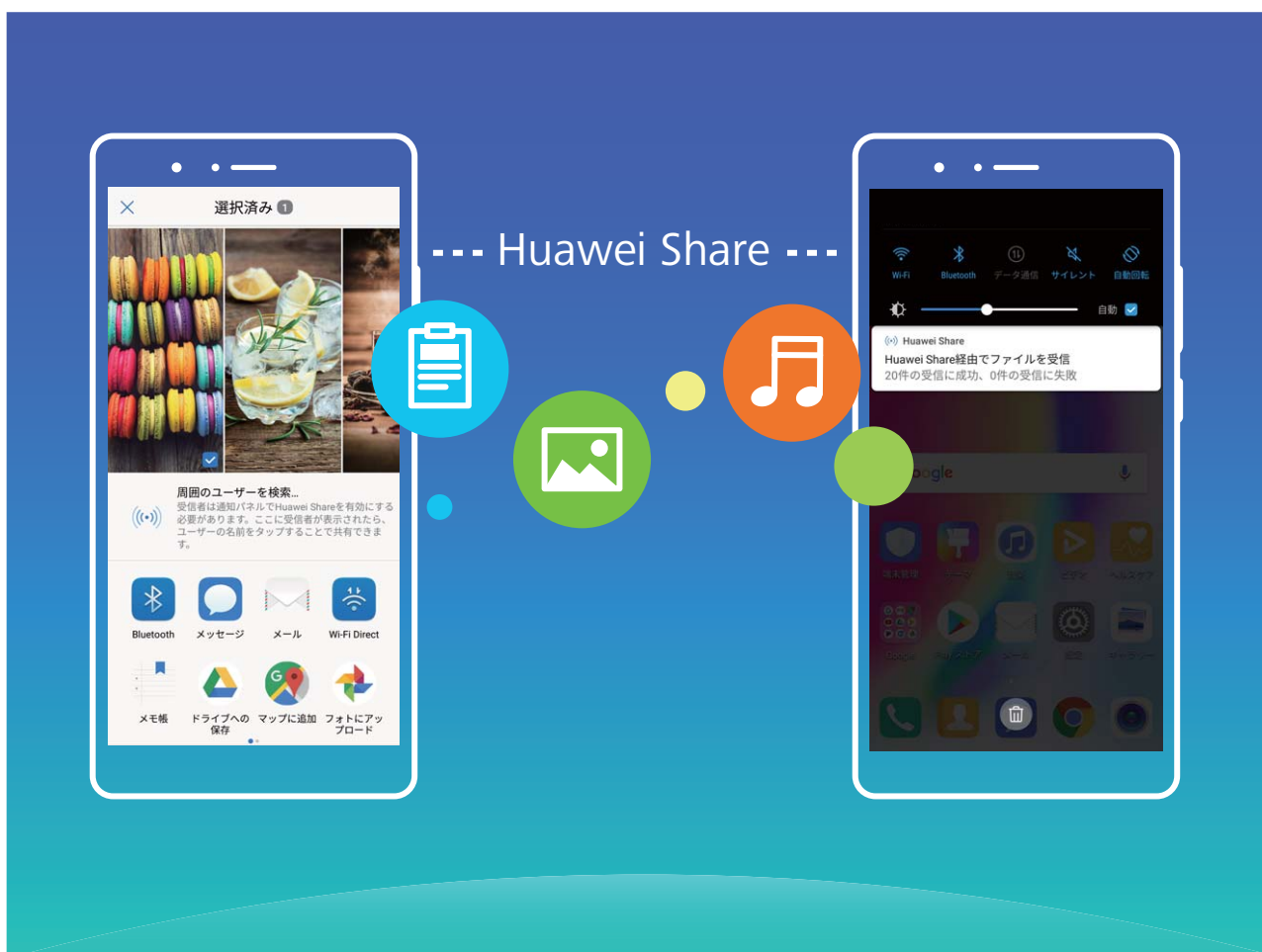
画面のミラーリングを終了するには、 > **切断** をタップします。

Huawei Share

Huawei Share でのファイル転送

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真、ビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

-  Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが自動的に有効になります。



Huawei Shareを使用したファイルの送信: 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択して、共有 をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、 をタップして、Huawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、承諾をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

セキュリティとプライバシー

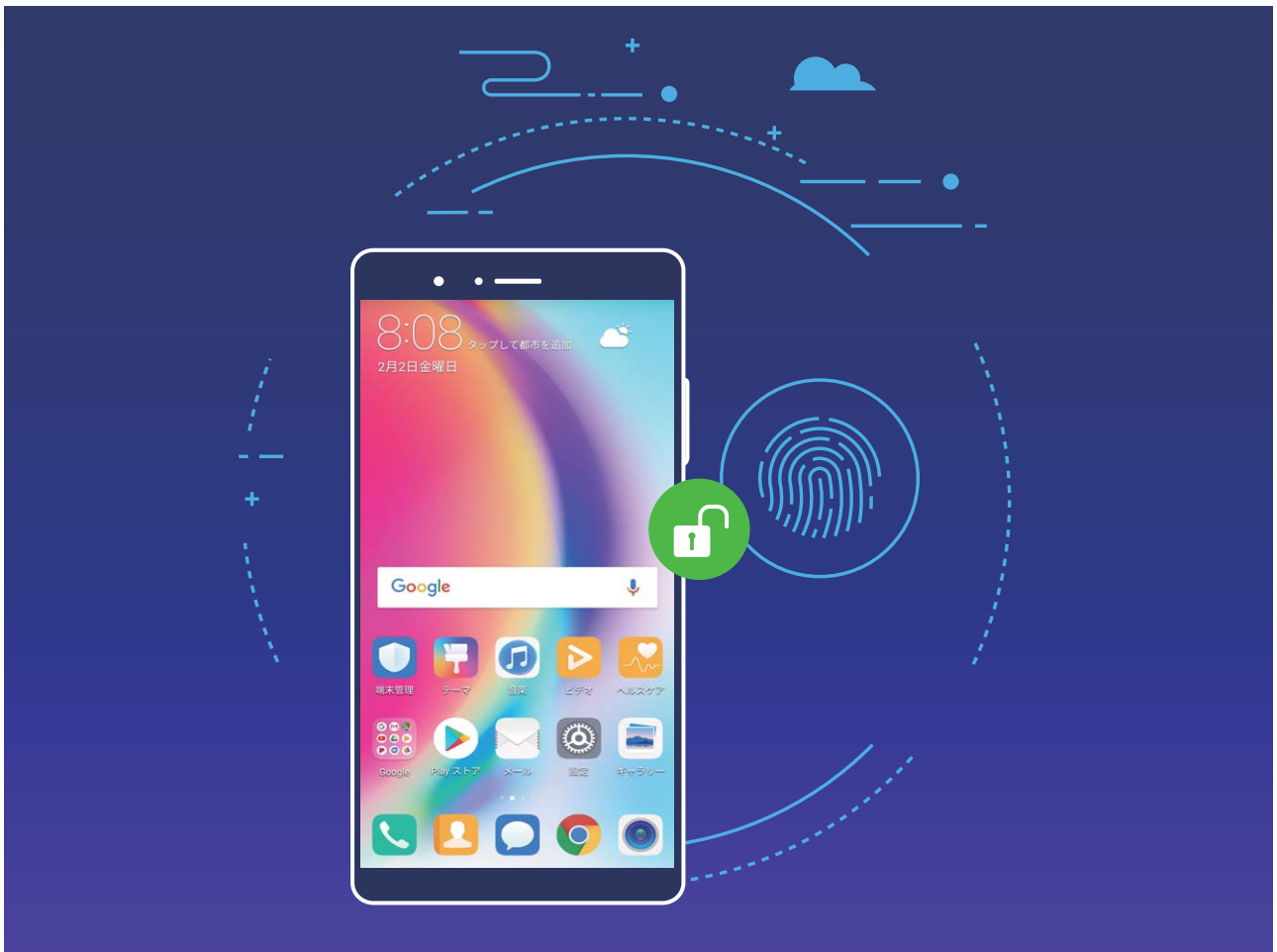
指紋

指紋認証: 素早い操作とセキュリティの向上

指紋認証を使用すると、ご利用の端末のロックを素早く解除できるだけでなく、個人情報のセキュリティも向上します。

指紋は次の用途に使用できます。

- **ワンタップでの画面ロック解除**: PINコードやパターンでの画面ロック解除は面倒なものです。指紋を使用すれば、ワンタッチで画面のロックを素早くセキュアに解除できます。
- **プライベートファイルへのアクセス**: Safeボックスやロックしたアプリのパスワードを忘れたり、知らない人に知られたりすると大変です。Safeボックスやロックしたアプリに指紋でのアクセスを設定すると、ファイルやアプリの安全性を確保し、自分だけがアクセスできるようになります。



指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやロックしたアプリにアクセスしたりすることができます。

- 指紋によるロック解除は、ご利用の端末のロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されていない場合、ロック画面のパスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れておらず、濡れていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動して **パターン**、**PIN**、または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従い、ロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先の他の部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

指紋の登録、削除、名前の変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 ロック画面のパスワードを入力して **次へ** をタップします。
- 4 **指紋リスト** セクションでは、以下の操作を行えます。
 - **新しい指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
 - すでに登録されている指紋をタップして、名前を変更または削除します。
 - **指紋認識** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単かつセキュアになります。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 ロック画面のパスワードを入力して **次へ** をタップします。**Safeボックスへのアクセス、アプリのロック設定とアクセス制御** を有効にしてから画面の指示に従い、パスワードを入力します。これで以下の操作を行うことができます。
 - **指紋によるSafeボックスへのアクセス**:  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
 - **アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス**: 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。

位置情報の保護

位置情報サービス: 端末の位置情報の決定

位置情報サービスは、端末の位置情報を利用したアプリ(天気、地図、旅行、ショッピングアプリなど)に関する情報を収集・提供します。端末のおおよその位置は、GPS測位(GPSが有効になっていて、サービスが使用可能な場合)、モバイルネットワークによる測位、Wi-Fi測位(可能な場合)によって決定されます。GPS測位が無効になっている場合、アプリは他の方法で位置情報を収集します。

位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

位置情報サービスの有効化/無効化:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとすると、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

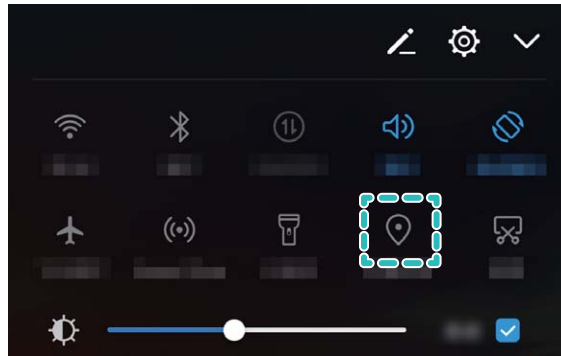
- **Wi-Fiとモバイルネットワークを利用:** 通信事業者の基地局または近くのWi-Fiルーターからの位置情報を使用して、端末の位置を計算します。位置情報の精度は、基地局またはWi-Fiネットワークから収集した位置情報に大きく依存します。通常の精度は、100mの誤差から数Kmの誤差にまで及びます。ネットワーク測位は精度が低いものの、屋内測位も可能であり、消費電力も少なくなります。
- **GPSのみ利用:** 端末が検出した衛星のGPS測位情報だけを使用して端末の位置を特定します。ネットワーク接続は必要ありません。衛星のGPS測位は精度が高いものの、消費電力が高くなります。精度は数十m以内の誤差です。ただし、屋内測位は精度が低かったり、現在地の特定が難しい場合があります。
- **GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークを利用:** GPS測位とネットワーク測位の双方の利点を組み合わせ、正確な屋内および屋外の測位を行います。
-  **機能は通信事業者によって異なる場合があります。**
 - Huaweiは、個人情報を特定して収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

屋内測位の支援機能の設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** >

> スキャン設定 に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

シングルタップによる位置情報の無効化

位置情報サービスを完全に無効にしてプライバシーを保護したいと思いませんか？ステータスバーを下にスワイプするとショートカットパネルが開くので、📍 をタップします。これを実行すると、GPS測位、モバイルネットワークによる測位、Wi-Fi測位が同時に無効になり、端末の位置情報が取得されなくなります。



アプリロック

アプリロックを使用して重要なアプリをロック

アプリロック機能では、WeChat、Alipay、その他の重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを最初に開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をより強固に保護し、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化: ⓘ 設定 を開きます。セキュリティとプライバシー > アプリのロック に移動し、画面上の説明に従ってパスワードを設定し、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開く場合、画面上の説明に従ってパスワードと秘密の質問への回答を入力します。

- ❗ 端末のロック解除用の指紋を設定し、初めてアプリロックパスワードを設定する場合、画面上の説明に従って指紋を関連付けることでより簡単にアプリのロックを解除できます。

アプリロックパスワードの変更: アプリロック画面で ⚙️ をタップし、パスワードを変更 または パスワード保護を変更 をタップすることでアプリロックパスワードを変更できます。

セキュアキー

顔認証: より簡単かつ素早い画面ロック解除方法

顔認証では、端末内蔵の顔認識機能を使用して、パスワードや指紋を使用する代わりに顔データを使用して画面のロックを解除できます。これにより、より素早く簡単にロックを解除できます。

画面点灯時にそのままロック解除: 画面が起動したら、顔を画面に向けることでロックを解除できます。

端末持ち上げによるロック解除: 設定 > セキュリティとプライバシー > 顔認証、ダイレクトロック解除 に移動し、**ダイレクトロック解除** を有効にし、端末持ち上げによる端末起動機能を有効にすると、画面を見つめながら端末を持ち上げることでロックを解除できます。

画面のスワイプによるロック解除: スライドしてロックを解除 を有効にすると、画面を起動した状態で画面を見つめ、画面をスワイプすることで端末のロックを解除できます。

スマートロック画面の通知表示: スライドしてロックを解除 および **スマートロック画面の通知** を有効にすると、端末側で顔の特徴が認識されるまで通知の内容はロック画面に表示されなくなります。

-  ● 所有者以外は顔認証を有効にできません。ユーザーまたはゲストでは、この機能は利用できません。また、この機能はPrivateSpace内では利用できません。
- ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ、顔認証が利用可能です。
- ロック画面のパスワードを忘れないように、3日連続でパスワードによるロック解除が行われていない場合に、ロック解除時にパスワードの入力が求められます。この場合、顔認証は使用できません。
- 端末再起動後の最初のロック解除時には、ロック画面のパスワードの入力が必要になります。この場合、顔認証は使用できません。
- 顔認証に5回連続して失敗した場合、端末が30秒間ロックされます。この場合、30秒後に再試行するか、ロック画面のパスワードを入力してください。

顔データの登録と顔認証の有効化

端末に顔データを登録する場合、パスワードを入力する代わりに顔認証で画面のロックを解除できます。

-  ● 所有者以外は顔認証を有効にできません。この機能は、サブユーザーやゲストには利用できません。
- ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ、顔認証は利用可能です。
- 端末再起動時、遠隔でロックされている場合、または3日連続でパスワードによるロック解除が行われていない場合は顔認証を利用できません。
- 顔認証に5回連続して失敗した場合、端末が30秒間ロックされます。この場合、30秒後に再試行するか、ロック画面のパスワードを入力してください。
- 顔認証を使用して端末のロックを解除する場合、目を開いた状態で端末の方を向き、20 cm～50 cmの距離で撮影してください。顔認証による端末のロック解除は、暗い場所や直射日光を避けて行ってください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。ロック画面が設定されていない場合、**パターン**、**PIN**、または **パスワード** を選択するか、画面上の説明に従ってロック画面のパスワードを設定してください。
- 3 **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択した場合、端末を持ち上げることで画面が自動的に点灯し、ユーザーの顔の特徴を認識してロックを解除できます。こ

の機能が不要な場合、このオプションは選択しないでください。後で、**続行** をタップして画面の指示に従って顔データを登録できます。

4 以下の顔認証方法を設定できます。

- **ダイレクトロック解除**: 画面が点灯して顔データが認識されると、端末のロックが解除されます。
- **画面のスワイプによるロック解除**: 画面が点灯して顔の特徴が認識されると、画面をスワイプすることで端末のロックを解除できます。
- **スマートロック画面の通知表示**: **スマートロック画面の通知** を有効にすると、端末側で顔の特徴が認識されるまで通知の内容はロック画面に表示されません。

顔データの削除

顔認証を使用していない場合や顔データを再登録したい場合、現在の顔データを削除できます。

 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動し、画面上の説明に従って、ロック画面のパスワードを入力します。次に、**顔データを削除** をタップし、画面上の説明に従って、現在の顔データを削除します。

端末持ち上げによるロック

 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動します。顔データを登録する場合、スムーズな顔認証のために、**端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択し、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。設定が完了したら、端末を持ち上げるだけで画面のロックを解除できるため、パスワードや指紋認証が不要になります。

顔データ登録時に **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** が選択されていない場合、後でこの機能を設定できます。 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動して、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。次に、 **設定** を開いて、**スマートアシスト** > **モーションコントロール** > **持ち上げる** に移動し、**端末起動** を選択します。

その他のセキュリティ設定

高度なデータ保護: プライバシーの保護

端末を紛失したり、端末の盗難に遭った場合、写真、銀行の口座情報、他のプライベートデータが流出する可能性があります。Huaweiの端末は、セキュリティチップに加えて、信頼できるルートキーやロック画面のパスワードの組合せによる保護機能を備えています。データがmicroSDカードに格納されているか、内部ストレージに格納されているかに関係なく、高いレベルの保護が提供されます。

より強力な暗号化および予防手段: Huaweiの端末では、データが端末から切り離されたときに、データの復号化に使用できないハードウェアキーを使用しています。信頼できるルートキーに基づいて、暗号化されたコンポーネントがメモリ制御チップに組み込まれ、ハードウェアのデータ保護機能を強化しています。これは、プライベートデータを保護するためのロック画面のパスワードと連動して機能します。

PrivateSpace、マルチユーザー、暗号化されたmicroSDファイル、他の機能を使用して写真、個人情報、他の個人データを暗号化する場合、データを復号化する唯一の方法は、信頼できるルートキー、ロック

画面のパスワード、セキュリティチップを同時に解除することです。一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。



microSD カードの暗号化によるプライバシーの保護

microSDカードを他人に貸したときに写真やその他の個人データが閲覧されることが心配ですか？ご利用のmicroSDカードを他人が使用した場合に個人データにアクセスできないように、カードに格納されたファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、ご利用の端末でのみ表示および使用できます。他のユーザーはmicroSDカードのストレージ領域を使用できますが、暗号化されたファイルの内容を表示することはできません。

⚠ 暗号化や復号化の処理中にmicroSDカードを抜き取らないでください。暗号化または復号化に失敗するか、データが失われる可能性があります。

⚙ 設定 を開きます。ファイルを暗号化するには、**セキュリティとプライバシー** > **その他** に移動してから、**SDカードの暗号化** をタップし、画面の指示に従って暗号化処理を完了します。

ファイルを復号化するには、**SDカードパスワードを消去** をタップしてから画面の指示に従って復号化処理を完了します。

バックアップと復元

バックアップと復元

データのバックアップ:データの消失を防ぐ

端末上の重要な個人データが誤って削除または消失することを心配したことはありませんか？そのような場合に備え、データを定期的にバックアップしてデータの消失を防ぐことができます。

端末のデータをバックアップするには以下の4つの方法があります。

- **microSDカード**: 端末でmicroSDカードがサポートされている場合、データをmicroSDカードにいつでもバックアップできます。これは、データの消失を回避するために便利な方法となります。
- **端末の内部ストレージ**: 端末の内部ストレージには、より小さいファイルをバックアップできます。
- **USBストレージデバイス**: 端末の内部ストレージの空き容量が不足している場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。
- **コンピュータへのバックアップ**: データの消失を防ぎ、端末の内部ストレージの空き容量を確保するために、端末の重要なデータ、写真、大容量のファイルをコンピュータにバックアップできます。

USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ

端末の空き容量がない場合や、重要なデータを外部ストレージデバイスにバックアップしたい場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。端末と互換性のあるUSBストレージデバイスには、USBフラッシュドライブ、カードリーダー、microSDカードが挿入されている端末などがあります。

- ❗ 機能は通信事業者によって異なる場合があります。
- 一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。
- バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

USBストレージデバイスにデータをバックアップするには、 **バックアップ** を開き、**バックアップ** > **その他** > **USBストレージ** > **次へ** に移動し、バックアップしたいデータを選択し、**バックアップ** をタップします。写真、音声、ビデオファイル、文書にはバックアップパスワードは不要ですが、その他の種類のデータには必要です。画面上の説明に従ってバックアップパスワードとセキュリティ質問を設定します。

ファイル > **本体** のHuaweiBackupフォルダからバックアップファイルを確認できます。

コンピュータへのデータのバックアップ

端末に重要なデータ、写真、大容量ファイルが保存されている場合、重要なデータをコンピュータにバックアップし、データの消失を回避したり、端末の空き容量を確保することができます。

- ❗ バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

コンピュータにHiSuiteアプリをインストールしてから、端末からファイルをバックアップまたは復元してください。

コンピュータへのデータのバックアップ: USBケーブルを使用して端末をコンピュータに接続します。

Huawei アプリがコンピュータ上で自動的に起動します。HiSuiteアプリから、バックアップするデータを選択し、画面上の説明に従ってコンピュータにデータをバックアップします。

データを端末にインポート: USBケーブルを使用して端末をコンピュータに接続します。HiSuiteアプリを起動し、データ復元ページに移動し、コンピュータから端末にデータをコピーできます。バックアップデータがパスワードで保護されている場合、パスワードの入力を求められたら、そのパスワードを入力します。

内部ストレージへのデータのバックアップ

端末のデータを内部ストレージにバックアップすることでデータの消失を回避することができます。内部ストレージには比較的小さいファイルをバックアップすることをお勧めします。

-  機能は通信事業者によって異なる場合があります。
- バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

内部ストレージにデータをバックアップするには、 **バックアップ** を開き、**バックアップ** > **内部ストレージ** > **次へ** に移動し、バックアップしたいデータを選択し、**バックアップ** をタップします。写真、音声、ビデオファイル、文書にはバックアップパスワードは不要ですが、その他の種類のデータには必要です。画面上の説明に従ってバックアップパスワードとセキュリティ質問を設定します。

ファイル > **本体** > **内部ストレージ** の Huawei¥Backup フォルダからバックアップファイルを確認できます。

microSD カードへのデータのバックアップ

システム更新時にデータが消失することを心配していませんか？ また、古い端末から新しい端末にデータを移行したいと思うことはありませんか？ 端末でmicroSDカードがサポートされている場合、データをmicroSDカードにいつでもバックアップできます。これは、データの消失を回避するために便利な方法となります。

-  バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

microSDカードにデータをバックアップするには、 **バックアップ** を開き、**バックアップ** > **SDカード** > **次へ** に移動し、バックアップしたいデータを選択し、**バックアップ** をタップします。写真、音声、ビデオファイル、文書にはバックアップパスワードは不要ですが、その他の種類のデータには必要です。画面上の説明に従ってバックアップパスワードとセキュリティ質問を設定します。

ファイル > **本体** > **SDカード** の Huawei¥Backup フォルダからバックアップファイルを確認できます。

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fi+: スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する:** 現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータネットワークから自動的に選択して接続します。
- **Wi-Fiの自動オン／オフ:** 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークによっては、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン／オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価:** 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

Wi-Fi Direct によるデータ転送

Wi-Fi Directでは、アンドロイドでデータを迅速に転送できます。Wi-Fi DirectはBluetoothよりも高速であり、端末をペアリングする必要がありません。短い距離でサイズの大きいファイルを転送するのに適しています。



Wi-Fi Directでのファイルの送信:  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Wi-Fi Direct** に移動します。送信先の端末が検出されたら、その名前をタップします。接続が確立され、ファイル転送が始まります。

Wi-Fi Directでのファイルの受信: Wi-Fi を有効にします。Wi-Fi設定画面で  をタップし、検出を有効にします。ファイル着信通知を受信したら、**受信** をタップして転送を開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **Wi-Fi Direct** フォルダ内の **ファイル** に保存されます。

Wi-Fi+を有効にして最適なネットワークに自動接続

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** > **Wi-Fi+** に移動し、**Wi-Fi+** を有効にします。

Wi-Fi電波が弱い場所に端末がある場合、Wi-Fi+ではモバイルデータネットワークに自動的に切り替わります。モバイルデータ通信を使用してビデオなどのサイズの大きいファイルをダウンロードまたは表示すると、追加料金が発生することがあります。高額なデータ通信料金を防ぐには、適切なデータプランに加入してください。

Wi-Fi への接続

Wi-Fiネットワークに接続すると、モバイルデータ通信量を節約できます。

- ① 個人のデータや金融情報へ許可なくアクセスされることを防止するため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには常に注意してください。



Wi-Fiへの接続:  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。接続先のネットワークを選択します。ネットワーク設定によっては、パスワードを入力する必要があります。必要な場合には、画面の指示に従って認証を行ってください。

- **Wi-Fiアクセスポイントの更新:** **スキャン** をタップし、利用可能な無線ネットワークを再検索します。
- **Wi-Fiアクセスポイントを手動で追加する:** メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークの追加...** をタップし、画面の指示に従ってネットワークのSSIDとパスワードを入力します。

WPS経由でWi-Fiネットワークに接続する: Wi-Fi画面で  > **詳細なWi-Fi設定** > **WPS接続** に移動します。ルーターのWPSボタンを押し、接続を確立します。WPS経由でWPS対応ルーターに接続すると、パスワードを入力しなくても、すぐにネットワークに接続できます。

モバイルネットワーク

インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

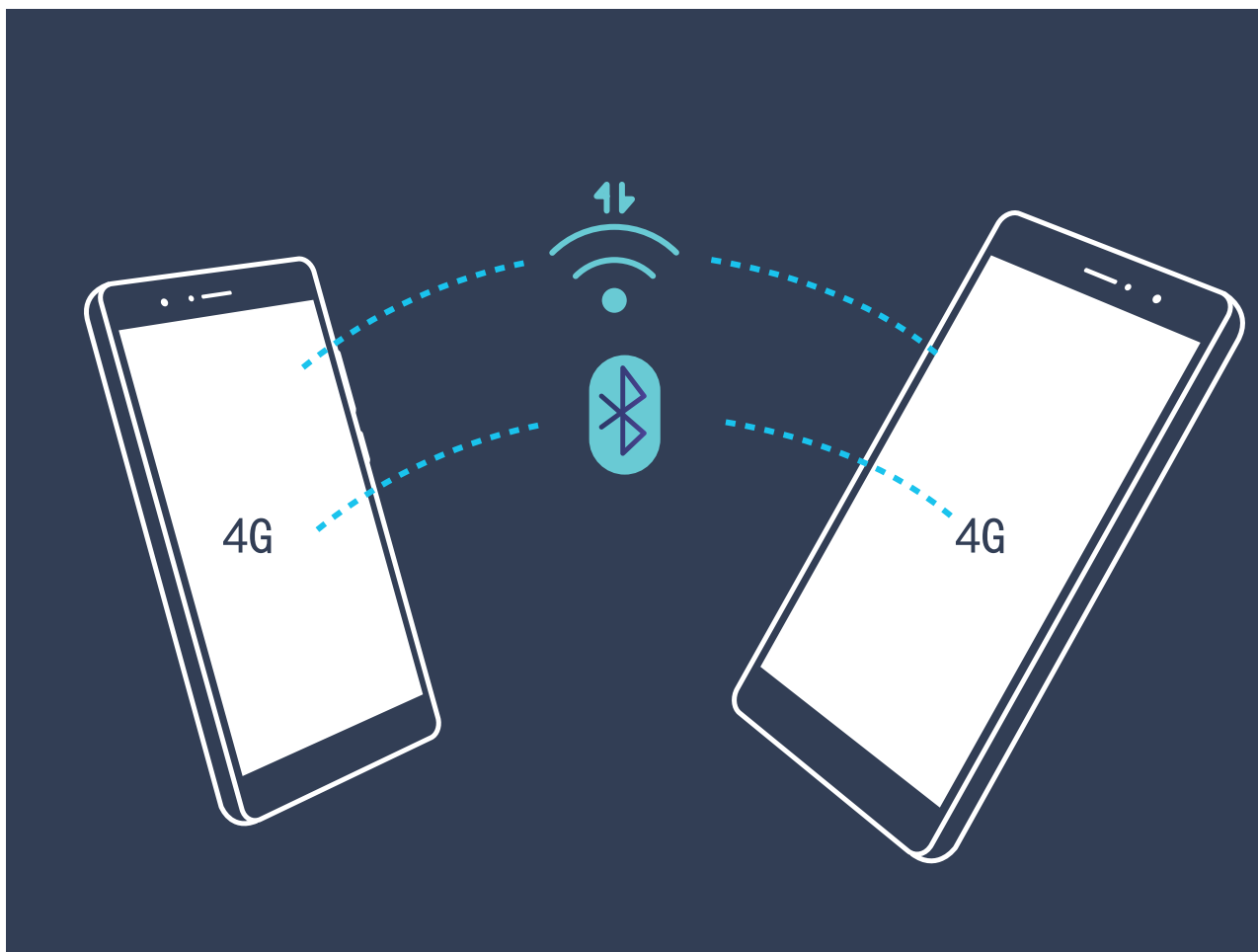
モバイルデータ通信経由での接続

-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
 -  インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。

モバイルネットワークの共有

他の端末とのモバイルネットワークの共有

モバイルデータ通信を友人と共有することができます。



Wi-Fiアクセスポイント、USBケーブル、またはBluetooth経由で他の端末とモバイルデータ通信を共有できます。

i USBテザリングに関して、同梱のUSBケーブルをお使いください。

Wi-Fiアクセスポイントを使用したモバイルデータ通信の共有:  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** > **ポータブルWi-Fiアクセスポイント** > **Wi-Fiアクセスポイントを設定** に移動します。ネットワークの名前、暗号化タイプ、Wi-Fiアクセスポイントのパスワードを設定してから **保存** をタップして、アクセスポイントでこのネットワークを使用できるようにします。

i **設定** 画面で **データ通信量の上限** をタップして、1回のセッションでのデータ通信制限を設定できます。設定したデータ通信共有の制限に達すると、端末によってアクセスポイントの共有が自動的に無効になります。

Bluetoothを使用したモバイルデータ通信の共有: Bluetoothを使用してモバイルデータ通信を共有するには、その前に、Bluetooth接続を確立して端末をペアリングする必要があります。  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**Bluetoothテザリング** を有効にします。

Bluetooth 画面で、ペアリングした端末の横にある **i** をタップし、**インターネットアクセス** を有効にしてインターネット接続を確立します。これにより、モバイルデータ通信を共有できるようになります。

USBを使用したモバイルデータ通信の共有: USBケーブルを使用して、端末をコンピュータに接続します。  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**USBテザリング** を有効にして、モバイルデータ通信の共有を開始します。

-  オペレーティングシステムによっては、この機能を使用する前に、ドライバをインストールしたり、コンピュータ上に該当するネットワークを確立したりする必要があることがあります。詳細については、コンピュータのオペレーティングシステムガイドを参照してください。

アプリと通知

ツインアプリ

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることで素早くツインアプリ機能を無効にできます。

サウンドと表示

通知の鳴動制限

通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。

 **設定** を開いて **音 > 通知の鳴動制限** に移動します。今すぐ有効にする スイッチをオンに切り替え、**通知鳴動制限モード** をタップして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **重要な連絡先からの着信とメッセージ: 優先度の高い通知のみ鳴動** を選択して **優先度の高い着信/通知を定義** をタップし、着信またはメッセージ送信を許可する連絡先を設定します。
- **許可 アラーム音: アラームのみ** を選択してアラーム音だけを許可します。
- **すべての鳴動の無効化: 鳴動させない** を選択して着信音とバイブレーションを無効にし、着信、メッセージ受信、アラームで画面が点灯しないようにします。

-  ● あるいは、ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルの  をタップすると、**通知の鳴動制限モード** を容易に有効/無効にできます。
- 一部のサードパーティ アプリでは、通知の鳴動制限モードを有効にしている場合でも音が鳴ることがあります。アプリ内の設定で、これらのアプリからの通知をミュートにしてください。

時間に関するルール: 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯** をタップして、時間と繰り返し間隔を設定し、**時間帯** スイッチをオンに切り替えます。

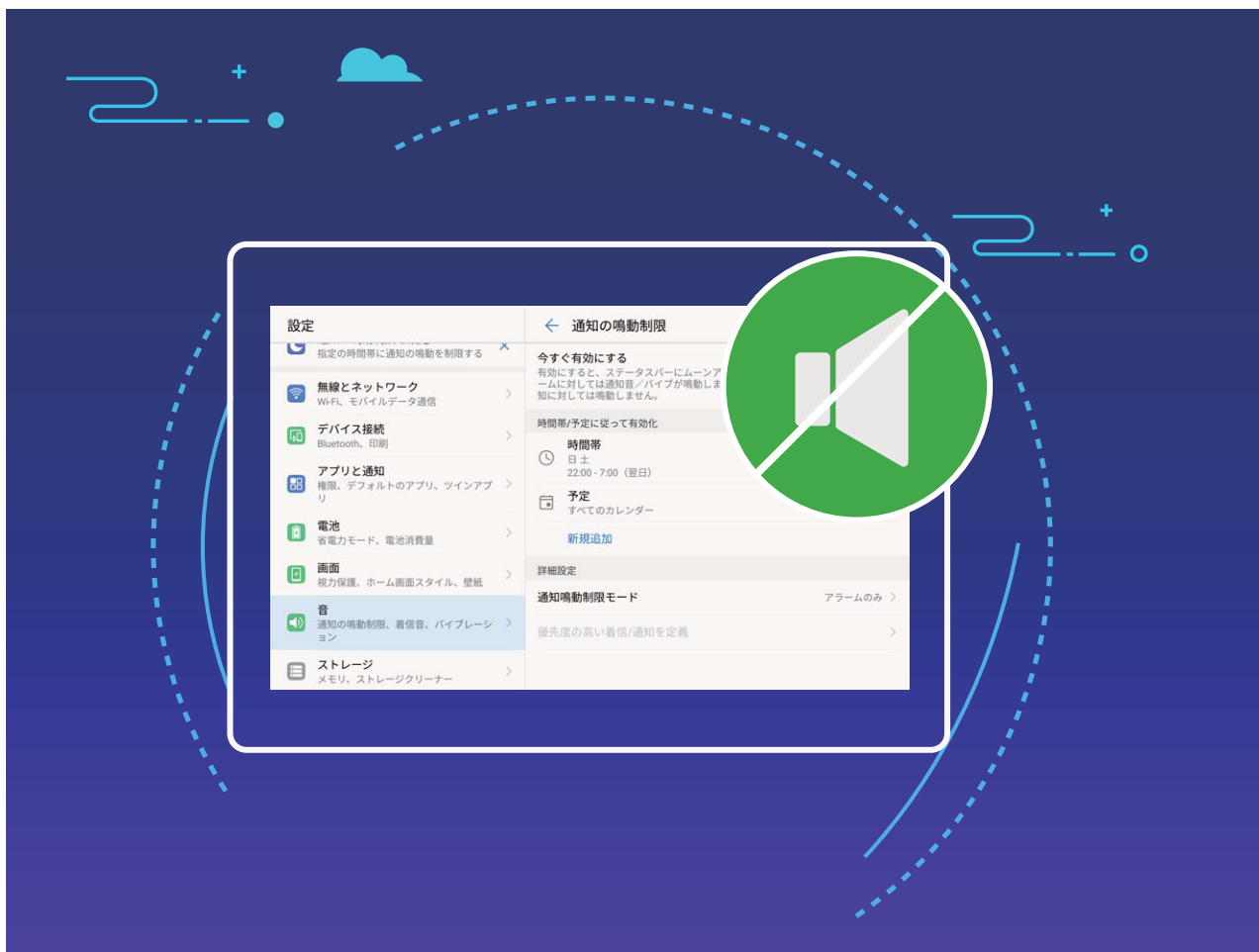
イベントルール: 会議やイベントの開催中に鳴動を制限します。**予定** をタップすることで、**通知の鳴動制限モード** が有効になります。

通知の鳴動制限の時間指定

休息をとるたびに端末をサイレントモードに設定して、サウンドモードに戻すのは面倒ではありませんか？通知の鳴動制限の時間指定では、設定した時間帯に着信と通知音をブロックできます。その時間が終了すると、端末は自動的にサウンドモードに戻るため、休息の時間と仕事の時間をシームレスに切り替えることができます。

 **設定** に移動してから、**音 > 通知の鳴動制限 > 時間帯** に移動します。必要に応じて **繰り返し**、**開始時間** および **終了時間** を設定します。**通知の鳴動制限** 画面に戻り、**時間帯** を有効にします。設定した時間帯では、通知音に煩わされることはありません。

-  ● **鳴動制限モード** でアラームを鳴動させるには、**通知鳴動制限モード > アラームのみ** に移動します。
- **新規追加** をタップして、昼間の休憩時間や夜間の睡眠時間に応じて複数の時間帯を設定できます。



サウンド設定

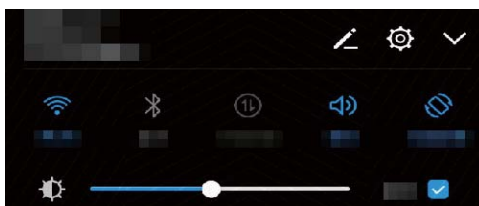
サウンドの設定

映画を観たり、ゲームをしたりするときには、端末のサウンド設定が自動的にステレオサウンドに切り替わって最適なオーディオ体験が実現します。また、さまざまな状況での着信音や音声通知を設定することもできます。

システム音量の調整: 音量ボタンを押しながら  をタップすることで、着信音、メディア、アラーム、通話時の音量を調整できます。

 また、システム設定で音量を調整することもできます。  **設定** を開いて **音** をタップし、音量スライダーをドラッグして音量を調整します。

サウンドモード、バイブモード、マナーモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。  をタップして、**サウンド**、**サイレント**、**バイブ** モードを簡単に切り替えることができます。



キーパッドと通知音の有効化:  **設定** を開いて **音 > その他のサウンド設定** に移動し、キーパッドと通知音を有効／無効にします。

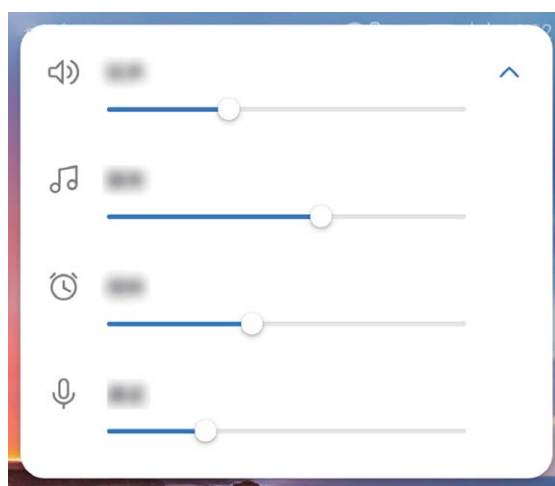
端末をマナーモードに設定する: 音 画面で、**マナーモード** を有効にします。**マナーモード** を有効にした後、**マナーモード時のバイブ** を有効にします。これにより、着信があったときに画面が点灯して端末が振動するようになります。

着信音と通知音のカスタマイズ: 音 画面で、カスタム着信音を選択するか、**通知** を使用します。

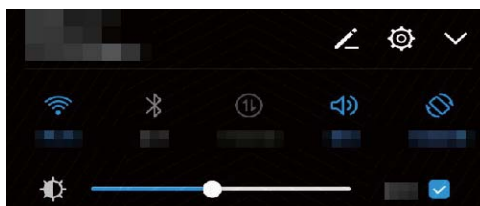
システム音量を素早く調整

会議中に素早く端末の音量を下げたり、ミュートにしたりする必要はありませんか？音量ボタンまたはショートカットの切り替えを使うと、システム音量を素早く調整できます。

音量の調整: 音量ボタンを押してから、 をタップして音量を調整します。



サウンドモード、バイブモード、マナーモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップして、**サウンド**、**サイレント**、**バイブ** モードを簡単に切り替えることができます。



視力保護モード

目の疲れを軽減する視力保護モードの有効化

視力保護モードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

視力保護モードの有効化:  **設定** を開いて **画面 > 視力保護** に移動し、**視力保護** を有効にします。

視力保護モードアイコン  がステータスバーに表示されます。視力保護モードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

視力保護モードの簡単な有効化／無効化: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。ショートカットパネルの  をタップしてショートカットパネルを展開し、 を有効／無効にします。

設定した時間に視力保護モードを有効化: 毎日設定した時間に視力保護モードを有効にするように、端末を設定できます。視力保護モードが無効になっている場合、 **設定** を開いて **画面 > 視力保護** に移動し、**時間帯指定** を有効にしてから、**開始時間** と **終了時間** を設定します。

視力保護モードの色温度の調整: 視力保護モードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整できます。**視力保護** を有効にしてから色温度スライダーを調整すると、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

視力保護モード: 視力の保護

視力保護モードでは端末の画面からブルーライトを一部カットし、目の疲れを和らげることができるため、快適に画面を操作できます。

 **設定** を開いて **画面 > 視力保護** に移動し、**視力保護** を有効にします。視力保護モードアイコン  がステータスバーに表示されます。

その他の表示設定

画面設定の変更

必要に応じてフォントサイズを変更し、画面の明るさを調整できます。

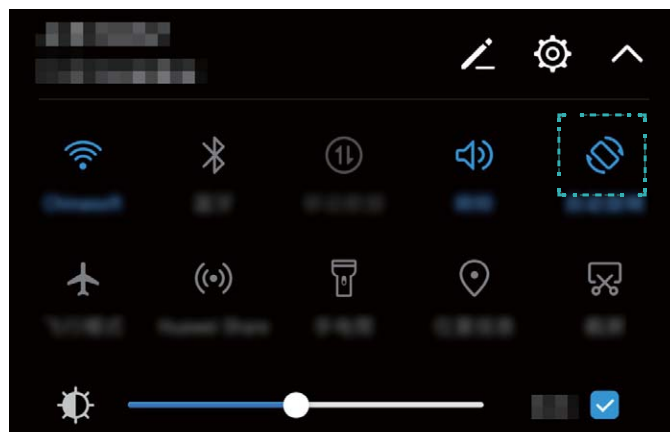


設定 を開いて **画面** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **画像と文字サイズの変更**: **表示モード** をタップし、必要に応じて画面モードを選択します。
- **文字サイズの変更**: **文字サイズ** をタップし、使用するサイズを選択します。



- **画面の明るさの調整**: **画面の明るさ** で、**自動** の横のチェックボックスをオンにします。このオプションが有効な場合、端末では周囲の明るさに基づいて画面の明るさが自動的に調整されます。明るさを手動で調整するには、明るさのスライダーをドラッグするか、ステータスバーで下にスワイプして通知パネルを開き、明るさの設定にアクセスします。
- **画面の自動回転を有効にする**: **画面の自動回転** を有効にします。あるいは、ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いて をオンにします。

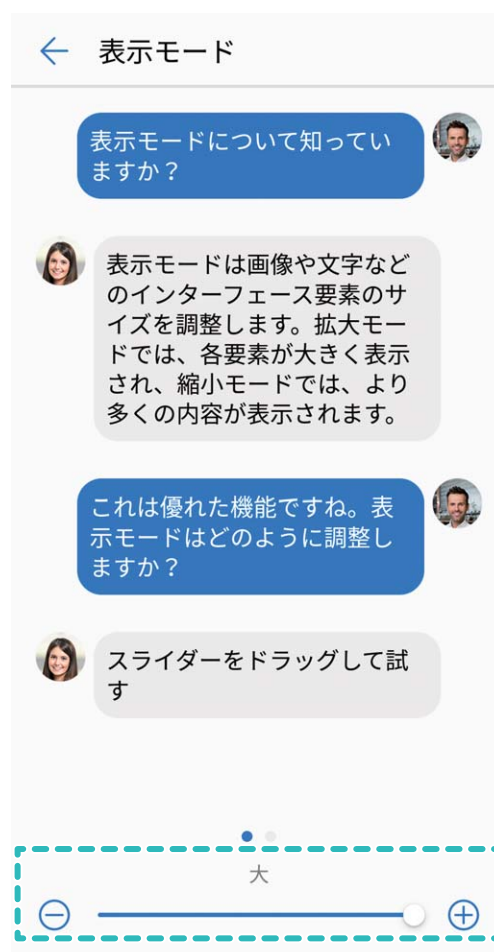
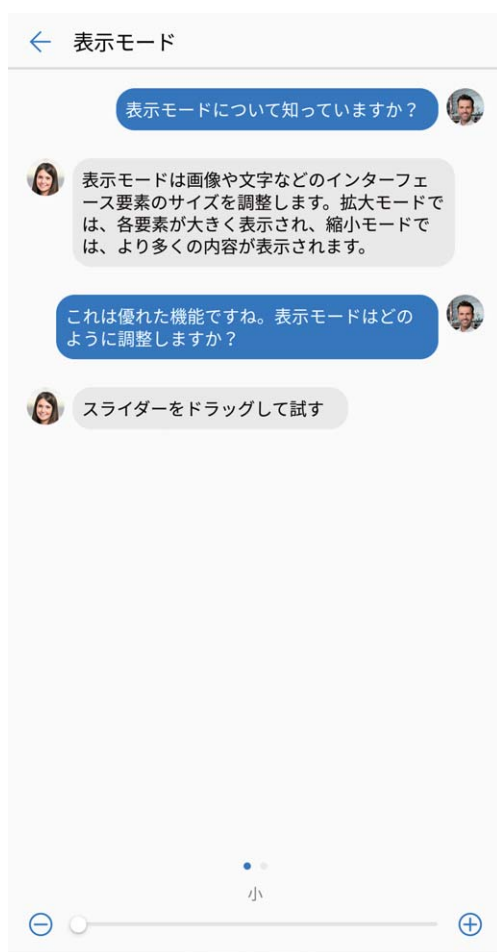


- **色温度の調整**: 色温度 をタップします。プリセットオプション(デフォルト、暖色、寒色)を選択して OK をタップします。設定が適用されます。あるいは、スライダーをタップまたはドラッグして、色温度を手動で調整します。視力保護 が有効なときには、色温度を変更できません。
- **画面解像度の自動調整**: 画面の解像度 をタップし、スマート解像度 を有効にします。画面解像度が自動的に調整され、消費電力を節約します。
- **スクリーンセーバーを有効にする**: スクリーンセーバー をタップして スクリーンセーバー を有効にし、写真 と 長さ を設定します。充電中は端末に写真のスライドショーが表示され、端末がスタンバイモードになります。

表示モードを変更して快適に閲覧

表示モードを変更して、文字や画像など、画面上のアイテムのサイズを調整できます。

 **設定** を開きます。画面 > **表示モード** をタップして、適切な表示モードを選択します。



ストレージ

ストレージクリーナー

メモリのクリーンアップによるパフォーマンス向上

メモリのクリーンアップを使用すると、キャッシュ、大容量ファイルや不要なファイル、未使用のアプリファイルなどをすばやく削除して、システムパフォーマンスを向上させ、端末を最高の状態に保つことができます。

システムのパフォーマンスが低下したり、ストレージの空き容量が少なくなると、端末管理アプリからクリーンアップの通知が表示されます。画面の指示に従って、端末のメモリをクリーンアップし、ストレージの空き容量を確保することができます。

クリーンアップ: 端末の使用に影響を与えずに、不要なファイルとシステムキャッシュをスキャンしてメモリと内部ストレージの空き容量をすばやく確保できます。

ディープクリーンアップ: 大容量のファイル、ビデオ、画像、アプリの残存ファイル、音楽ファイル、不要なインストールパッケージ、未使用ファイル、サイズが大きいファイルなどをスキャンし、そのスキャン結果に基づいてクリーンアップが推奨されます。これにより、重要なファイルを誤って削除することなく、ストレージの空き容量を確保できます。

スマートアシスタント

ユーザー補助

色補正を有効にする

色補正設定では、端末で色覚異常の影響を補正できます。

 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなることがあります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動し、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

TalkBack による画面テキストの読み上げ

TalkBackでは、画面上でタップ、選択、または有効にした内容が読み上げられます。視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようにする便利なツールです。

- 1  **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **TalkBack** に移動し、**TalkBack**設定画面を開きます。
- 2 **TalkBack** を有効にして **OK** をタップします。**TalkBack**を初めて有効にすると、端末でチュートリアルが起動します。チュートリアルをもう一度再生する必要がある場合は、 をタップして**TalkBack**設定画面を開き、チュートリアルを起動します。
- 3  をタップし、**タッチガイド** を有効にします。**タッチガイド** が有効になると、端末でタップした内容が読み上げられます。

端末で画面の内容が急に読み上げられるのはなぜですか？この機能を無効にするにはどうしたらよいでしょうか？誤ってTalkBackを有効にした可能性があります。TalkBackを無効にするには、電源ボタンを長押しして、端末が振動したら、2本の指で画面に触れて3秒以上そのままにします。

TalkBack でのテキスト読み上げの出力

テキスト読み上げ機能では、端末の画面に表示されているテキストが読み上げられます。また、TalkBackサービスでこの機能を使用すると、視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようになります。

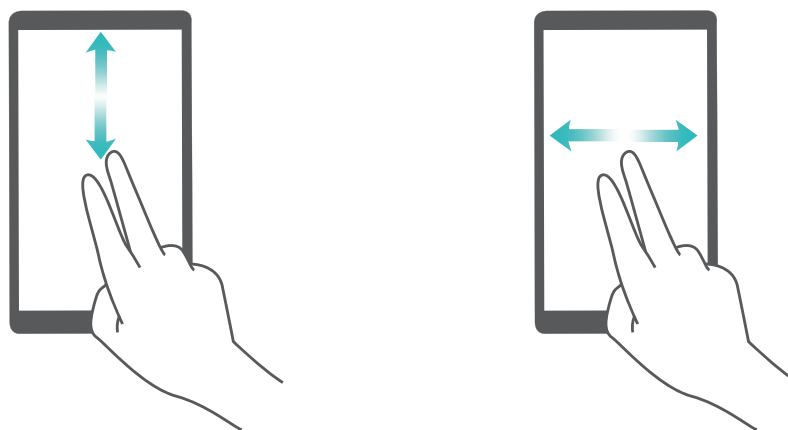
 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** に移動し、**テキスト読み上げ** を有効にします。使用するエンジンと音声速度を設定して、この機能を有効にします。

TalkBack ジェスチャー

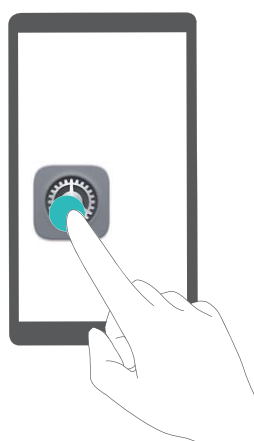
TalkBackでは、端末の操作に特別なジェスチャーを使用します。TalkBackが有効な場合、端末を操作するにはジェスチャーが必要です。

 TalkBackを誤って有効にした場合にTalkBackを無効にするには電源ボタンを長押しし、端末が振動したら2本の指で画面に触れて、3秒以上そのままにすると無効になります。

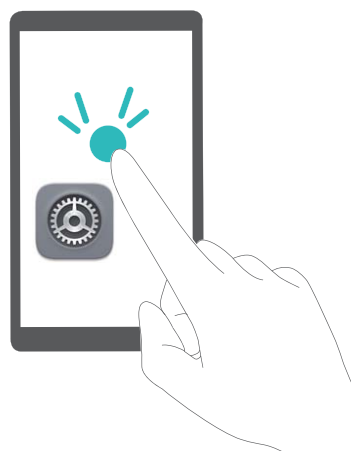
画面を操作する: 2本の指で上下にスワイプすると、メニューリストがスクロールします。左右にスワイプすると、画面間で移動できます。



アイテムを選択する:1本の指でアイテムをタップして、選択します(アイテムは開きません)。端末で選択したアイテムの内容が読み上げられます。



アイテムを開く:1本の指で画面をダブルタップして、前の手順で選択した内容を確定します。



たとえば、**設定** を開くには、**設定** アイコンを1本の指で1回タップしてから、画面上の任意の場所を2回タップします。

システム

言語と入力方法

入力方法の変更

好みに応じて、端末の入力方法を変更できます。

 **設定** を開きます。システム > 言語と文字入力 > デフォルトのキーボード > 入力方法の設定 に移動して、該当する入力方法を有効にします。言語と文字入力 に戻って、入力方法を選択します。

ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー

ナビゲーションメニュー: ワンタップで端末を管理

アプリを閉じたりホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。これに加えて、ナビゲーションメニューを使って同じ操作を行うことができるようになり、端末がさらに使いやすくなりました。

事前に設定したジェスチャーを使って前の画面やホーム画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

ナビゲーションメニュー: どこからでも端末の機能にアクセス

端末で頻繁に使用する機能に素早くアクセスできるようにするには、ナビゲーションメニューをオンにします。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー をタップして、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **アプリの切り替え**: ナビゲーションメニューを長押しして左右にスワイプすると、アプリを切り替えることができます。

一般設定

システム言語の変更

端末のシステム言語の変更は、簡単に行うことができます。

 **設定** を開いて システム > 言語と文字入力 > 言語 に移動し、システム言語を選択します。言語リストから言語が見つからない場合、言語を追加 をタップして言語を追加します。

システムの時刻と日付の設定

海外への旅行時やSIMカードの変更時は、端末には現地のモバイルネットワークから提供された時刻と日付が自動的に表示されます。手動で時刻と日付を調整したり、時刻形式を変更したり、ロック画面にデュアルクロックを設定したりすることもできます。

 **設定** を開いて**システム** > **日付と時刻** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **時刻と日付の変更**: **日付と時刻の自動設定** を有効にすると、端末の時刻と日付をモバイルネットワークと同期できます。**日付と時刻の自動設定** を無効にすると、時刻と日付を手動で設定できます。
- **タイムゾーンの変更**: **タイムゾーンを自動設定** を有効にすると、端末のタイムゾーンをモバイルネットワークと同期できます。**タイムゾーンを自動設定** を無効にすると、タイムゾーンを手動で設定できます。
- **時刻形式の変更**: **24時間表示** を有効にすると、時刻形式を24時間に設定できます。**24時間表示** を無効にすると、時刻形式を12時間に設定できます。
- **ロック画面でのデュアルクロック設定**: 海外にいる場合、端末には現地のモバイルネットワークから提供された現地の時刻と日付が自動的に表示されます。**デュアルクロック** を有効にして **ホーム都市** を設定すると、ロック画面にデュアルクロックを表示できます。一方には現地の時刻、もう一方には自国の時刻が表示されます。



端末でのドキュメントや写真の印刷

端末をWi-Fi経由でプリンターに接続すると、ドキュメントや写真を簡単に印刷できます。

- Mopriaでは、端末からMopria認証プリンターに直接印刷できます。プリンターは端末にWi-Fi経由で接続します。
- ご利用のプリンターがMopria認証プリンターではない場合、プリンターメーカーからご利用のモデル用のプラグインを取得してください。

1 端末とプリンターを同じWi-Fiネットワークに接続します。

- **プリンターのアクセスポイントへの接続:** プリンターに無線アクセスポイントがある場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってアクセスポイントを有効にし、パスワードを設定します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてプリンターのアクセスポイントを選択し、画面の指示に従って接続を確立します。
- **Wi-Fi Directでの接続:** プリンターがWi-Fi Directに対応している場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってこの機能を有効にします。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にして  をタップし、検出されたデバイスのリストから使用するプリンターを選択します。
- **ルーターへの接続:** プリンターのWi-Fiを有効にして宅内のルーターに接続します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてルーターを選択し、画面の指示に従って設定を完了します。

2 **設定** を開きます。デバイス接続 > 印刷 > デフォルト印刷サービス に移動して デフォルト印刷サービス が有効になっていることを確認します。検索結果からプリンターを選択するか、その他 > プリンターの追加 をタップして画面の指示に従い手動でプリンターを追加します。

3 これで端末から直接印刷できます。

- **画像の印刷:** ギャラリー に移動します。印刷したい画像を開き、その他 > 印刷またはPDF出力 に移動して、画面の指示に従い画像をプリンターに送信します。
- **Webページの印刷:** 印刷したいWebページをブラウザで開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **ドキュメントの印刷:** オフィスアプリ等で印刷したいドキュメントを開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **メモの印刷:**  **メモ帳** を開きます。印刷したいメモを開き、 > **印刷** に移動して、画面の指示に従いメモをプリンターに送信します。

電源 ON/OFF の時間帯指定

電源の自動ON/OFF機能を使用して、設定した時間に端末の電源をONまたはOFFにすることができます。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **電源ON/OFFタイマー** に移動し、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を有効にして、電源をON/OFFにする時間と繰り返し設定を設定します。指定した時間に端末の電源が自動的にONまたはOFFになります。

電源ON/OFFの時間帯指定を無効にするには、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を無効にします。

安全なフライトと電池節約のための機内モードの有効化

機内モードを有効にすると、電池の消費も抑えることができます。

 機内では、乗務員の指示に従って端末の電源を切るか、機内モードにしてください。

機内モードを有効にすると、端末は自動的に通話、モバイルデータ通信サービス、Bluetooth、Wi-Fiを無効にします。ただし、BluetoothとWi-Fiは機内モードでも手動で有効にできます。

ショートカットスイッチを使用した機内モードの有効化／無効化：ステータスバーを下にスワイプします。

通知パネルから  をタップし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。

設定メニューからの機内モードの有効化／無効化： **設定** を開いて **無線とネットワーク** をタップし、**機内モード** を有効／無効にします。

機内モードを有効にすると、 アイコンがステータスバーに表示されます。

メモリおよびストレージ情報の表示

長期間端末を使用していると、メモリとストレージがどのくらい残っているか心配になるものです。端末のメモリとストレージ情報を表示すると、メモリとストレージの使用状況を監視することができ、クリーンアップ実行の目安となります。

 **設定** を開いて **ストレージ** をタップし、メモリ、内部ストレージ、microSDカード使用情報を表示し、以下の操作を実行します。

- **空き容量の確保**: ストレージクリーナー を選択して **クリーンアップ** 画面に移動すると、ワンタップでメモリをクリーンアップしたり、空き容量を確保したりできます。
- **microSDカードのフォーマット**: **SDカード** > **フォーマット** > **消去してフォーマット** に移動してmicroSDカードのデータをすべて消去します。データの消失を防ぐために、事前にデータをバックアップしてください。

アカウントの管理と更新

複数のメールアカウントやアプリ通知、記録を複数の端末やコンピュータと同期したい場合があります。端末を使用すると、他の端末やコンピュータなどさまざまなデバイスで、複数のメールやアプリのアカウントをリアルタイムに管理および更新できます。

-  ● サードパーティのアプリが端末にインストールされている場合にのみ、サードパーティのアプリのアカウントを作成できます。
- 同期できる情報のタイプはアカウントのタイプによって異なります。

 **設定** を開いて **ユーザーとアカウント** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **アカウントの追加**: **アカウントを追加** をタップしてアカウントタイプを選択してから、画面の指示に従いアカウント詳細を入力してアカウントを追加します。
- **アカウントの削除**: 削除したいアカウントを選択してから、画面の指示に従いアカウントを削除します。

- **アカウントの同期**:  をタップして **データの自動同期** を選択し、画面の指示に従って **OK** をタップします。**データの自動同期** を選択しない場合、アカウントを手動で選択して  をタップすることで同期できます。

製品情報の表示

ご利用の端末について詳細を知りたい場合、型番、バージョン番号、IMEI番号、ハードウェア設定、製品仕様、法的情報といった端末の製品情報を表示することができます。

 本端末にはIMEI番号が2つあります。

製品情報の表示:  **設定** に移動して **システム** > **端末情報** をタップすると、端末の型番、バージョン番号、IMEI番号、ハードウェア情報、ステータス情報、法的情報などの情報を表示できます。

端末名の変更:  **設定** を開いて **システム** > **端末情報** > **端末名** をタップすると、端末の名前を変更できます。

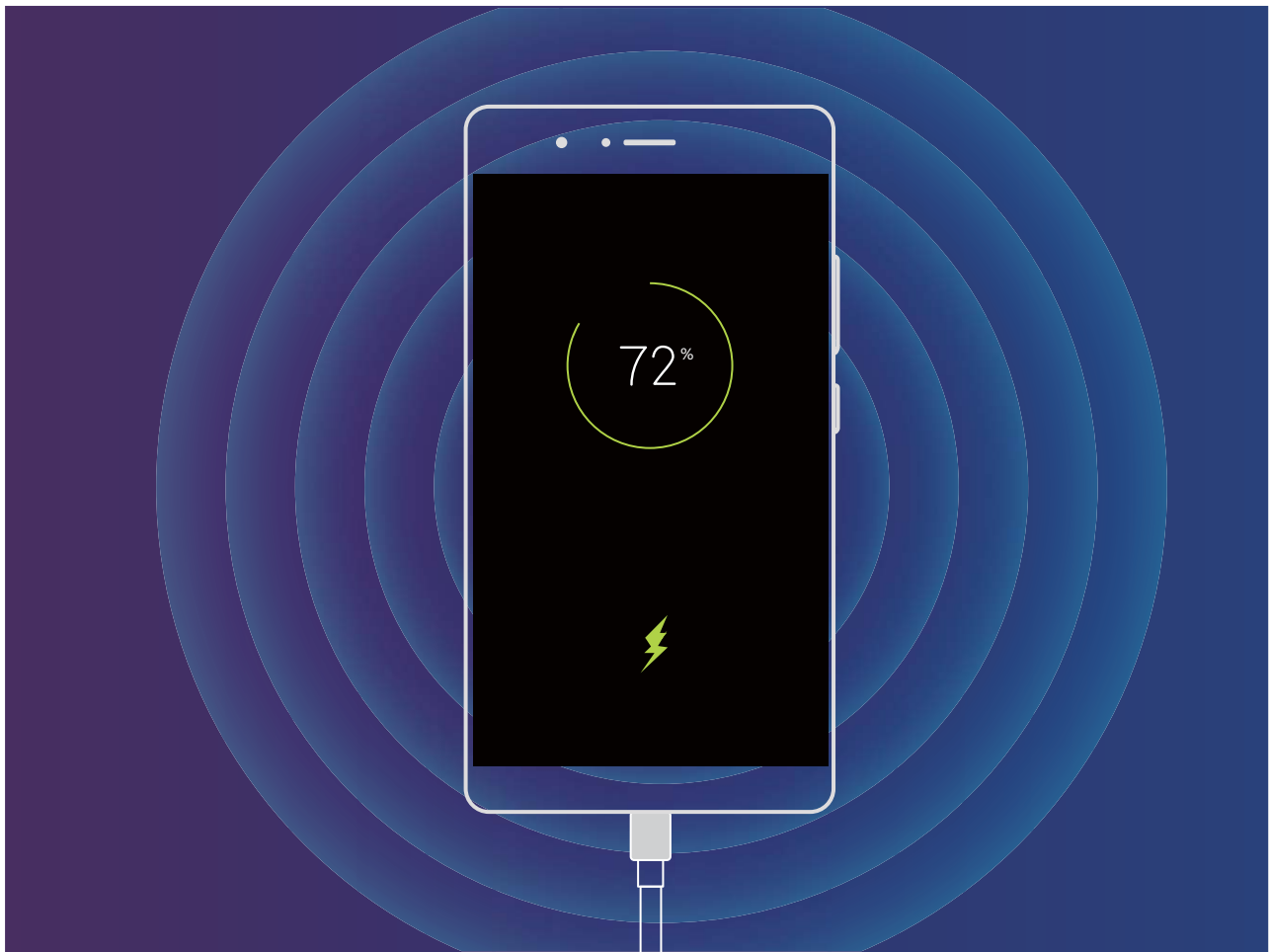
電池と充電

電池と充電

SmartCharge: 急速充電

SmartChargeは充電電圧と充電電流をインテリジェントに調整することで、よりスマートで急速充電を実現します。

⚠ 端末を充電する際は、必ず製品付属の充電器とUSBケーブルまたは、後述するUQ指定の充電器を使用してください。サードパーティ製の充電器やUSBケーブルを使用すると、再起動が繰り返し発生したり、充電時間が長くなったり、端末の温度が上昇したり、場合によっては、端末のバッテリーが損傷、または焼損することもあります。



i 同梱品以外でご利用が可能な充電器は以下の通りです。但し、急速充電には対応していません。

①TypeC共通ACアダプタ01U (商品コード:0601PQV)

②共通ACアダプタ05 (商品コード:0501PWV) と MicroB-TypeC変換アダプタU (商品コード:0601PHV) の組み合わせ

その他の情報

その他の情報

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI と  はHuawei Technologies Co., Ltdの商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltdによるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™



および

Qualcomm® aptX™ HD



はQualcomm Inc. (NASDAQ: QCOM) の登録商標

です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサ

ポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<http://consumer.huawei.com/jp/>を参照してください。

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む(ただしこれらに限定されない)実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

注意:ご利用の端末で最後にログインしたGoogleアカウントを覚えておいてください。初期化実行時やmicroSDカード経由での更新時に該当する操作が信頼できないと判断された場合、Googleの盗難防止メカニズムでは、ID認証のため、端末で最後にログインしたGoogleアカウントを起動ナビゲーション画面に入力することが求められます。ID認証後のみ、ご利用の端末の電源を正常にONにすることができます。

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、
<http://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

モデル : ANE-LX2J

EMUI 8.0_01

Qualcomm[®]
aptX[™]

